上 信 越 自 動 車 道

香 坂 川 橋 床 版 取 替 工 事

交 付 図 書 正 誤 表

東日本高速道路株式会社 関東支社

長　野　工　事　事　務　所

対象	入札公告説明書(P.3)
誤	(2)　工事内容　本工事は、上信越自動車道の和美沢橋、八城橋の既設 RC 床版を取替する工事である。 (3)　工事概算数量　床版取替　5.0 千m2 (4)　概算工期　令和 6 年度 2/四半期～令和 11 年度 1/四半期（約 1620 日間） 第 3　調達手続に参加するための条件等
正	(2)　工事内容　本工事は、上信越自動車道の和美沢橋、八城橋の既設 RC 床版を取替する工事である。 (3)　工事概算数量　床版取替　5.0 千m2 (4)　概算工期　令和6年度4/四半期～令和9年度4/四半期（約1100日間） 第 3　調達手続に参加するための条件等
備考	入札公告説明書　第2 調達手続に付する事項　2-3. 継続契約方式における後発工事　(4) 概算工期　の修正

対象	金抜設計書(P.9)

誤

B- 9 頁

単　価　表

番号	項目番号	項　目	数量	単位	単　価	金　額	摘　要
97	特 － (13)	渋滞対策工 A２	1,278	台・日			見積対象
		計①					
98		諸経費①	1	式			
99	特 － (14)	詳細設計 床版設計A	1	式			
100	特 － (14)	詳細設計 床版設計B	1	式			見積対象
101	特　(14)	詳細設計 床版設計C	1	式			
102	特 － (14)	詳細設計 床版設計D	1	式			見積対象
103	特 － (14)	詳細設計 床版設計E	1	式			見積対象
104	特 － (14)	詳細設計 管路・線路移転設計A	1	式			
105	特 － (14)	詳細設計 管路・線路移転設計B	1	式			

頁

正

摘要に「見積対象」の追記

B- 9 頁

単　価　表

番号	項目番号	項　目	数量	単位	単　価	金　額	摘　要
97	特 － (13)	渋滞対策工 A２	1,278	台・日			見積対象
		計①					
98		諸経費①（共通仮設費）	1	式			見積対象
99		諸経費①（現場管理費）	1	式			見積対象
100		諸経費①（一般管理費）	1	式			
101	特 － (14)	詳細設計 床版設計A	1	式			
102	特 － (14)	詳細設計 床版設計B	1	式			見積対象
103	特 － (14)	詳細設計 床版設計C	1	式			
104	特 － (14)	詳細設計 床版設計D	1	式			見積対象
105	特 － (14)	詳細設計 床版設計E	1	式			見積対象
106	特 － (14)	詳細設計 管路・線路移転設計A	1	式			
107	特 － (14)	詳細設計 管路・線路移転設計B	1	式			

頁

備考　金抜設計書　諸経費①(共通仮設費)、諸経費①(現場管理費)の摘要を修正

対象	特記仕様書(P.31)

誤

・中央分離帯規制　Ⅱ×1 ・中央分離帯規制　Ⅱ×1A ・中央分離帯規制　Ⅲ×1A	・工事車両出入口 ・作業箇所	交通監視員Ａ	6人	1人	
・車線規制　Ⅰ×1×0 ・車線規制　Ⅱ×1×0	・工事車両出入口 ・作業箇所	交通監視員Ａ	3人	1人	金井橋
・中央分離帯規制　Ⅱ×1 ・中央分離帯規制　Ⅱ×1A	・工事車両出入口 ・作業箇所	交通監視員Ａ	6人	1人	
・対面通行規制　Ａ ・対面通行規制　Ａ(夜)	・工事車両出入口	交通監視員Ａ 交通監視員Ａ(夜)	3人 3人	1人 1人	香坂川橋
・対面通行規制　Ａ	・工事車両出入口	交通監視員Ａ	3人	1人	大石沢川橋
・対面通行規制　Ａ	・工事車両出入口	交通監視員Ａ	3人	1人	金井橋
・市道6310号線 ・市道6311号線	・交通規制箇所	交通誘導警備員Ｂ	2人	1人	大石沢川橋 A2
・県道4号線	・交通規制箇所	交通誘導警備員Ｂ	3人	1人	金井橋 A1～A2

（※１）本線上における交替要員は、交通監視員Ａ、交通監視員Ａ(夜)とする。
　なお、受注者の責によらず、交通保安要員の配置場所が大幅に変更となった場合、または、協議等により配置する保安要員の種別及び配置人数が変更となった場合、これらに要する費用について監督員と受注者で協議し定めるものとする。

２４－２１－２　支払
共通仕様書１９－４－５「支払」に次を追加する。

単価表の項目	検測の単位
１９－（２）　交通保安要員	
交通監視員Ａ	人・日
交通監視員Ａ（夜）	人・日
交通誘導警備員Ｂ	人・日

正

「対面交通規制　B」に修正

・中央分離帯規制　Ⅱ×1 ・中央分離帯規制　Ⅱ×1A ・中央分離帯規制　Ⅲ×1A	・工事車両出入口 ・作業箇所	交通監視員Ａ	6人	1人	
・車線規制　Ⅰ×1×0 ・車線規制　Ⅱ×1×0	・工事車両出入口 ・作業箇所	交通監視員Ａ	3人	1人	金井橋
・中央分離帯規制　Ⅱ×1 ・中央分離帯規制　Ⅱ×1A	・工事車両出入口 ・作業箇所	交通監視員Ａ	6人	1人	
・対面通行規制　Ａ ・対面通行規制　Ａ(夜)	・工事車両出入口	交通監視員Ａ 交通監視員Ａ(夜)	3人 3人	1人 1人	香坂川橋
・対面通行規制　Ａ	・工事車両出入口	交通監視員Ａ	3人	1人	大石沢川橋
・対面通行規制　Ｂ	・工事車両出入口	交通監視員Ａ	3人	1人	金井橋
・市道6310号線 ・市道6311号線	・交通規制箇所	交通誘導警備員Ｂ	2人	1人	大石沢川橋 A2
・県道4号線	・交通規制箇所	交通誘導警備員Ｂ	3人	1人	金井橋 A1～A2

（※１）本線上における交替要員は、交通監視員Ａ、交通監視員Ａ(夜)とする。
　なお、受注者の責によらず、交通保安要員の配置場所が大幅に変更となった場合、または、協議等により配置する保安要員の種別及び配置人数が変更となった場合、これらに要する費用について監督員と受注者で協議し定めるものとする。

２４－２１－２　支払
共通仕様書１９－４－５「支払」に次を追加する。

単価表の項目	検測の単位
１９－（２）　交通保安要員	
交通監視員Ａ	人・日
交通監視員Ａ（夜）	人・日
交通誘導警備員Ｂ	人・日

備考	特記仕様書　24－21－1　種別及び配置　(2)　配置場所の修正

対象	特記仕様書(P.43)

誤

２４－３２－３　材料

（１）切り込み砕石路盤工（Ｃ－４０）

路盤材クラシャーラン（Ｃ－４０）は、「舗装再生便覧、日本道路協会、H22 年度版」に規定されている品質基準とする。

（２）加熱アスファルト混合物（路盤工）

加熱アスファルト混合物（路盤工）は、「舗装再生便覧、日本道路協会、H22 年度版」に規定されている品質基準とする。

（３）アスファルトコンクリート基層工

アスファルトコンクリート基層工は、共通仕様書１３－５－２（材料）、１３－５－３（混合物）によるものとする。

（４）アスファルトコンクリート表層工

アスファルトコンクリート表層工は、共通仕様書１３－５－２（材料）、１３－５－３（混合物）によるものとする。

正

２４－３２－３　材料

（１）粒状路盤工

路盤材クラシャーラン（Ｃ－４０）は、共通仕様書１３－４－２によるものとする。

（２）加熱アスファルト混合物（路盤工）

加熱アスファルト混合物（路盤工）は、共通仕様書１３－５－２（材料）、１３－５－３（混合物）によるものとする。

アスファルト混合物の種類	アスファルトの種類	標準アスファルト量	骨材配合設計粒度
アスファルト安定処理路盤（上層路盤）	ストレートアスファルト６０－８０	４．２０％	最大粒径４０㎜

（３）アスファルトコンクリート基層工

アスファルトコンクリート基層工の材料は下表のとおりとし、共通仕様書１３－５－２（材料）、１３－５－３（混合物）によるものとする。

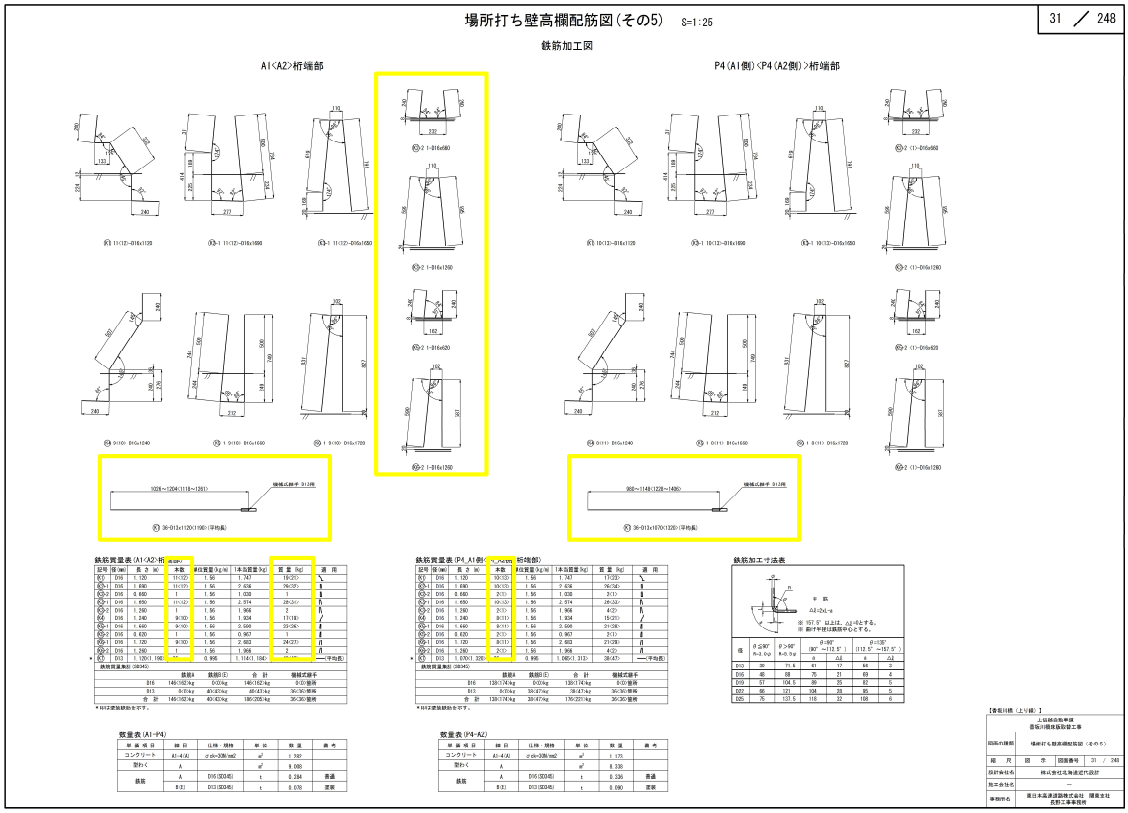
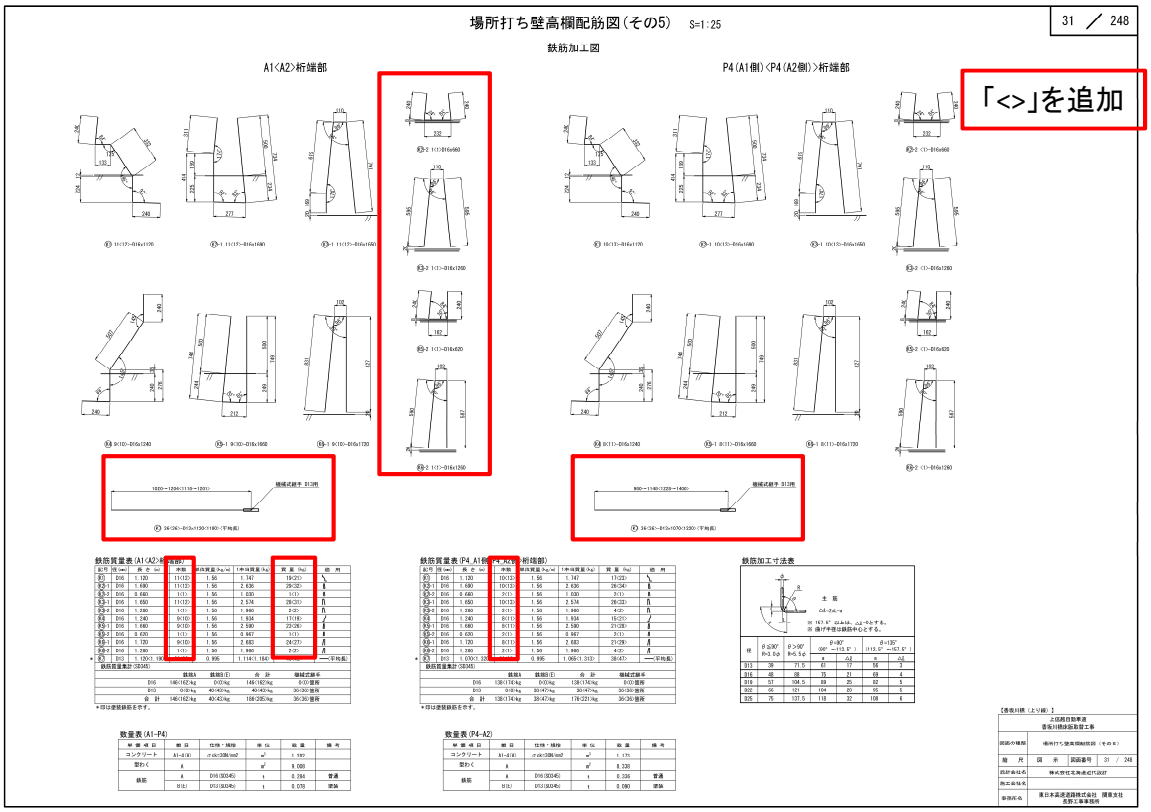
アスファルト混合物の種類	アスファルトの種類	標準アスファルト量	骨材配合設計粒度
基層用アスファルト混合物(一般用)	ストレートアスファルト６０－８０	５．３０％	最大粒径２０㎜

（４）アスファルトコンクリート表層工

アスファルトコンクリート表層工の材料は下表のとおりとし、共通仕様書１３－５－２(材料)、１３－５－３（混合物）によるものとする。

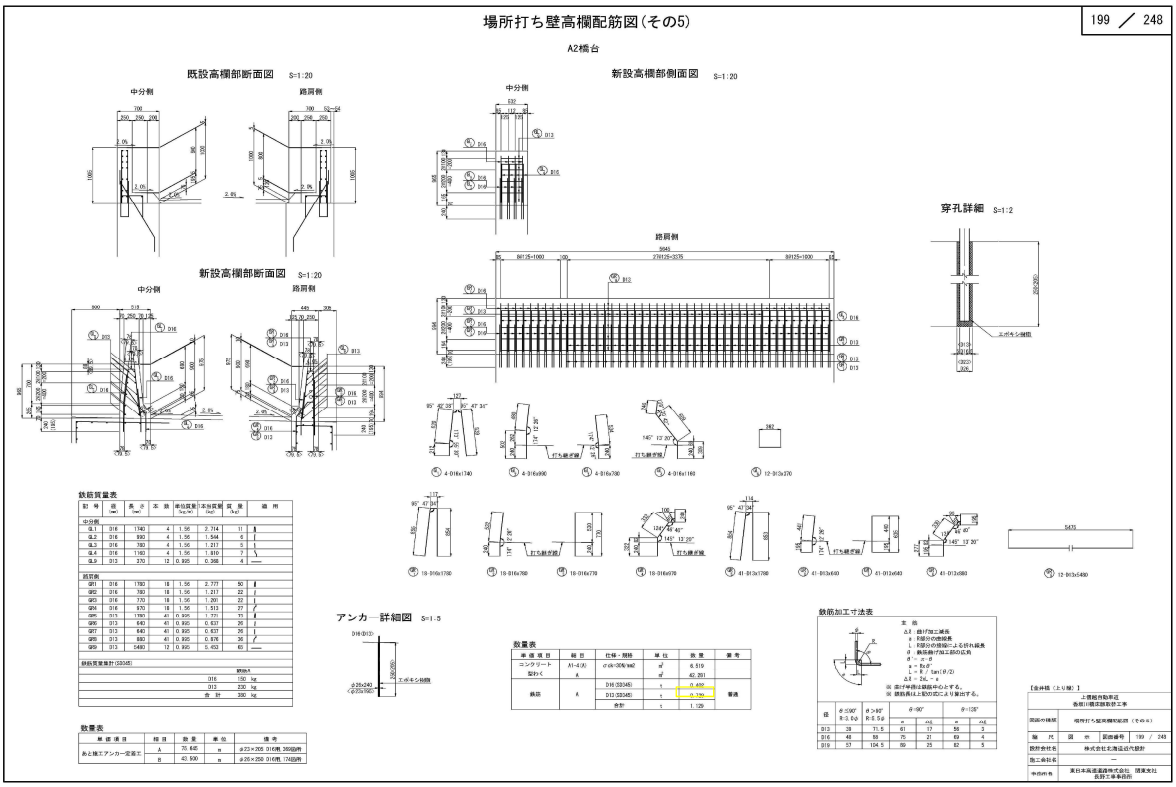
アスファルト混合物の種類	アスファルトの種類	標準アスファルト量	骨材配合設計粒度
表層用アスファルト混合物(タイプＢ)	ストレートアスファルト６０－８０	５．５０％	最大粒径１３㎜

備考	特記仕様書　24－32－3　材料の修正

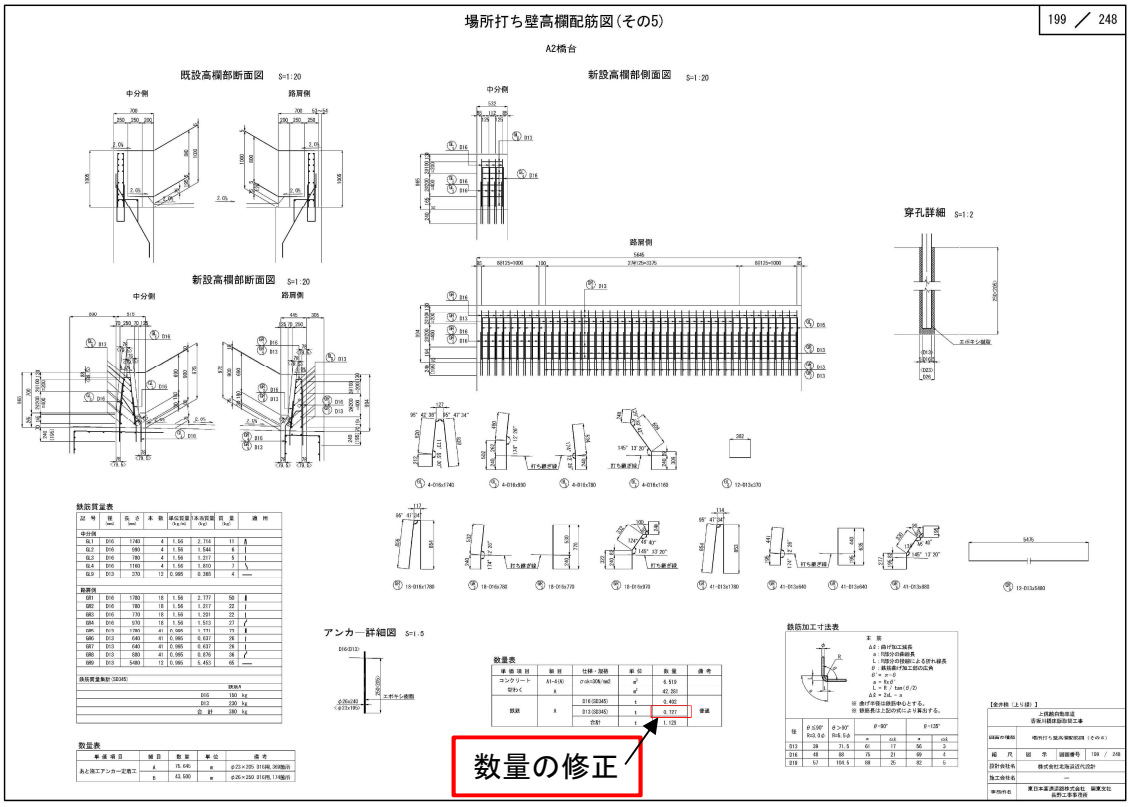
対象	設計図面(31/248)
誤	
正	
備考	設計図面(31/248) 場所打ち壁高欄配筋図(その5) 鉄筋加工図及び鉄筋質量表の修正

対象	設計図面(199/248)

誤



正



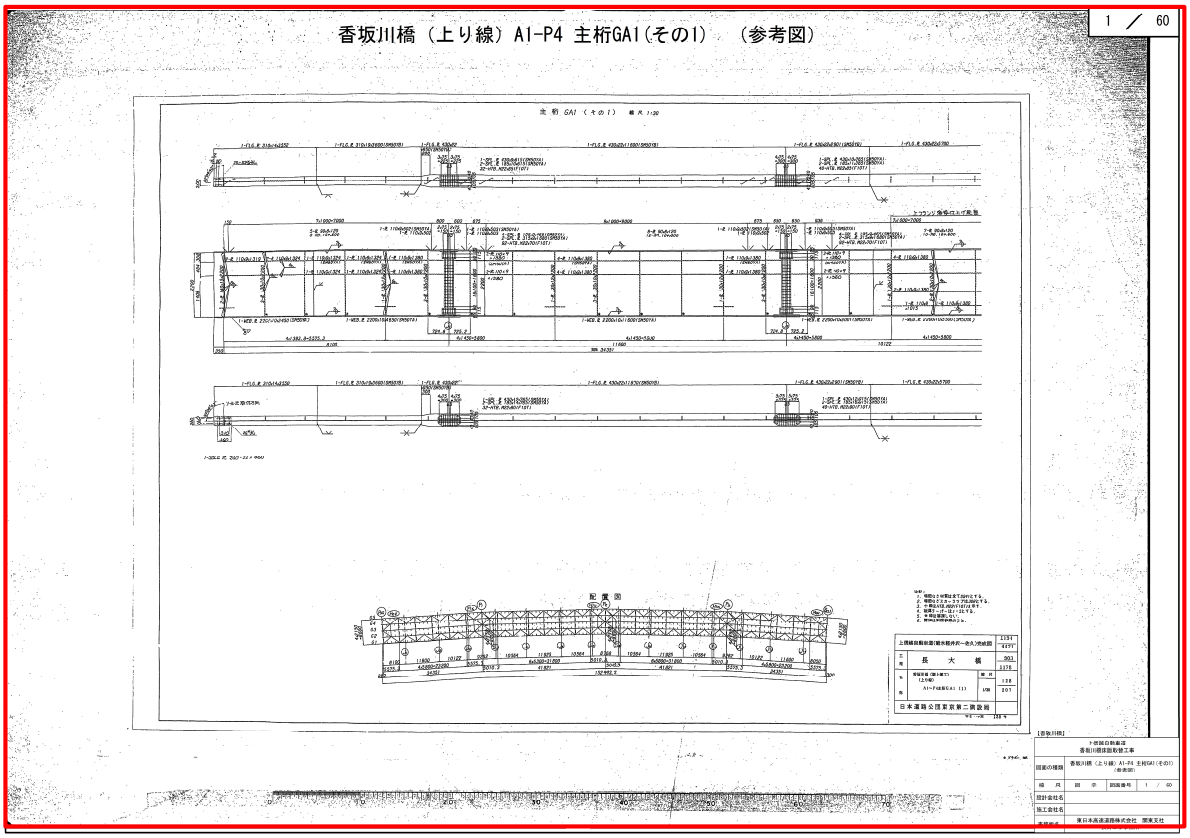
備考	設計図面(199/248) 場所打ち壁高欄配筋図(その5) 数量表の修正

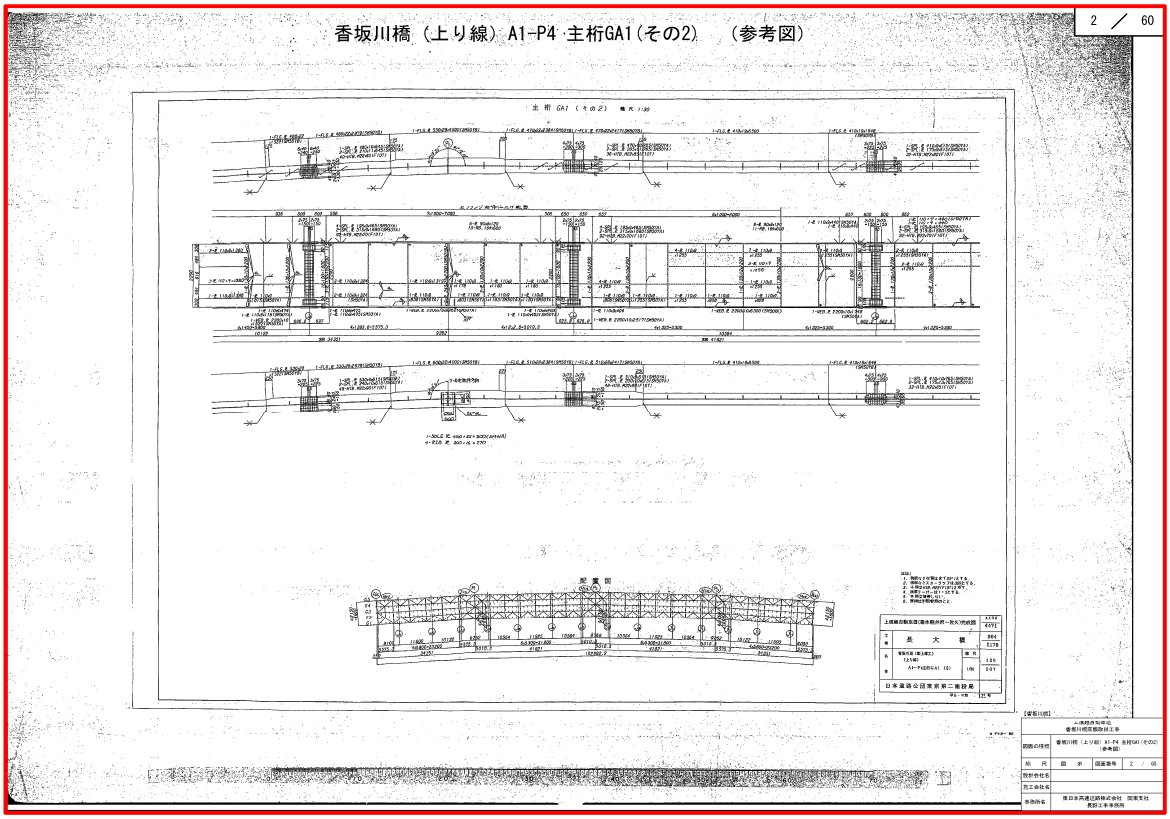
対象	設計図面
誤	該当なし
正	「主桁図面参考図」を追加
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

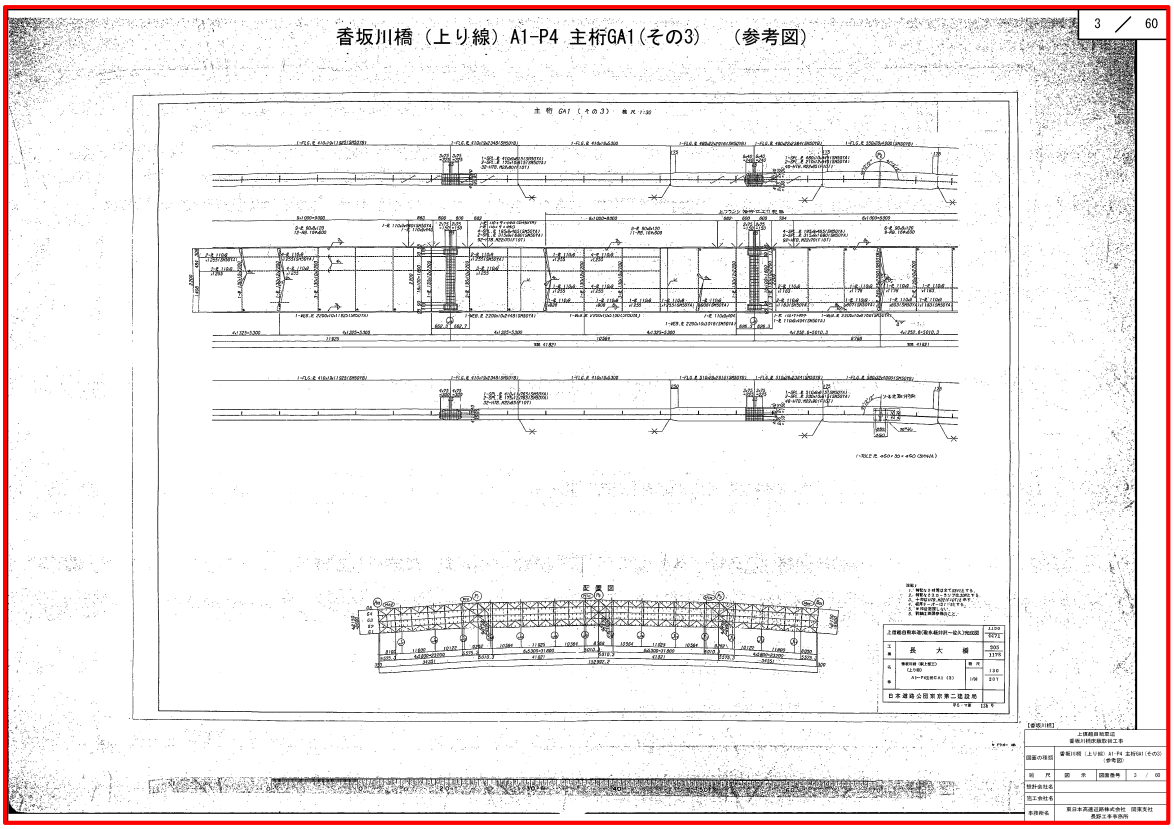
上信越自動車道　香坂川橋床版取替工事

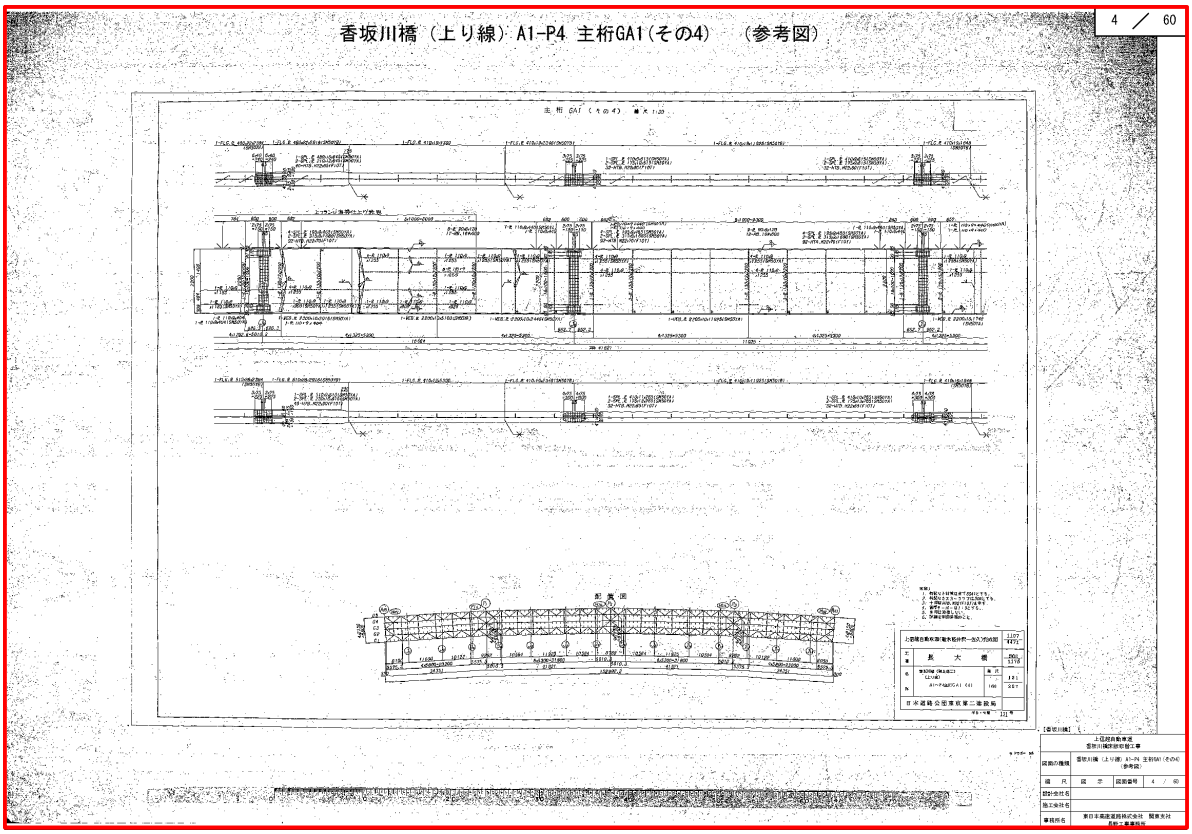
主桁図面参考図　目次

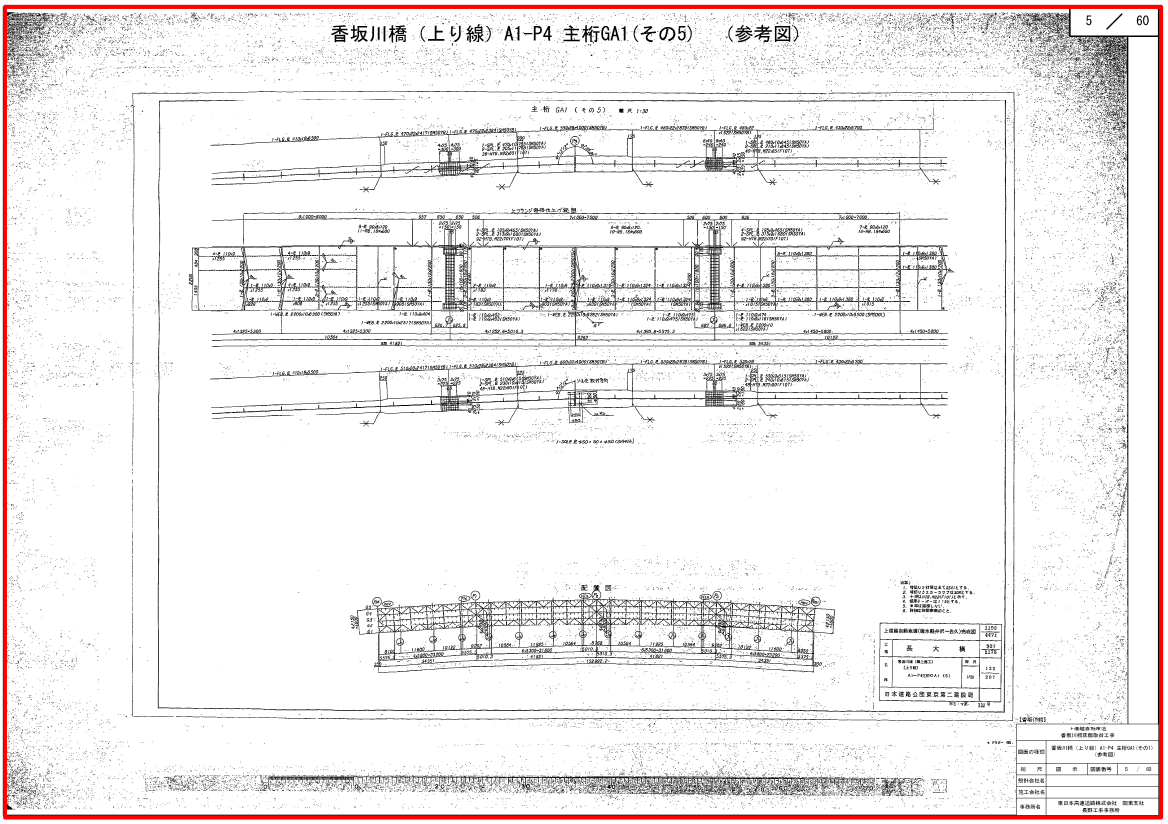
図面番号	図　面　名　称	図面番号	図　面　名　称
1 ～ 6	香坂川橋(上り線)A1-P4 主桁GA1 （参考図） 1 ～ 6		
7 ～ 12	香坂川橋(上り線)A1-P4 主桁GA2 （参考図） 1 ～ 6		
13 ～ 18	香坂川橋(上り線)A1-P4 主桁GA3 （参考図） 1 ～ 6		
19 ～ 24	香坂川橋(上り線)A1-P4 主桁GA4 （参考図） 1 ～ 6		
25 ～ 30	香坂川橋(上り線)A1-P4 主桁GA5 （参考図） 1 ～ 6		
31	香坂川橋(上り線)A1-P4 主桁キャンバー図 （参考図）		
32 ～ 35	香坂川橋(上り線)P4-A2 主桁GA1 （参考図） 1 ～ 4		
36 ～ 39	香坂川橋(上り線)P4-A2 主桁GA2 （参考図） 1 ～ 4		
40 ～ 43	香坂川橋(上り線)P4-A2 主桁GA3 （参考図） 1 ～ 4		
44 ～ 47	香坂川橋(上り線)P4-A2 主桁GA4 （参考図） 1 ～ 4		
48 ～ 51	香坂川橋(上り線)P4-A2 主桁GA5 （参考図） 1 ～ 4		
52	香坂川橋(上り線)P4-A2 主桁キャンバー図 （参考図）		
53 ～ 54	大石沢川橋(上り線) 主桁AG1 （参考図） 1 ～ 2		
55 ～ 56	大石沢川橋(上り線) 主桁AG2 （参考図） 1 ～ 2		
57 ～ 58	金井橋(上り線) 主桁AG1 （参考図） 1 ～ 2		
59 ～ 60	金井橋(上り線) 主桁AG2 （参考図） 1 ～ 2		
～			
～			
～			
～			
～			
～			
～			
～			
～			
～			
～			
～			

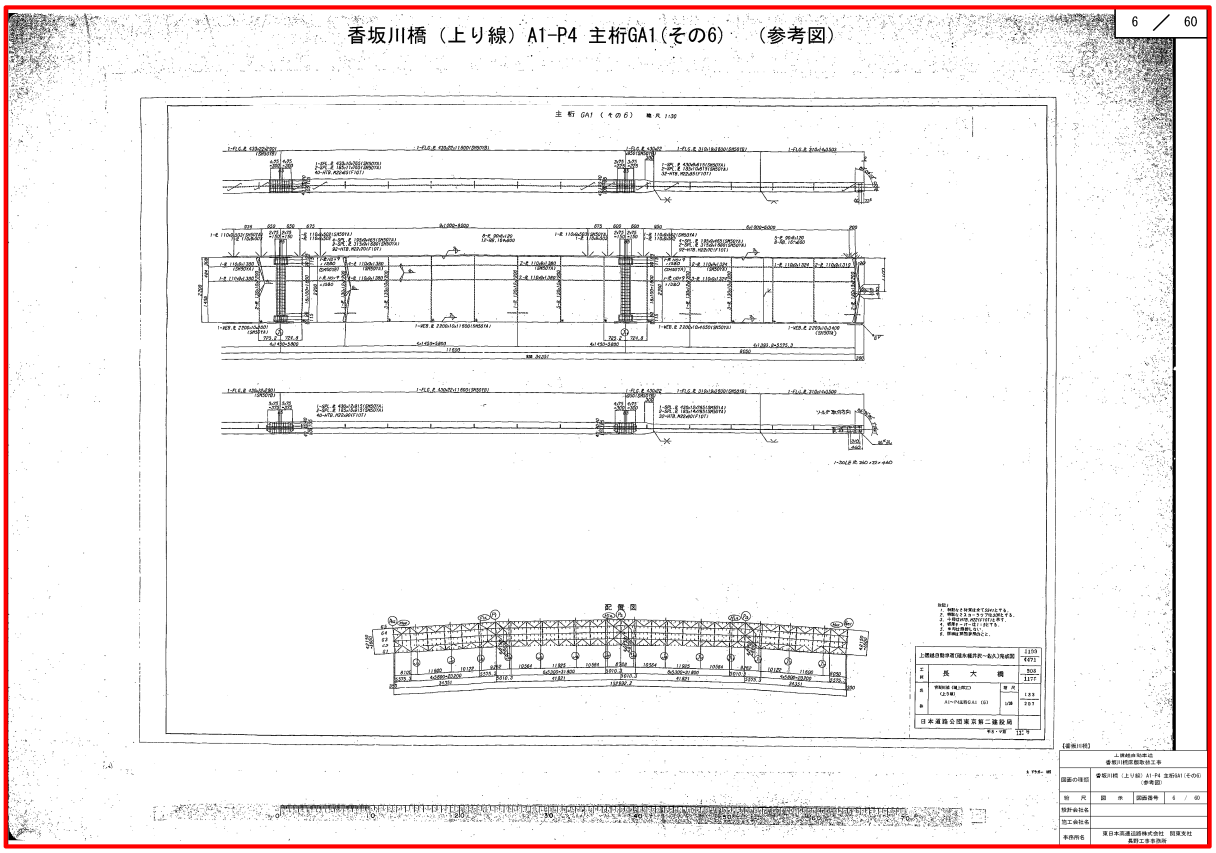
対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

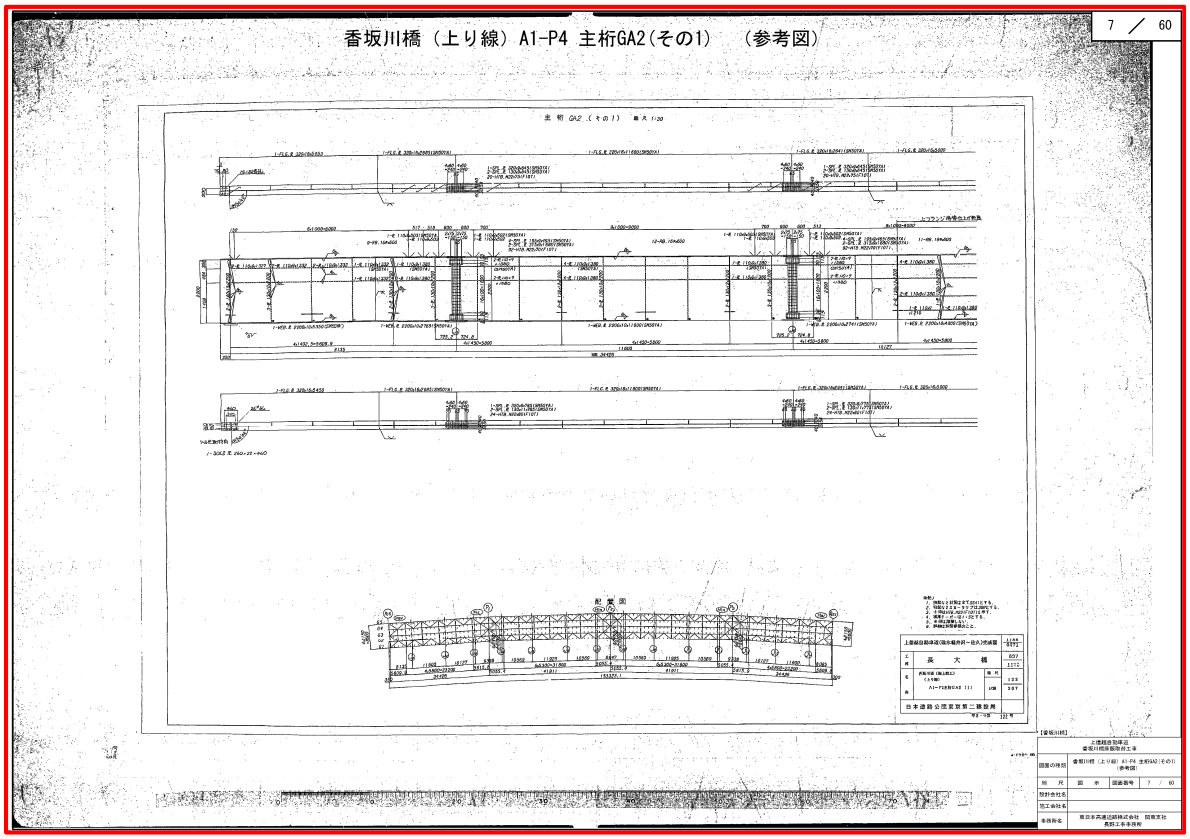
対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

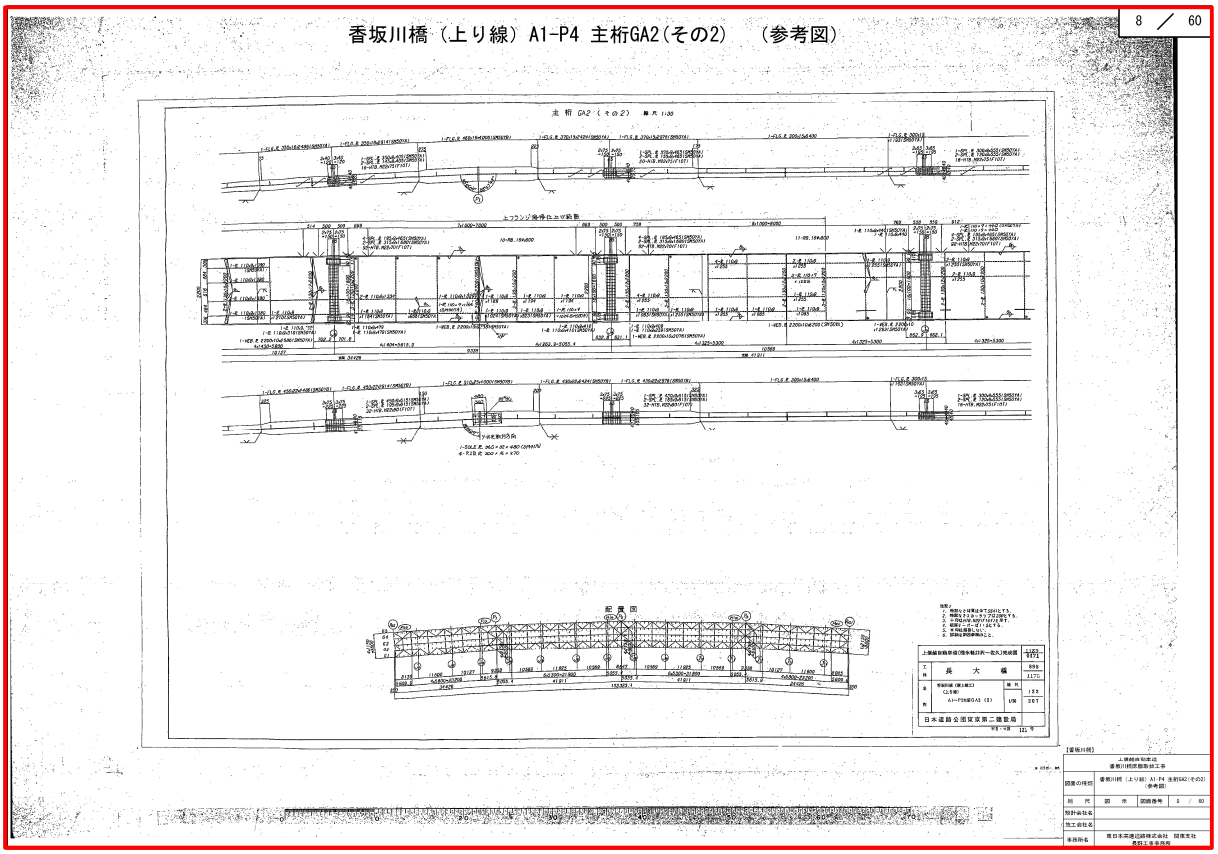
対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

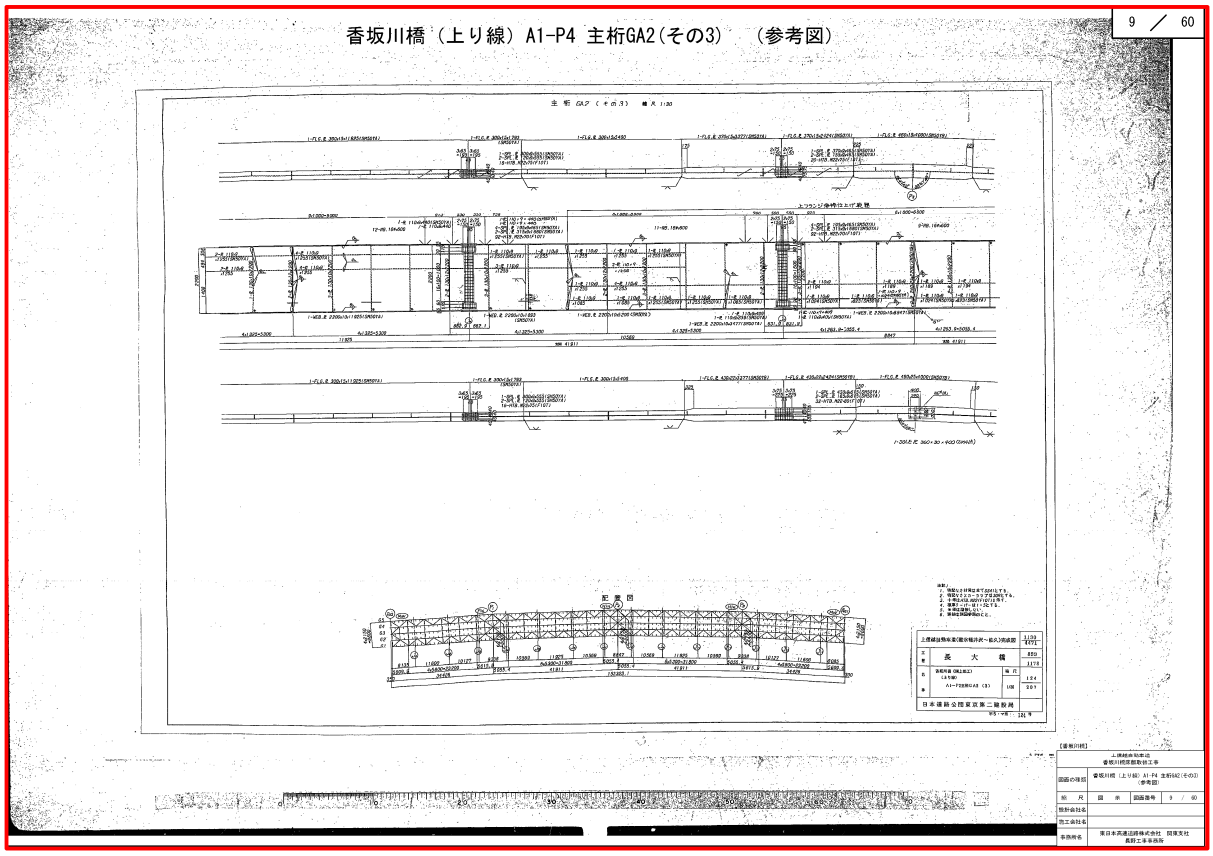
対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

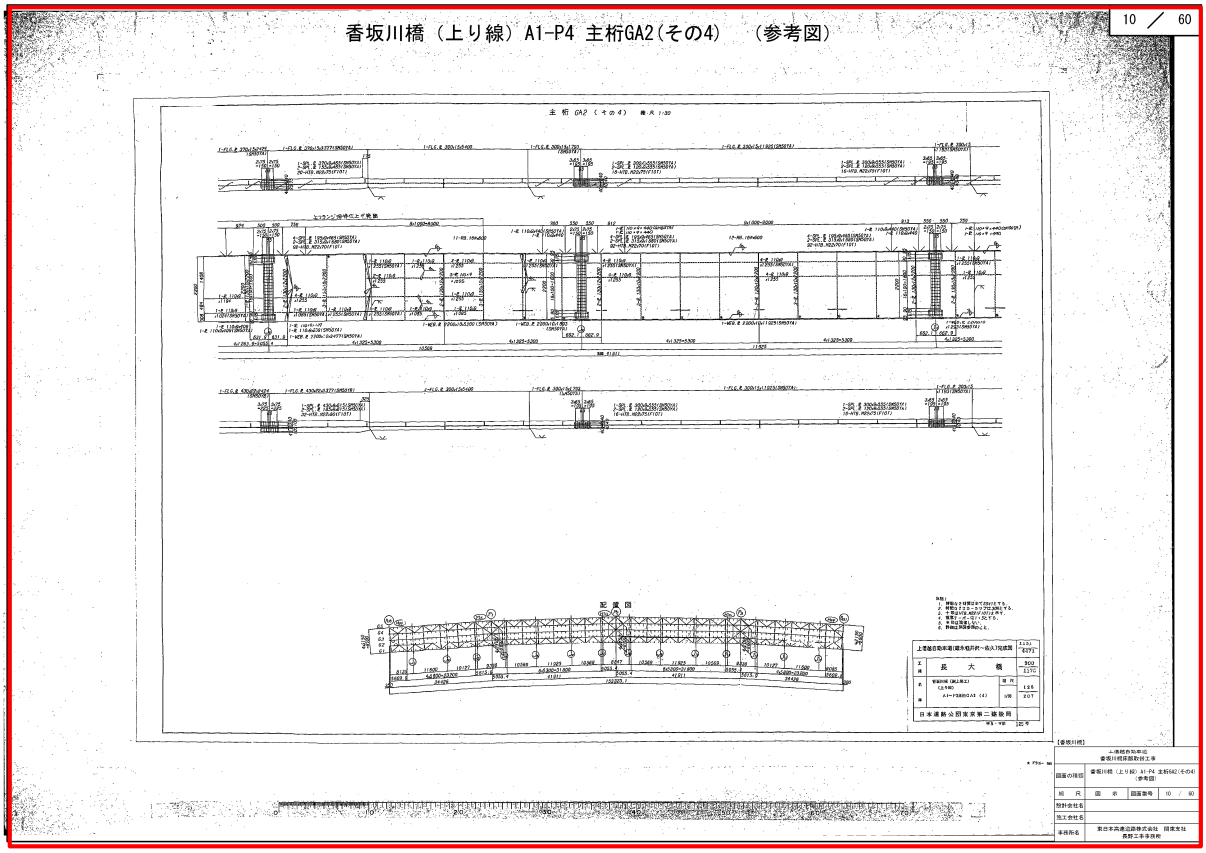
対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

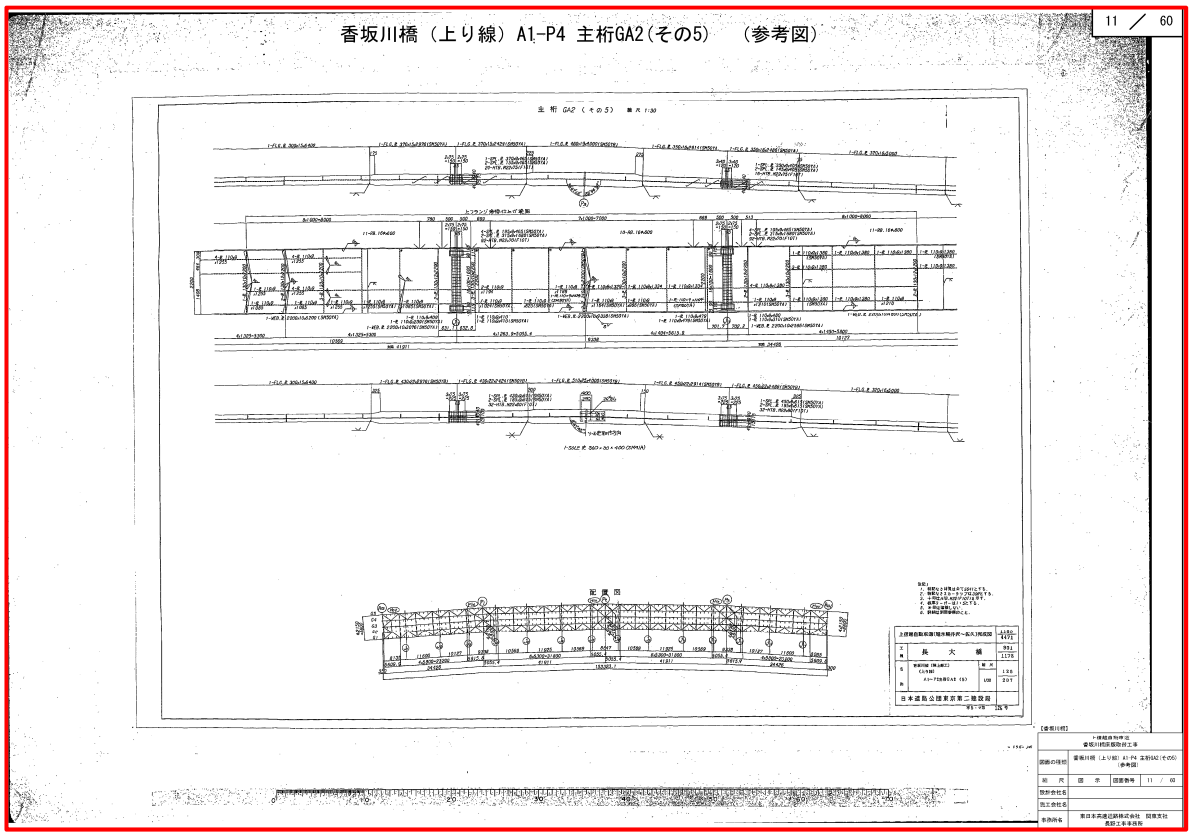
対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

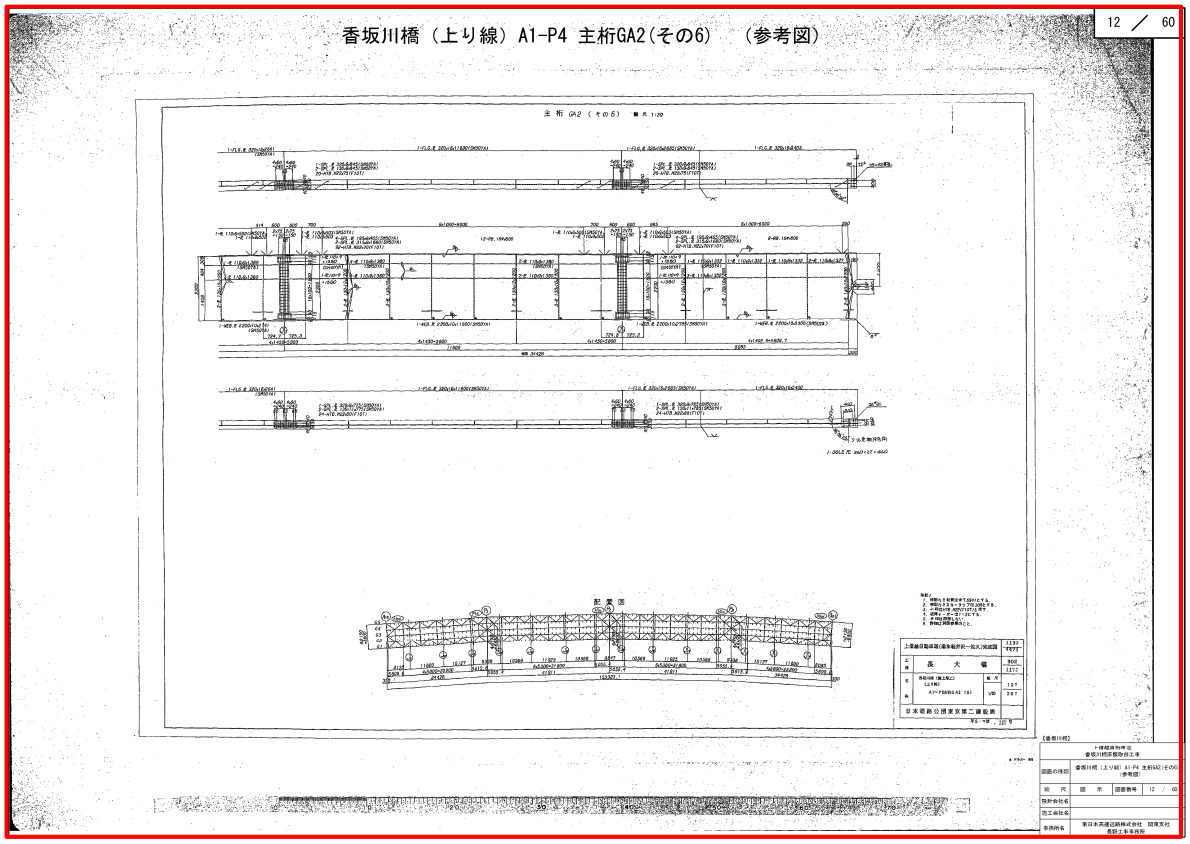
対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

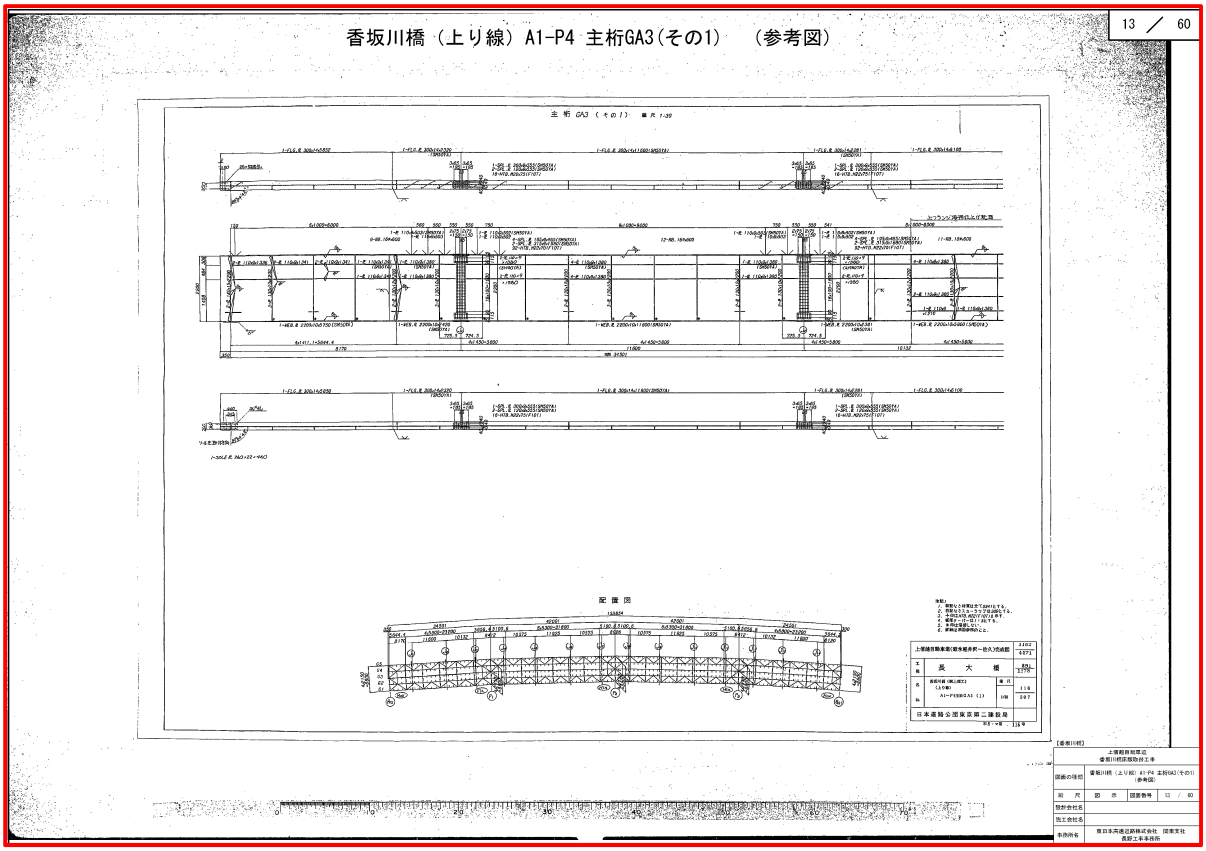
対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

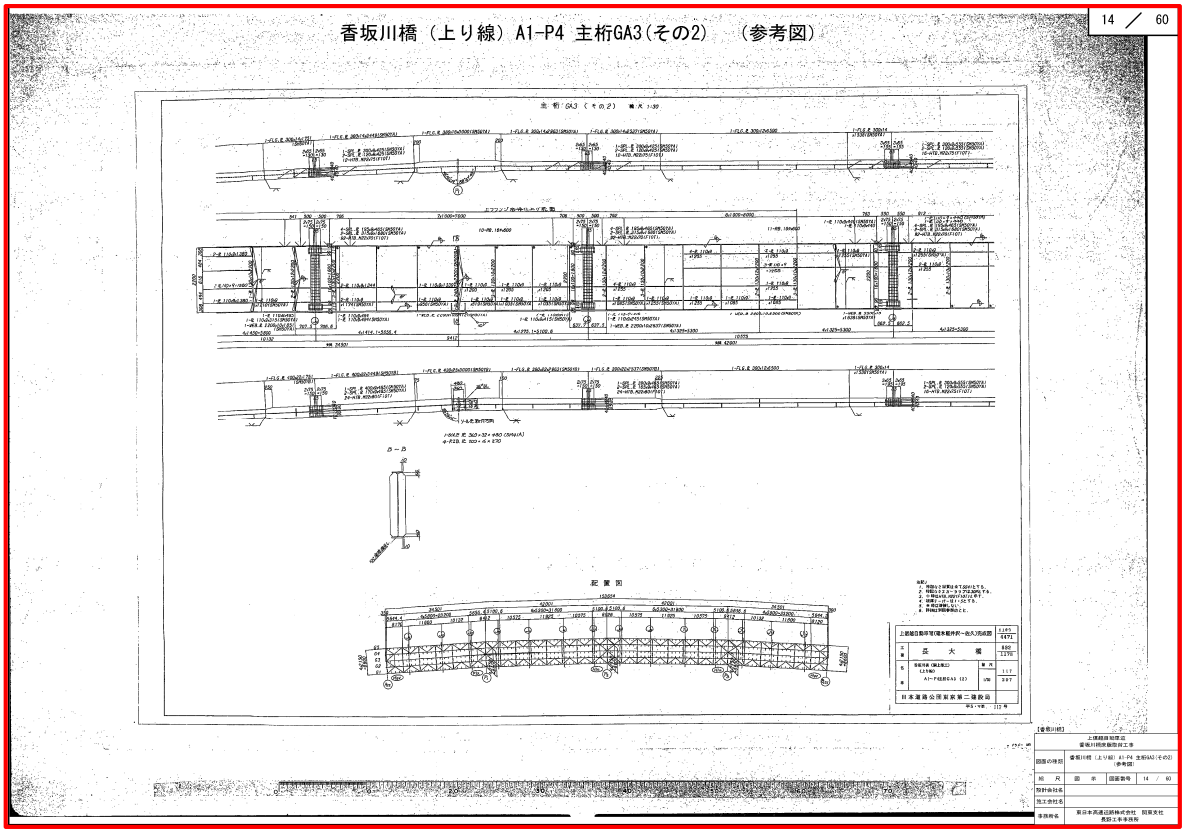
対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

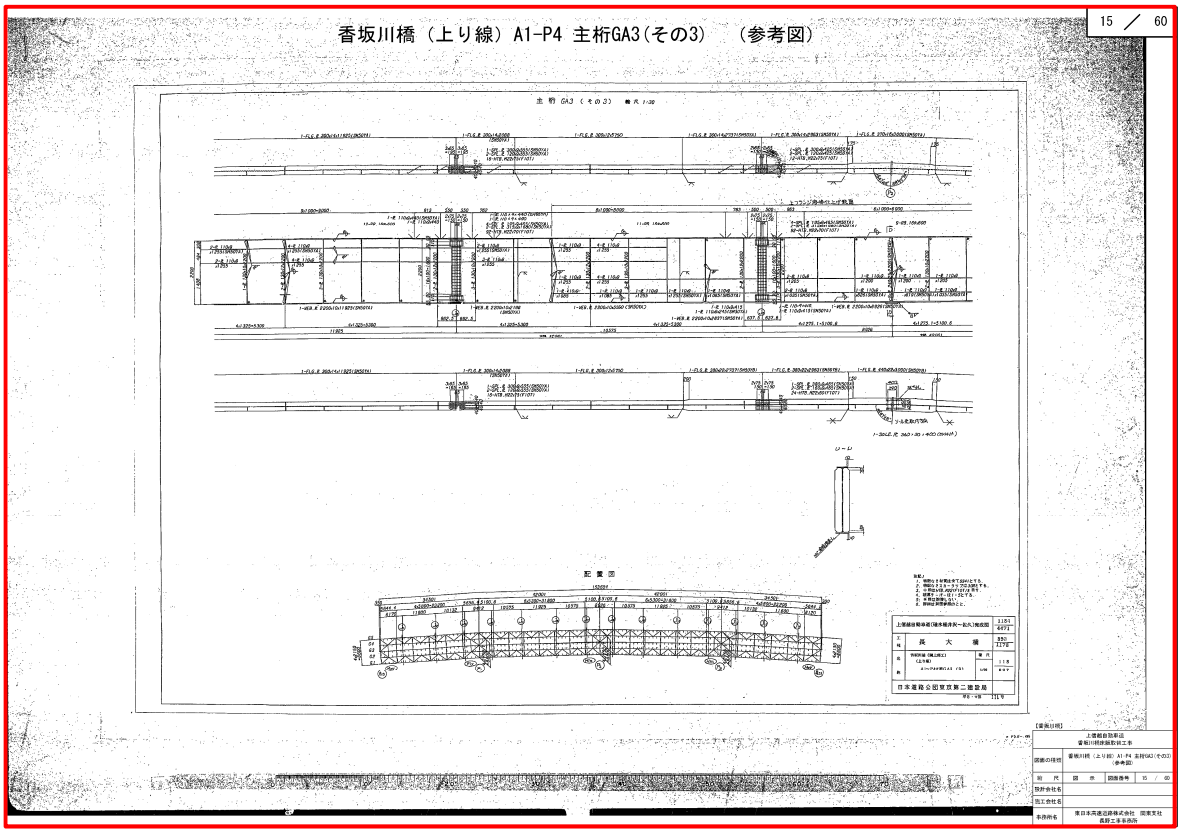
対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

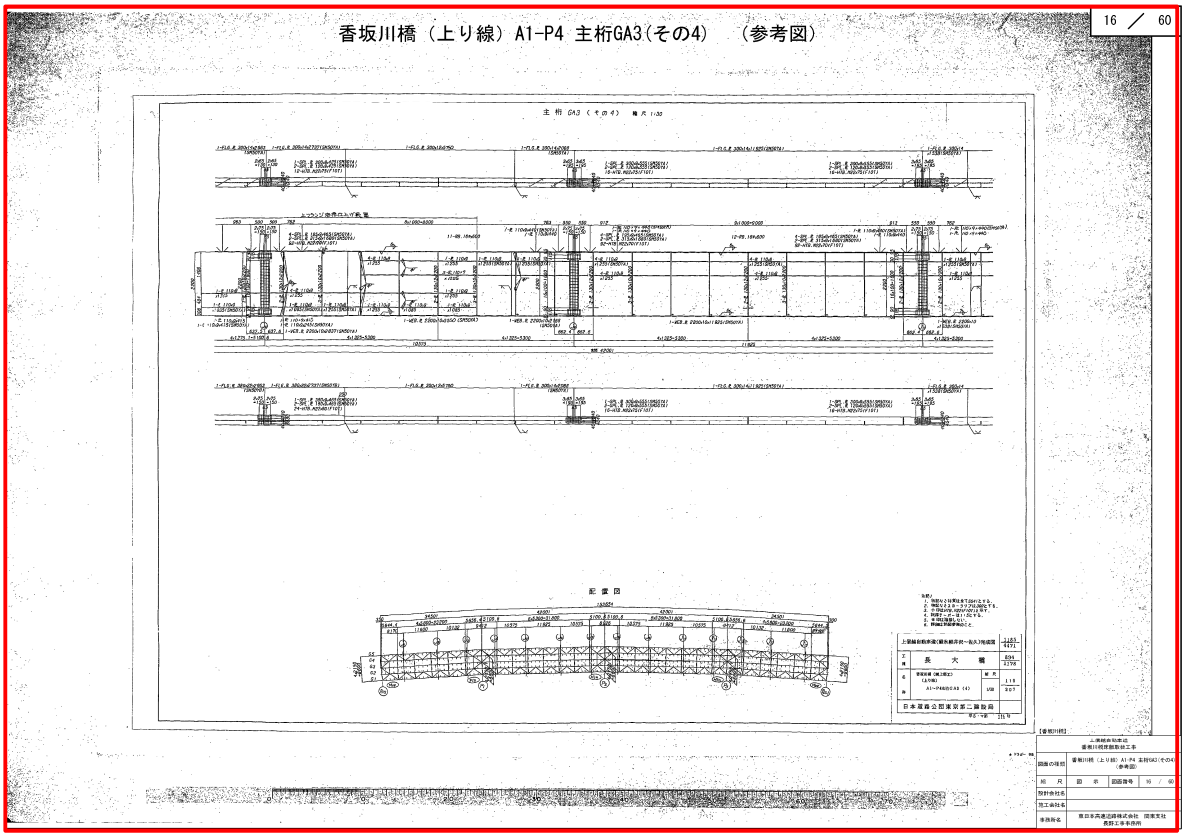
対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

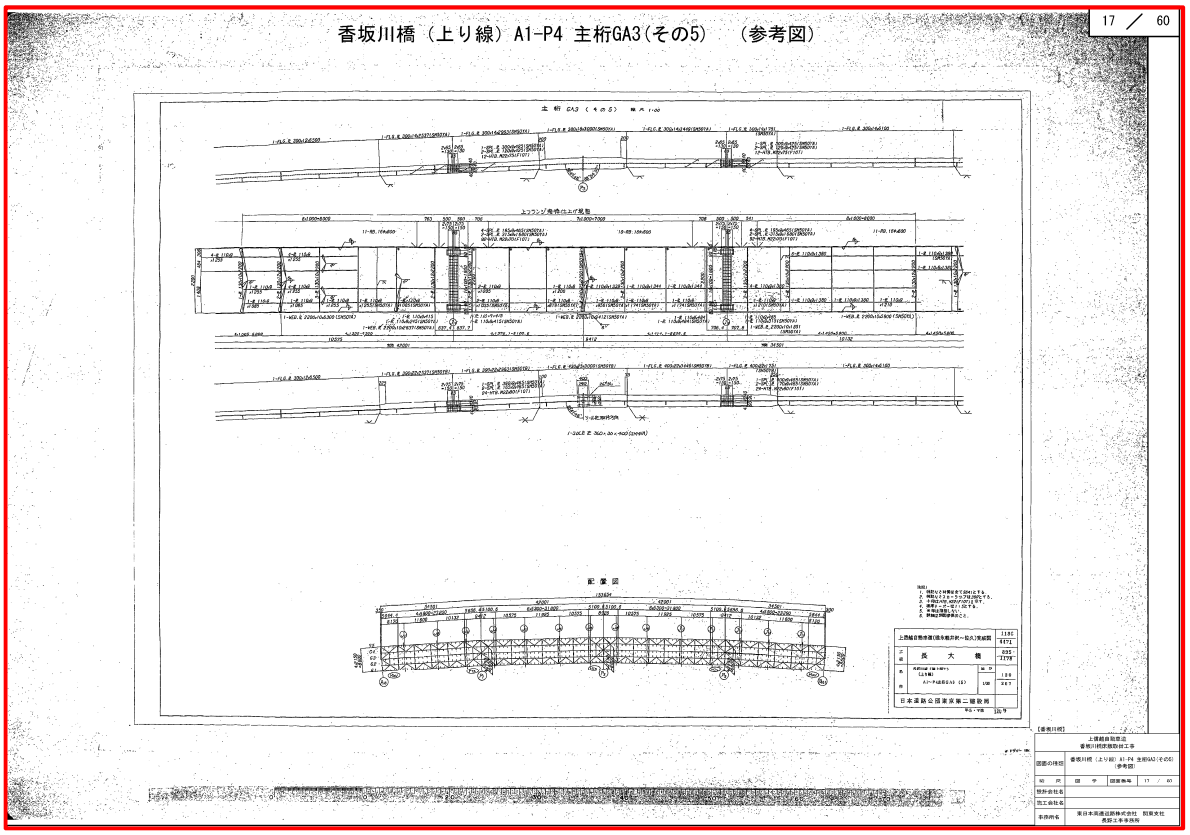
対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

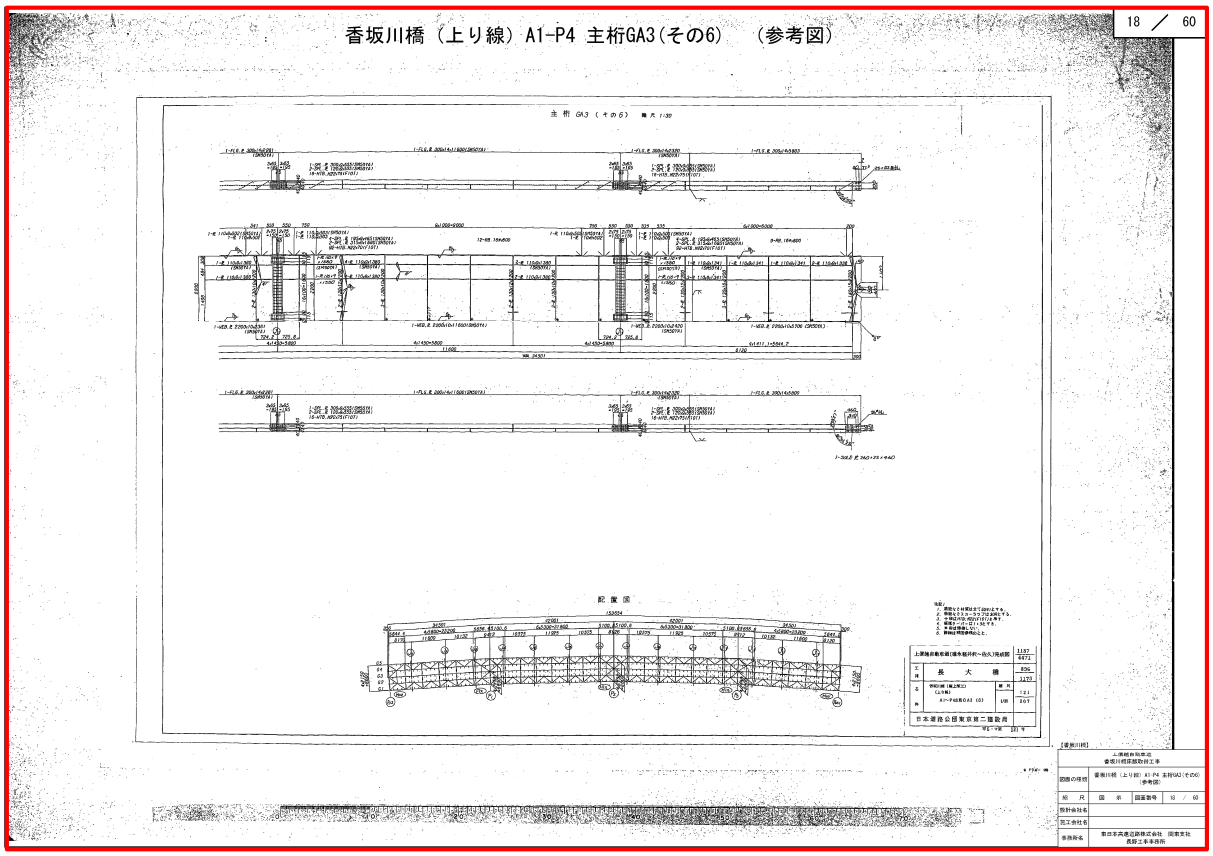
対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

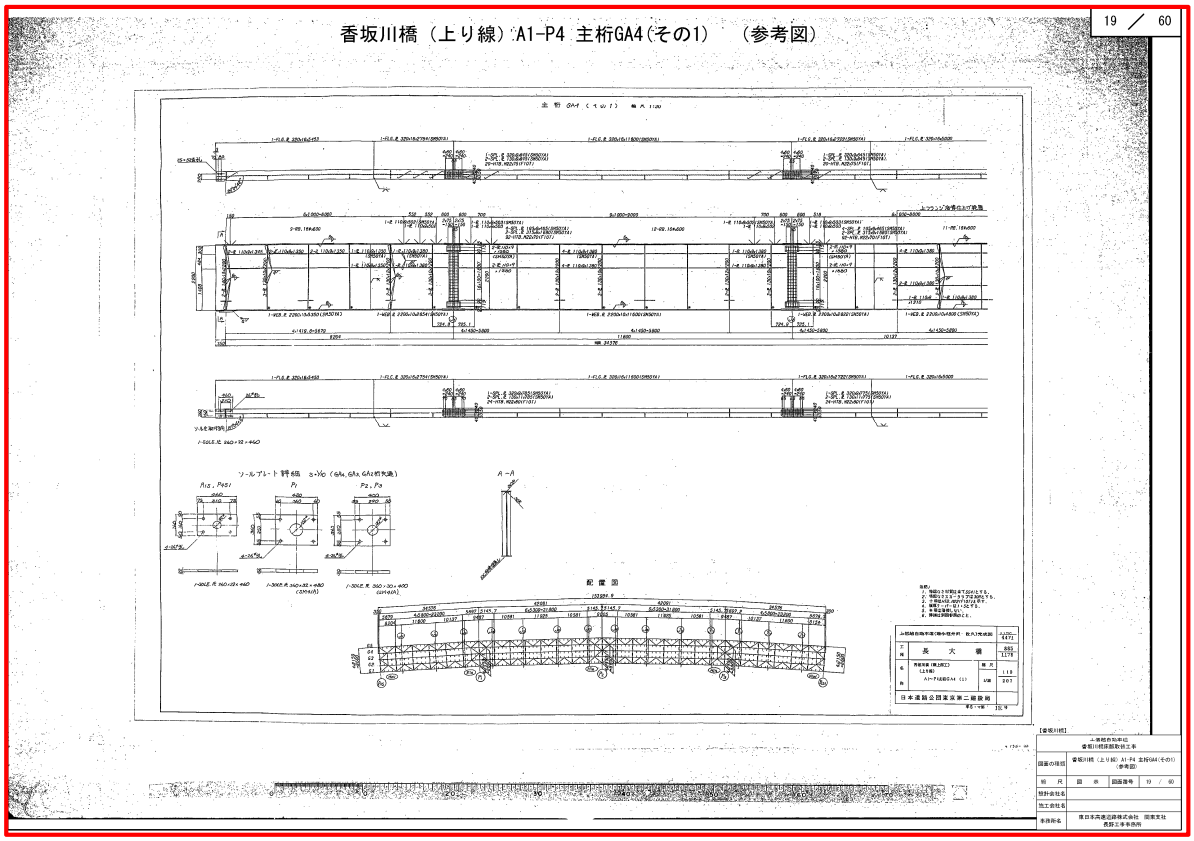
対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

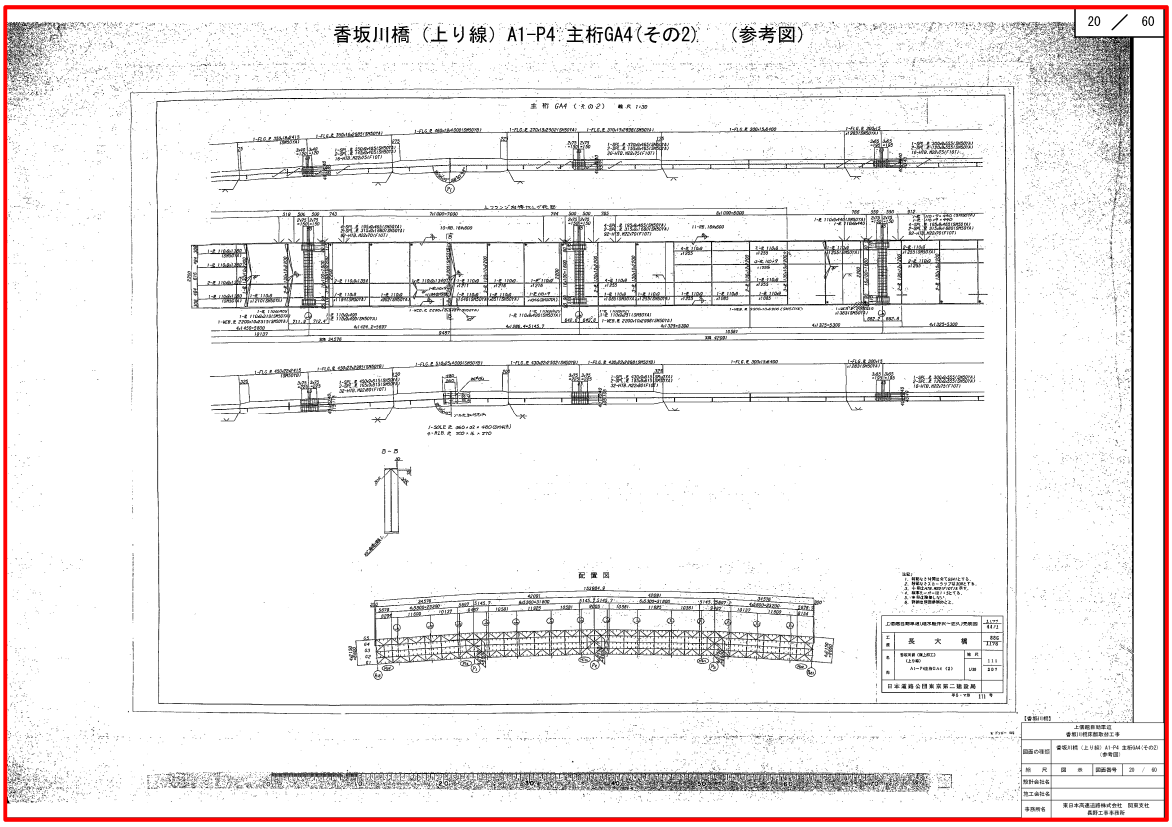
対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

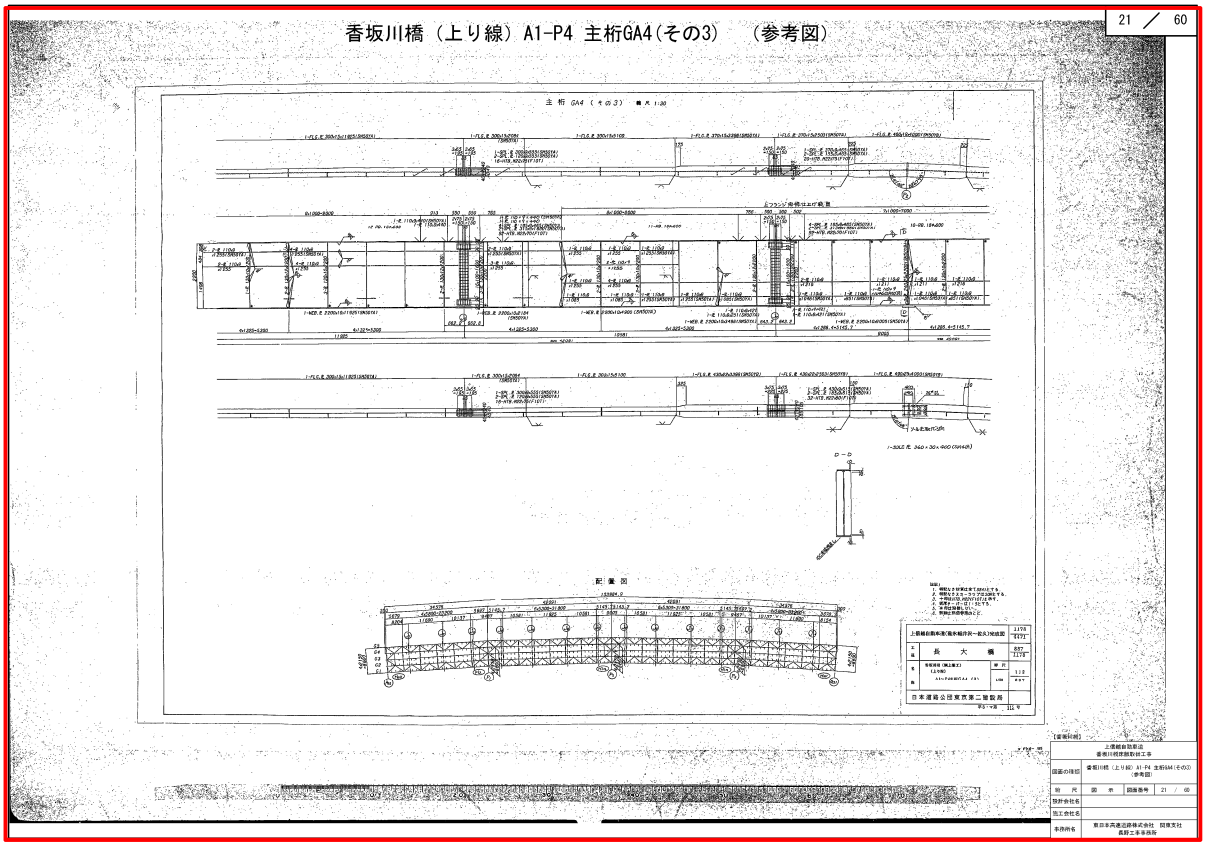
対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

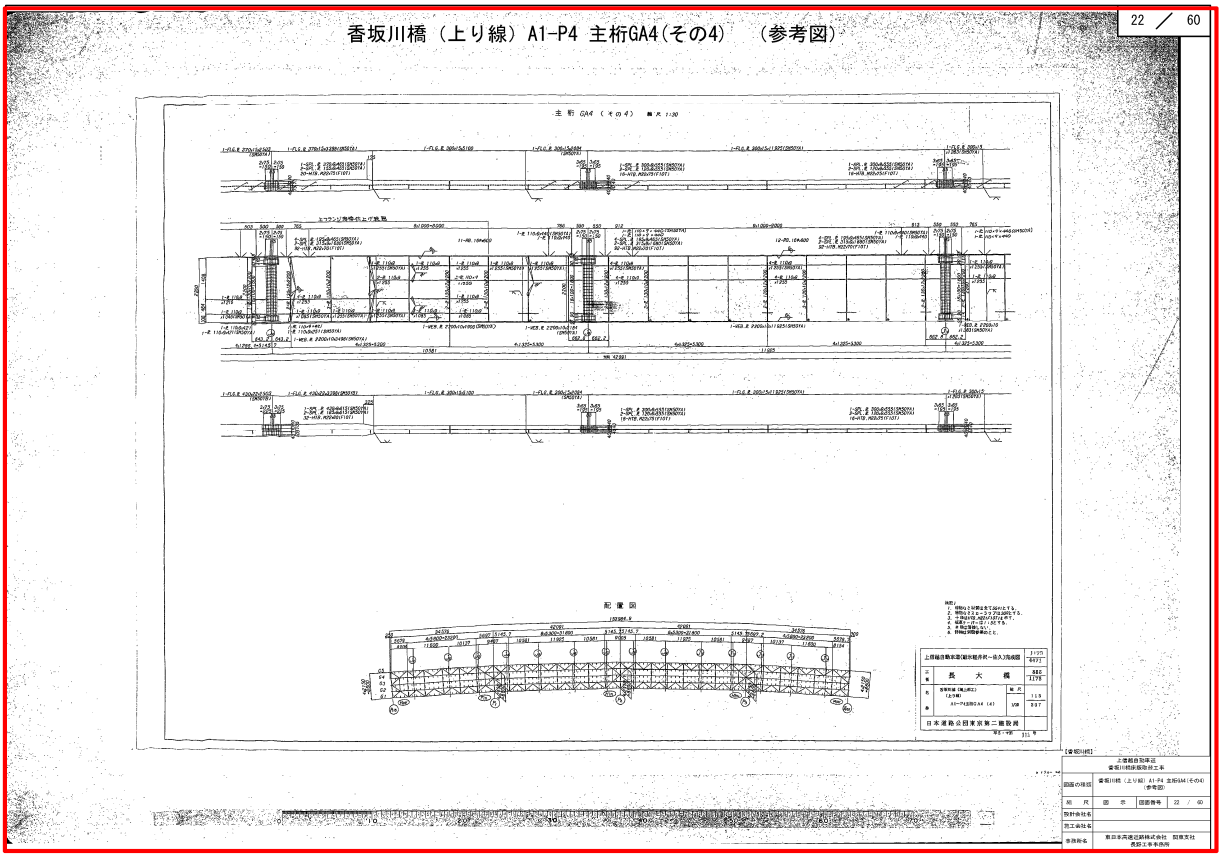
対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

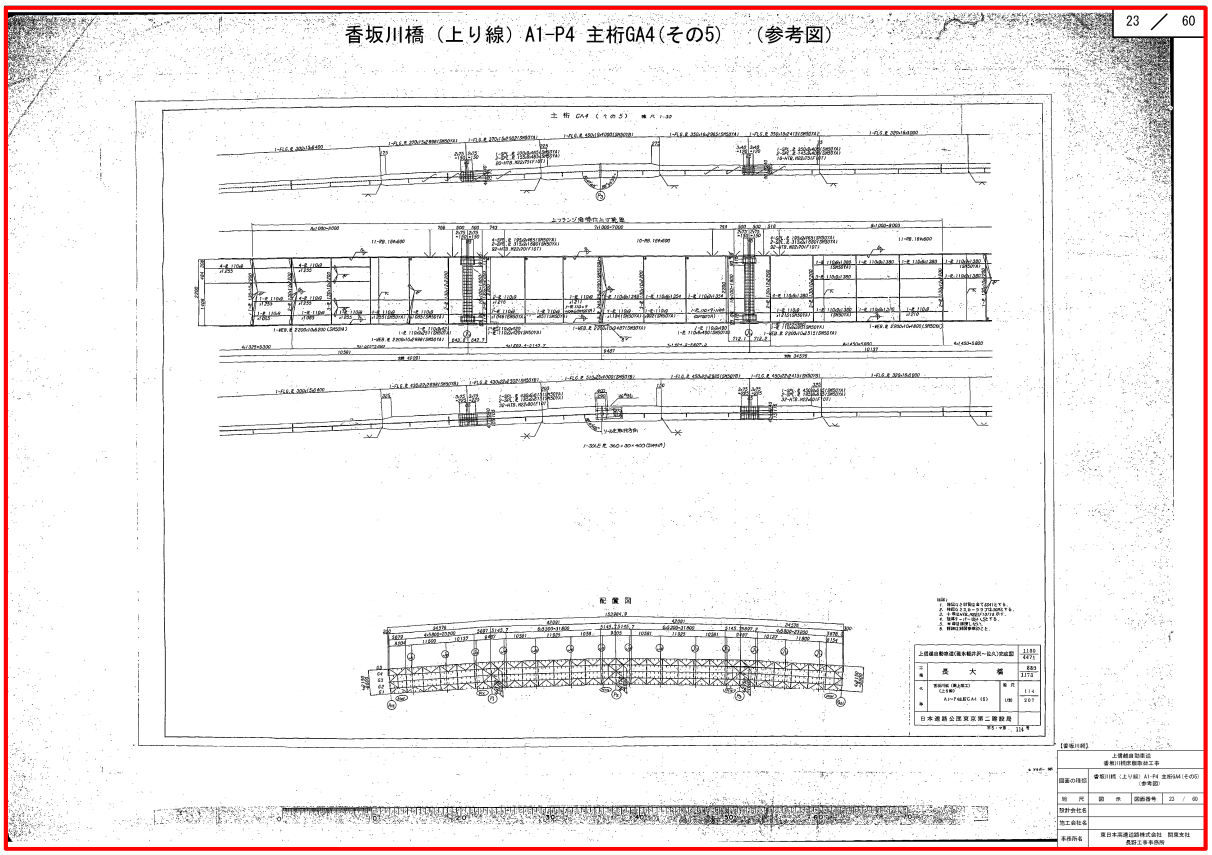
対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

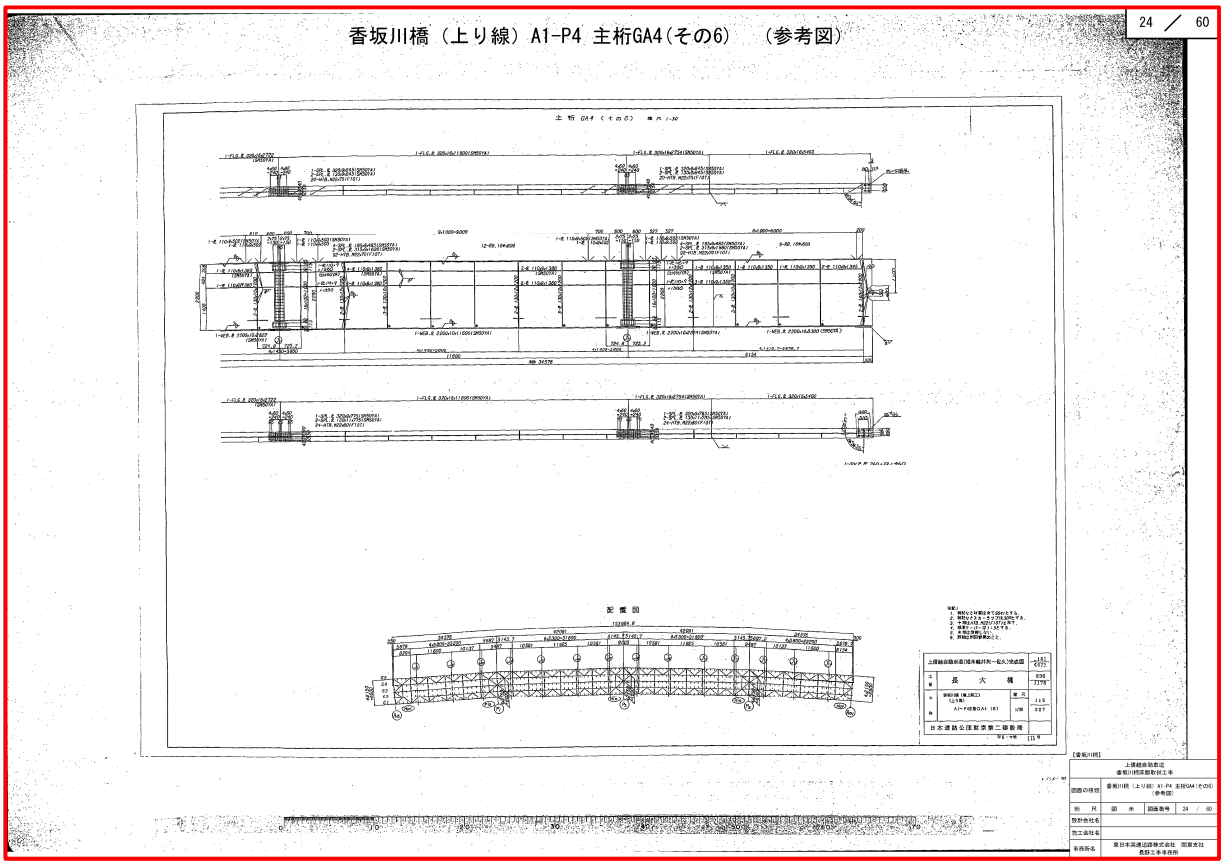
対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

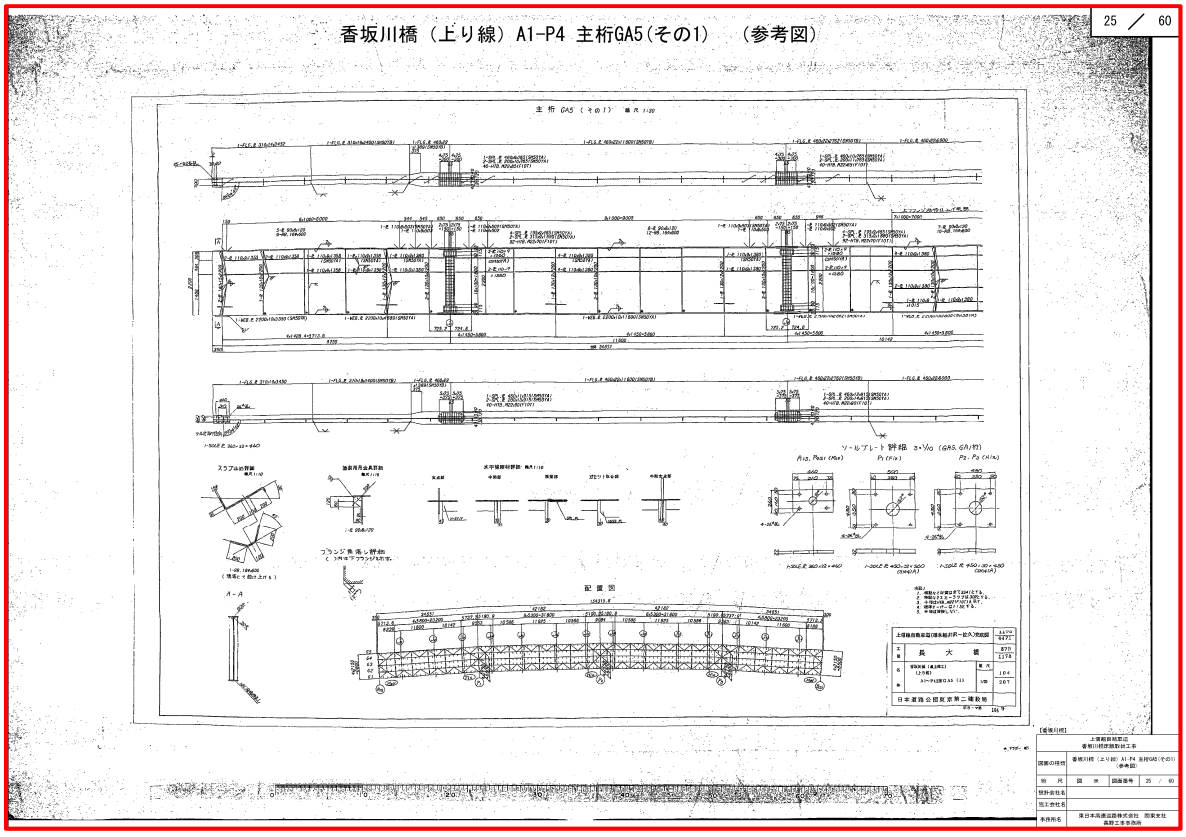
対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

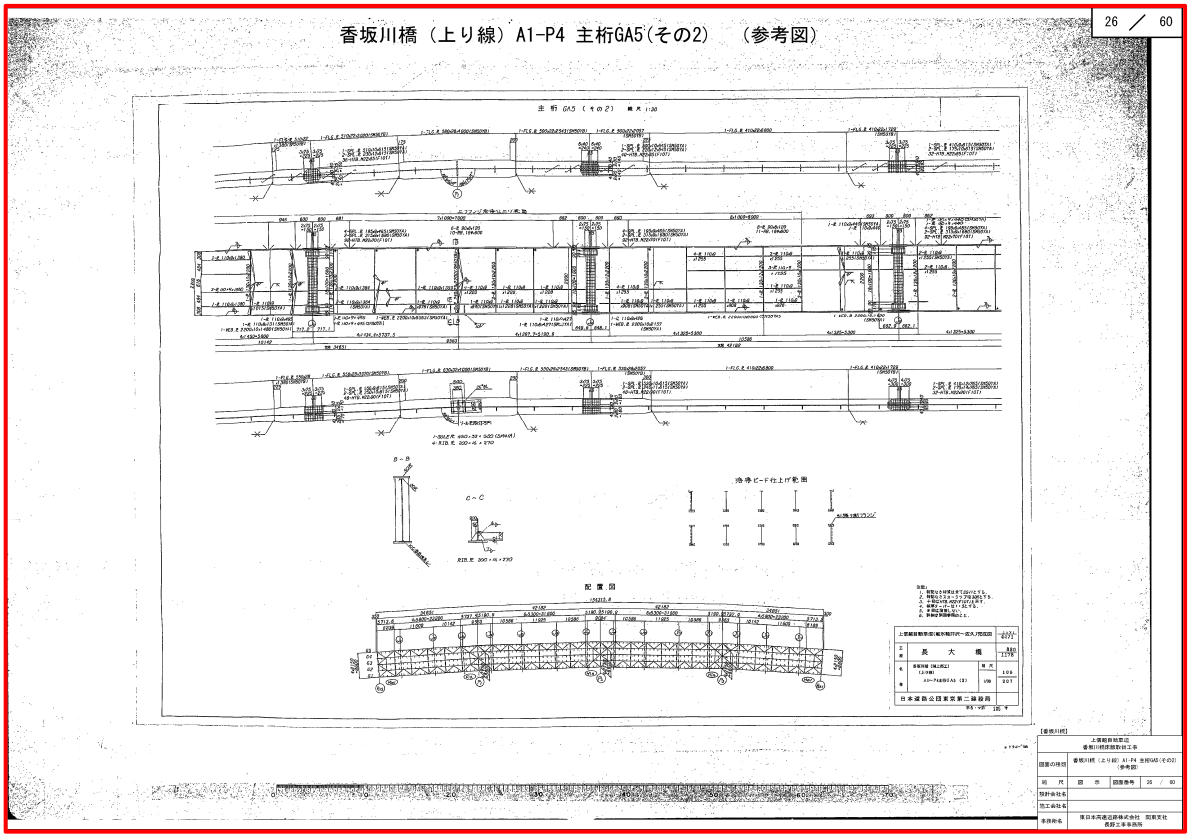
対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

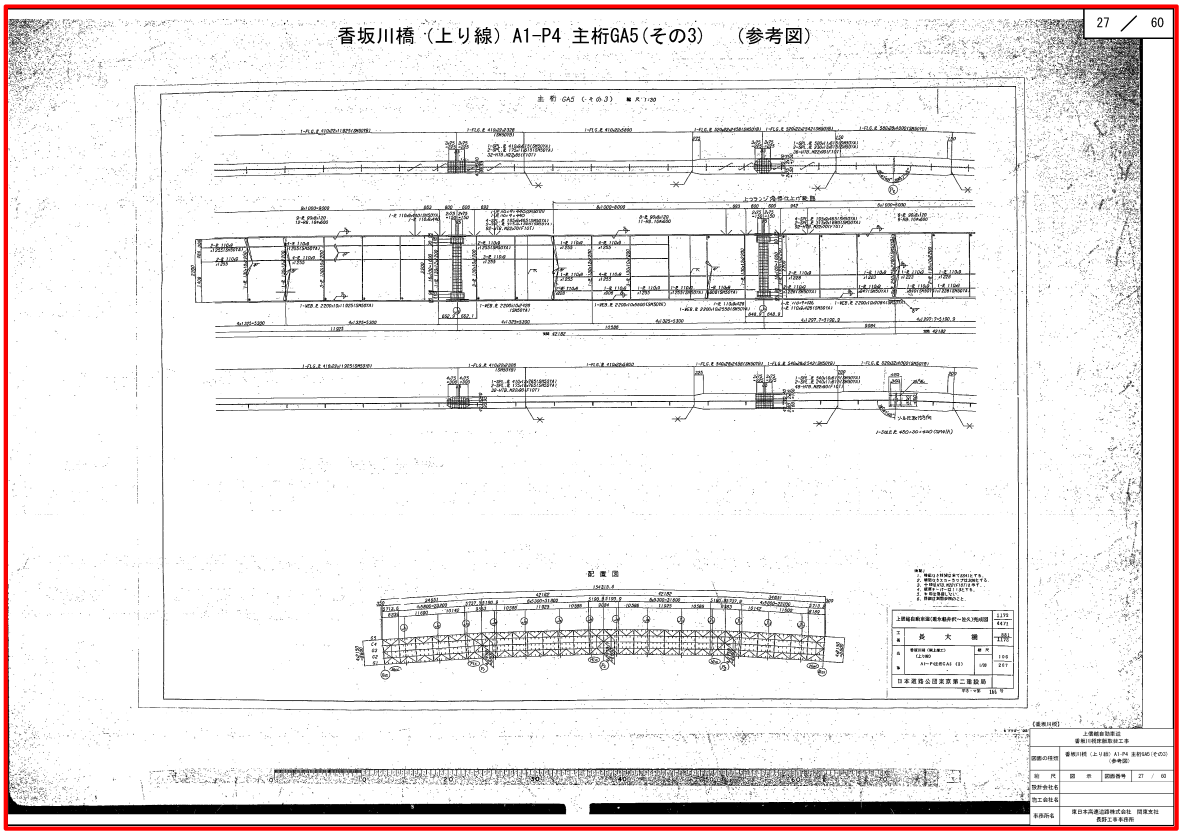
対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

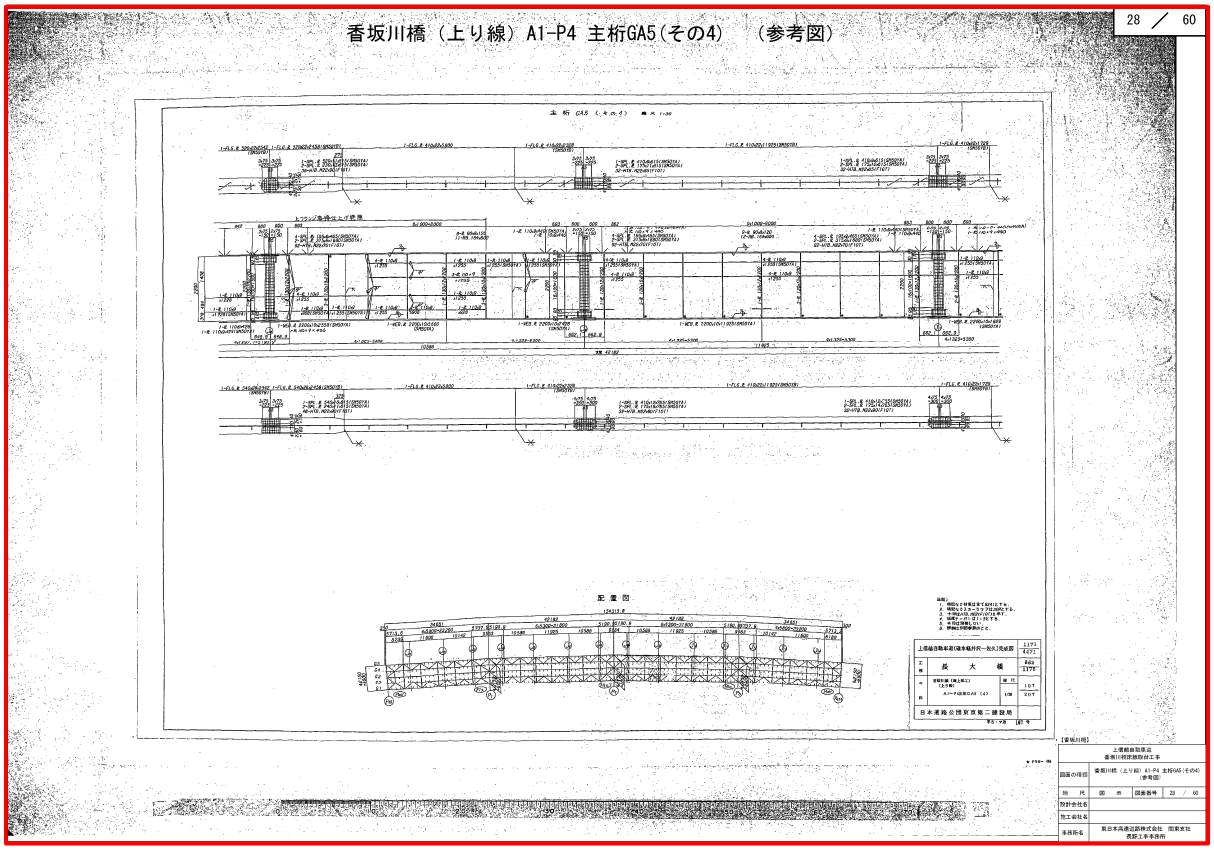
対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

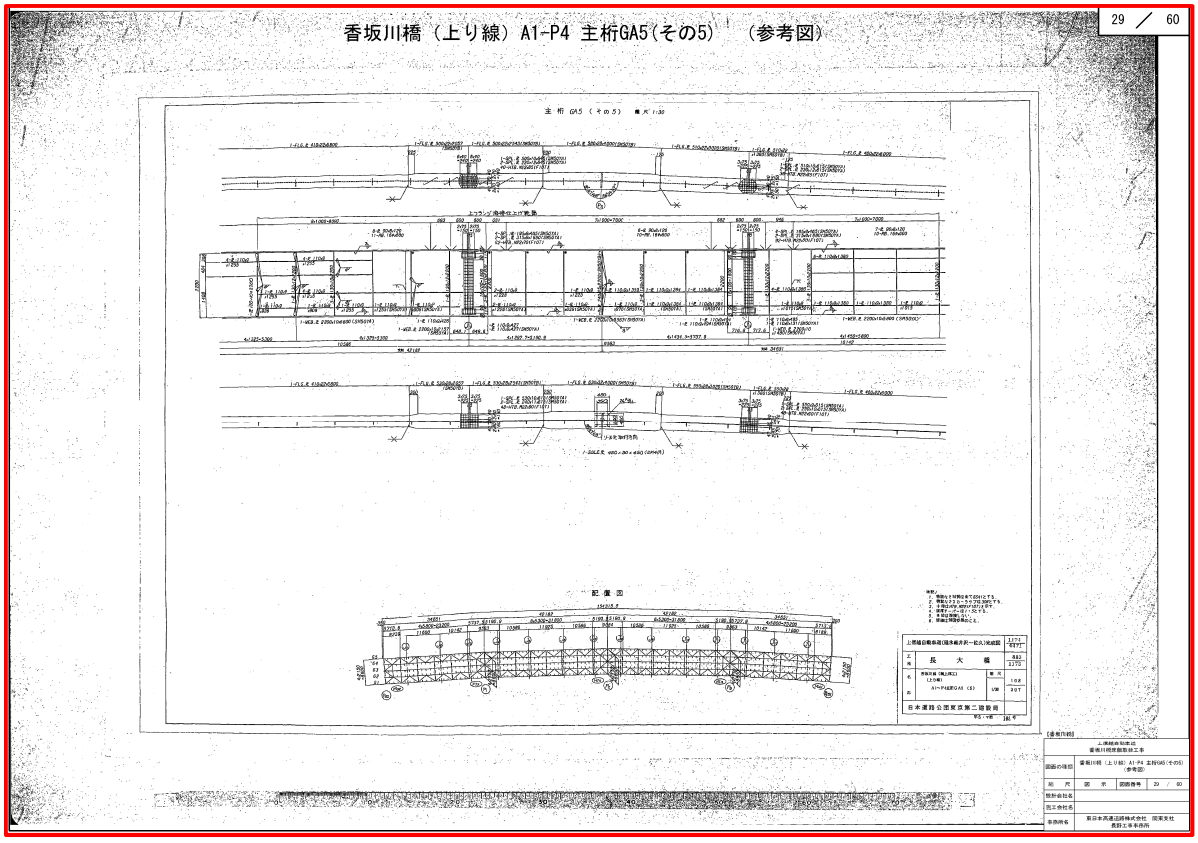
対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

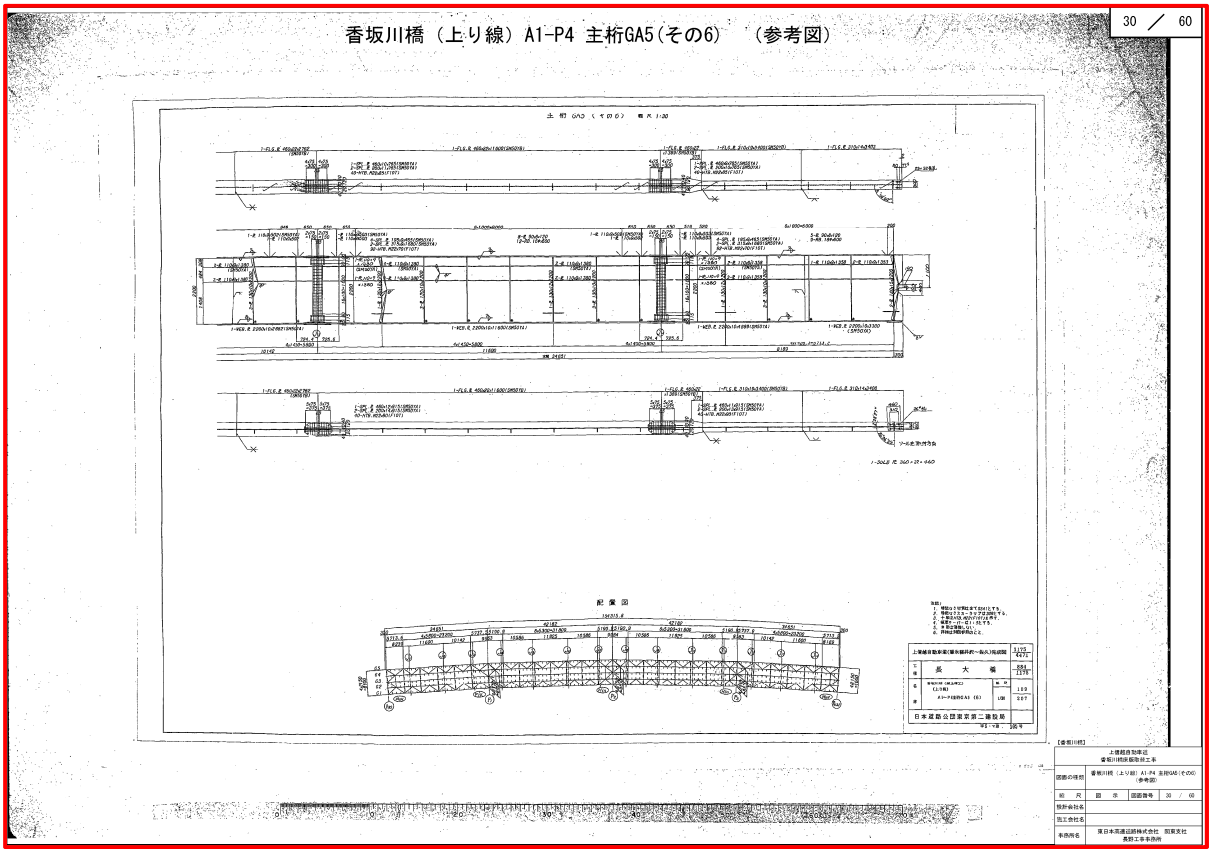
対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

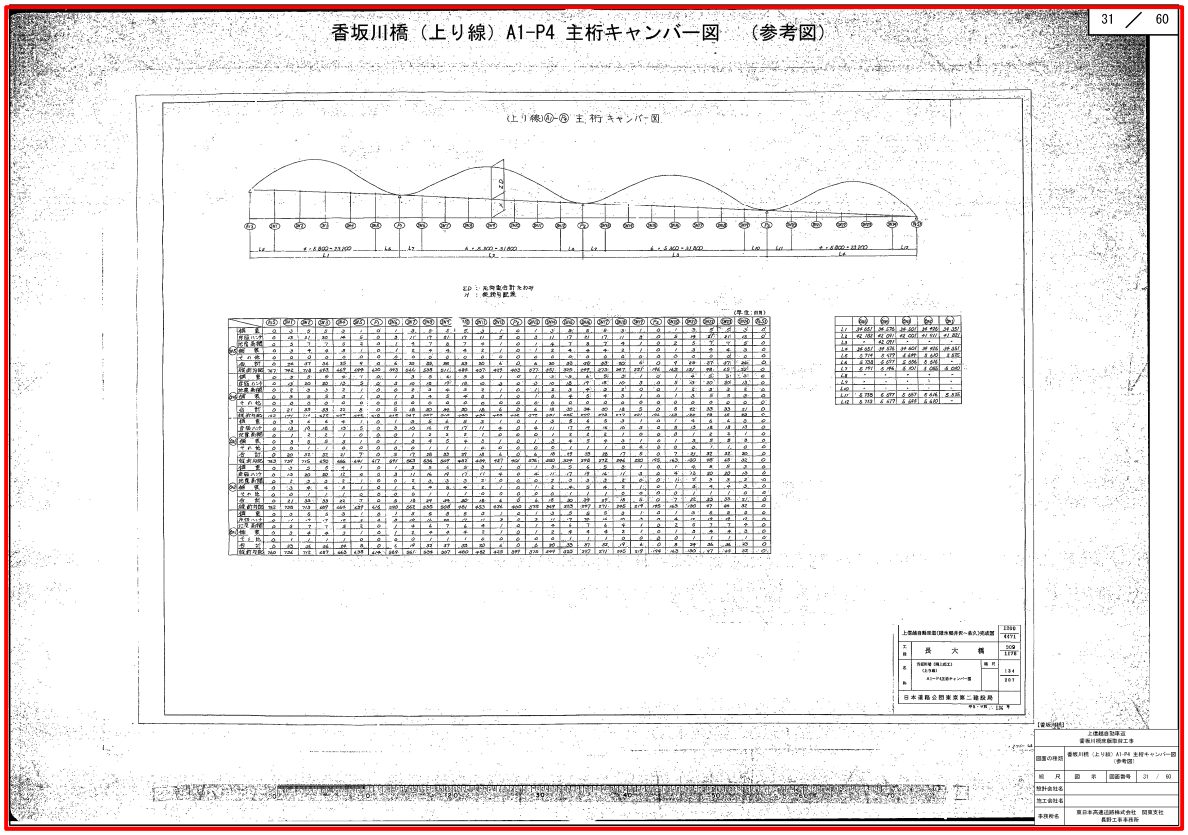
対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

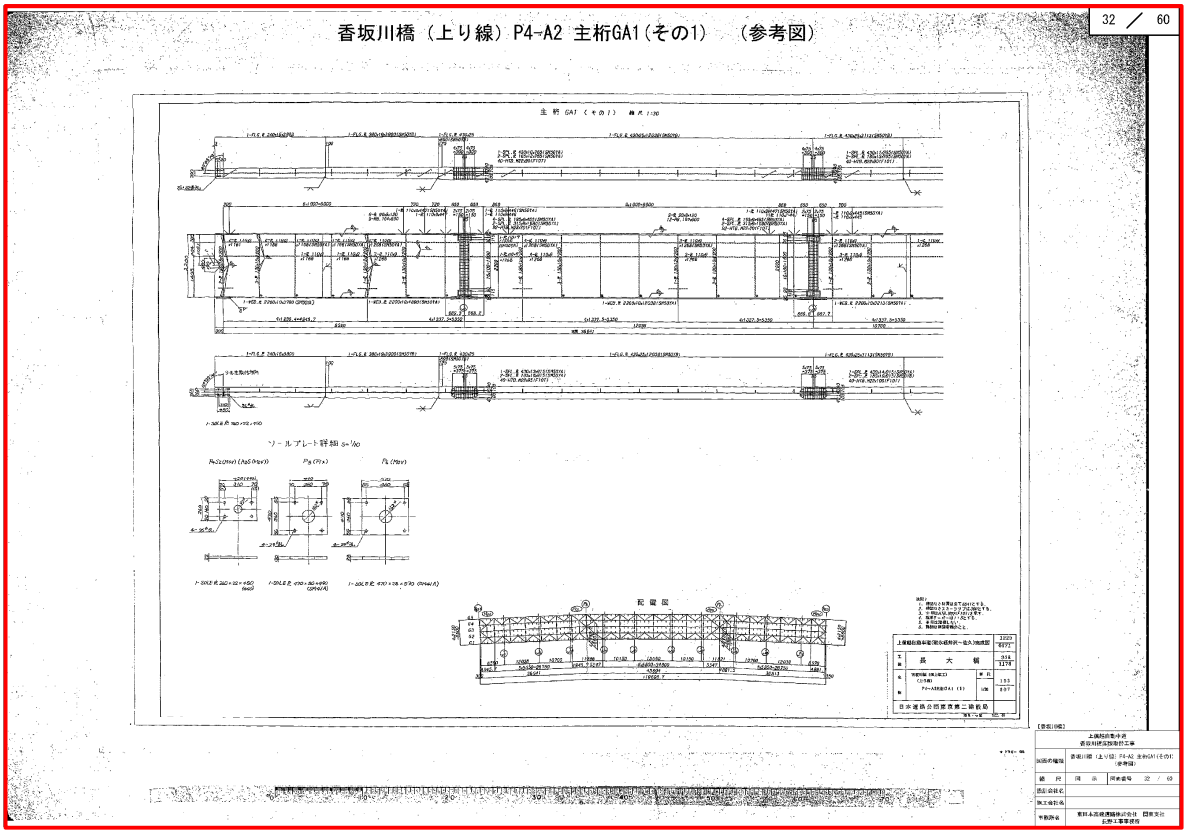
対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

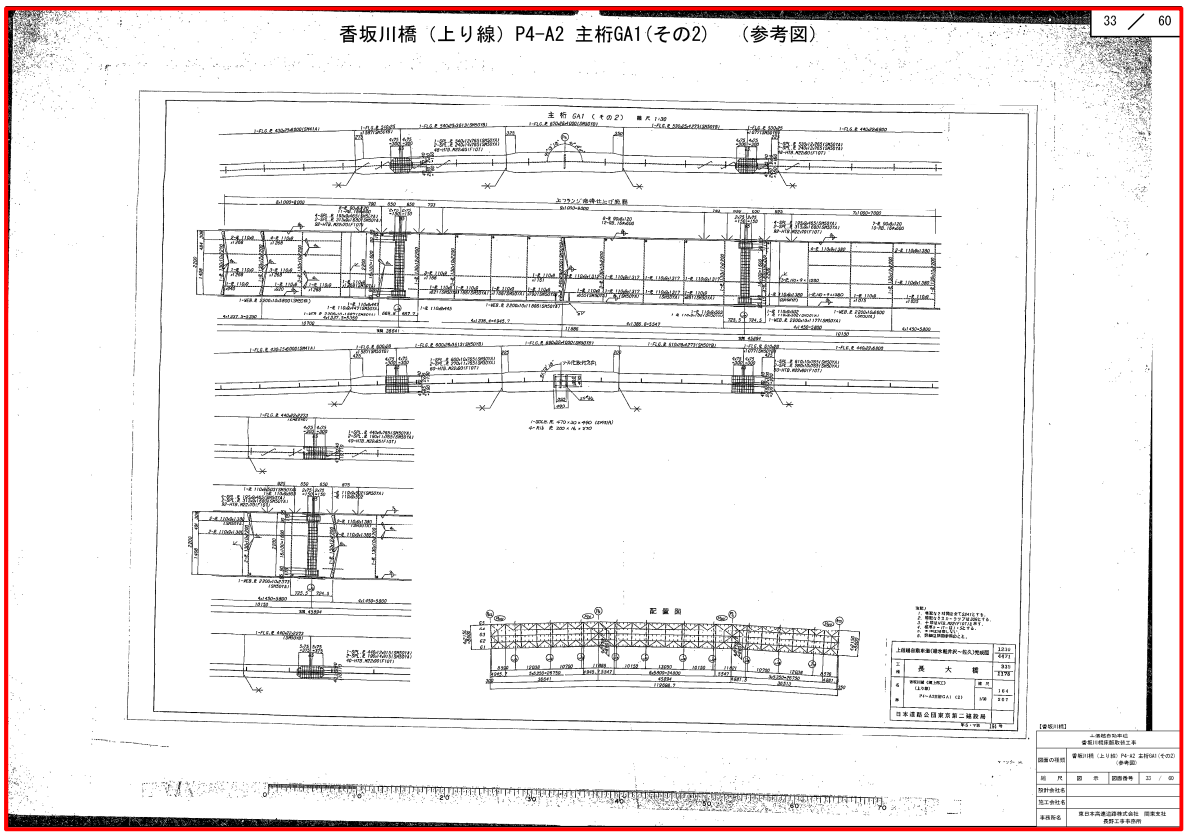
対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

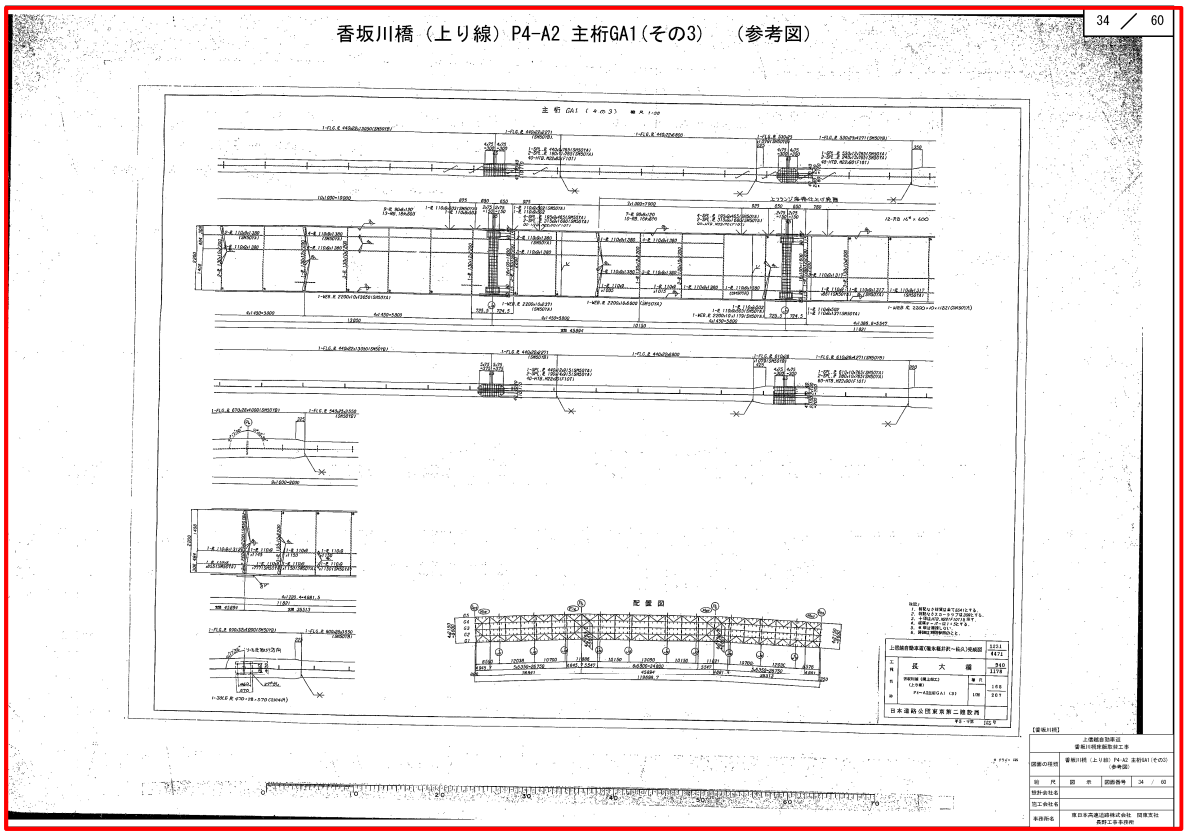
対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

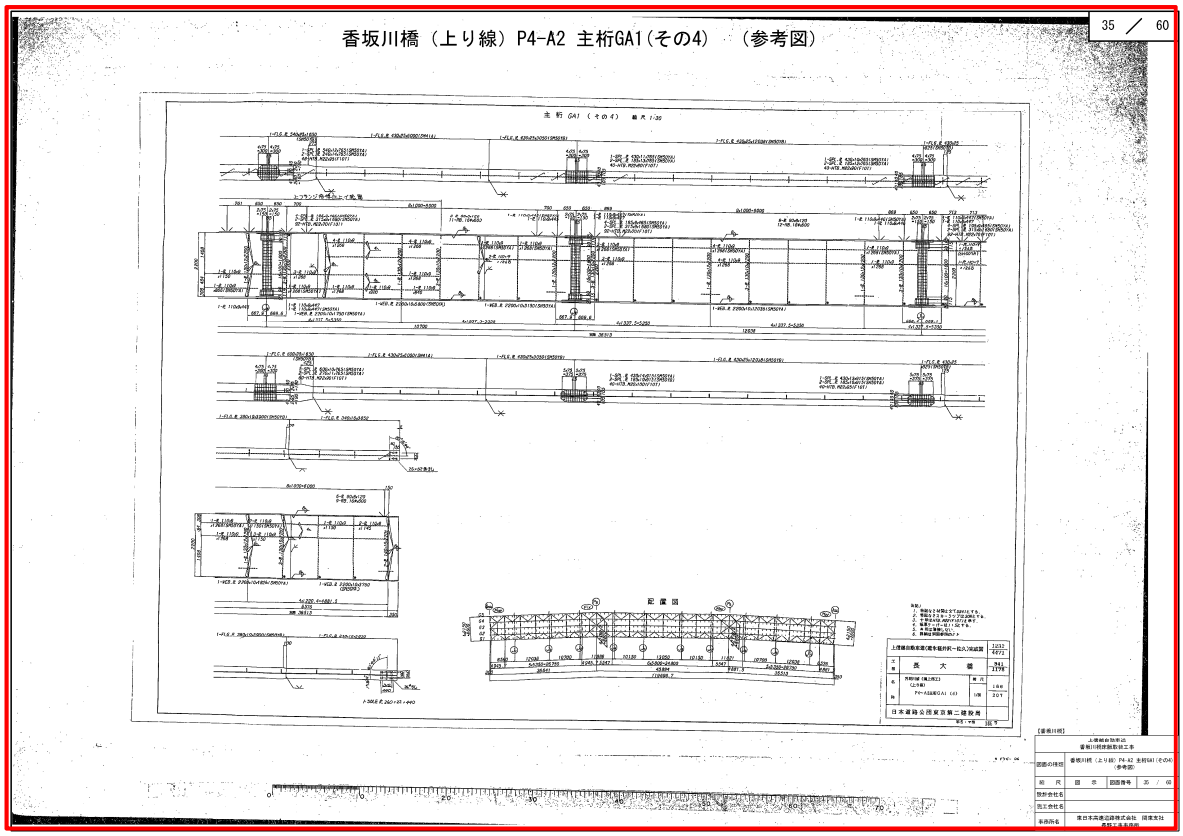
対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

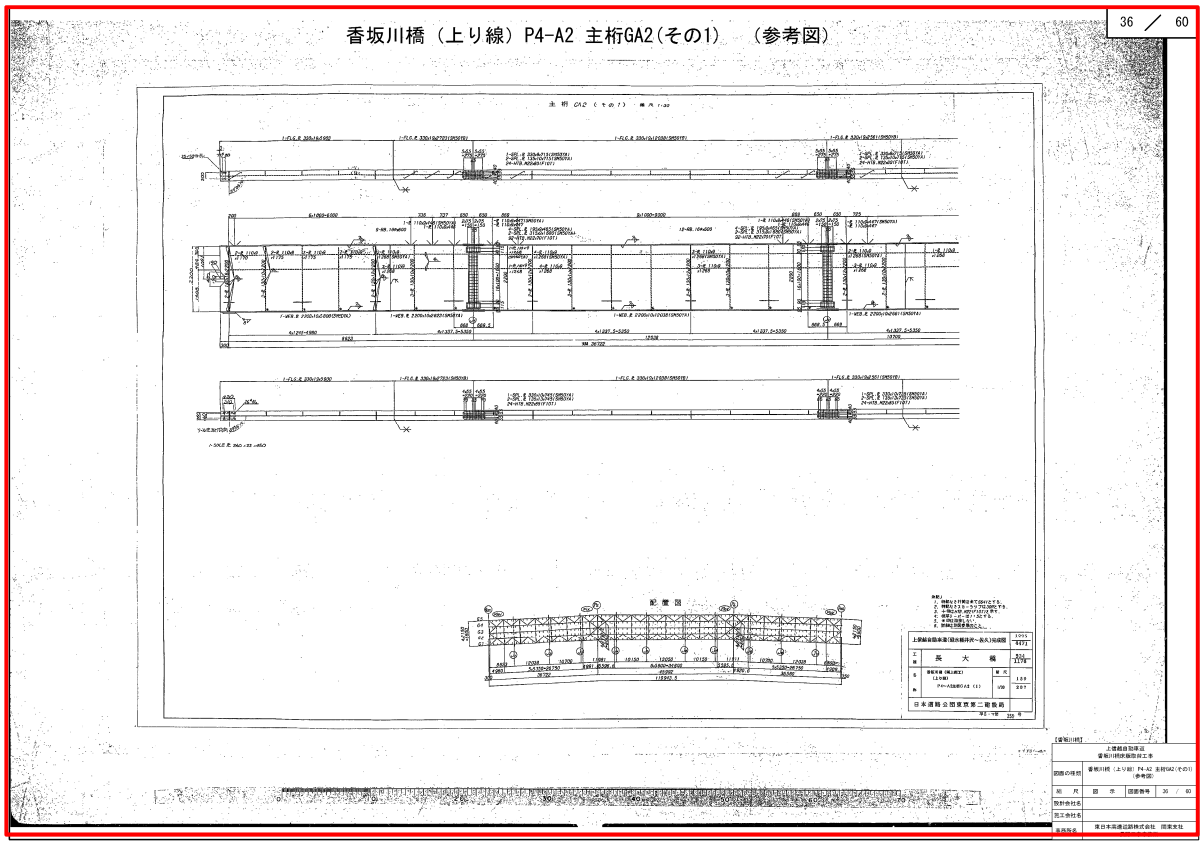
対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

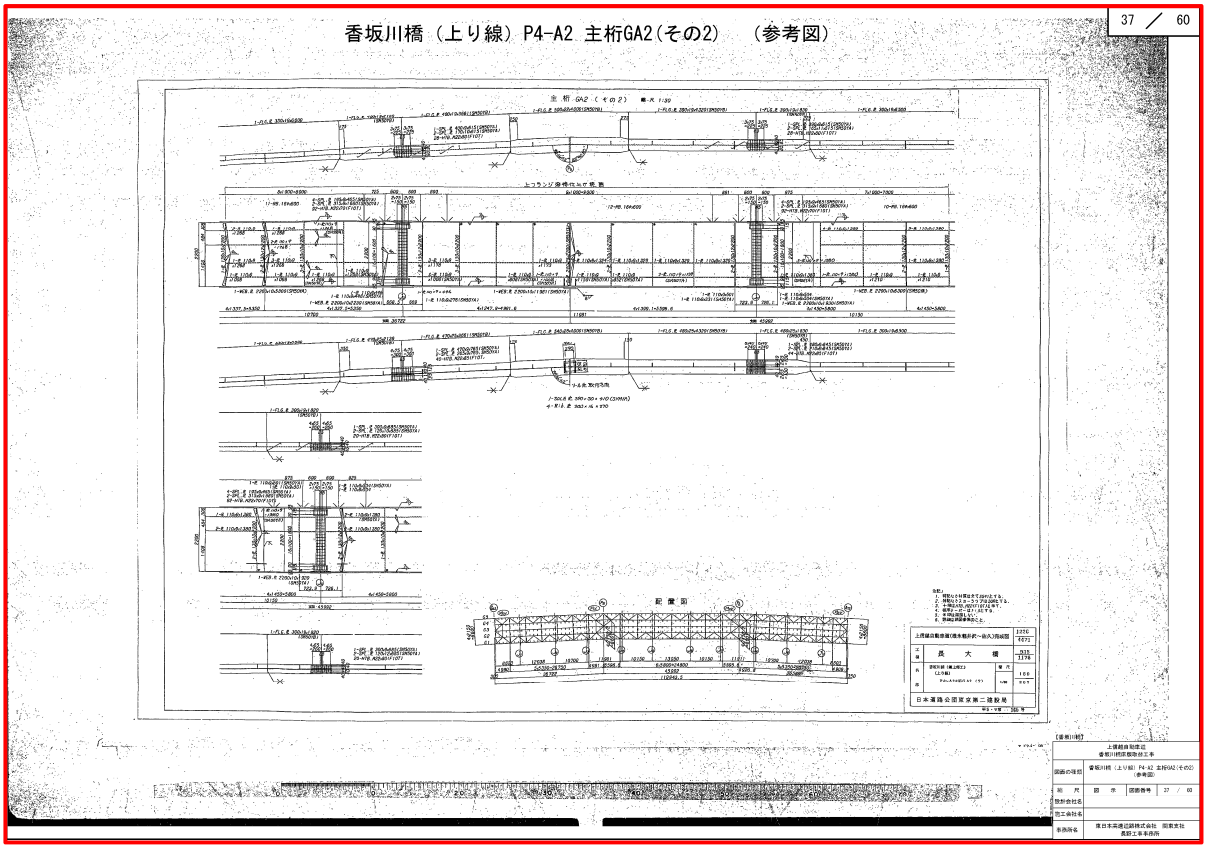
対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

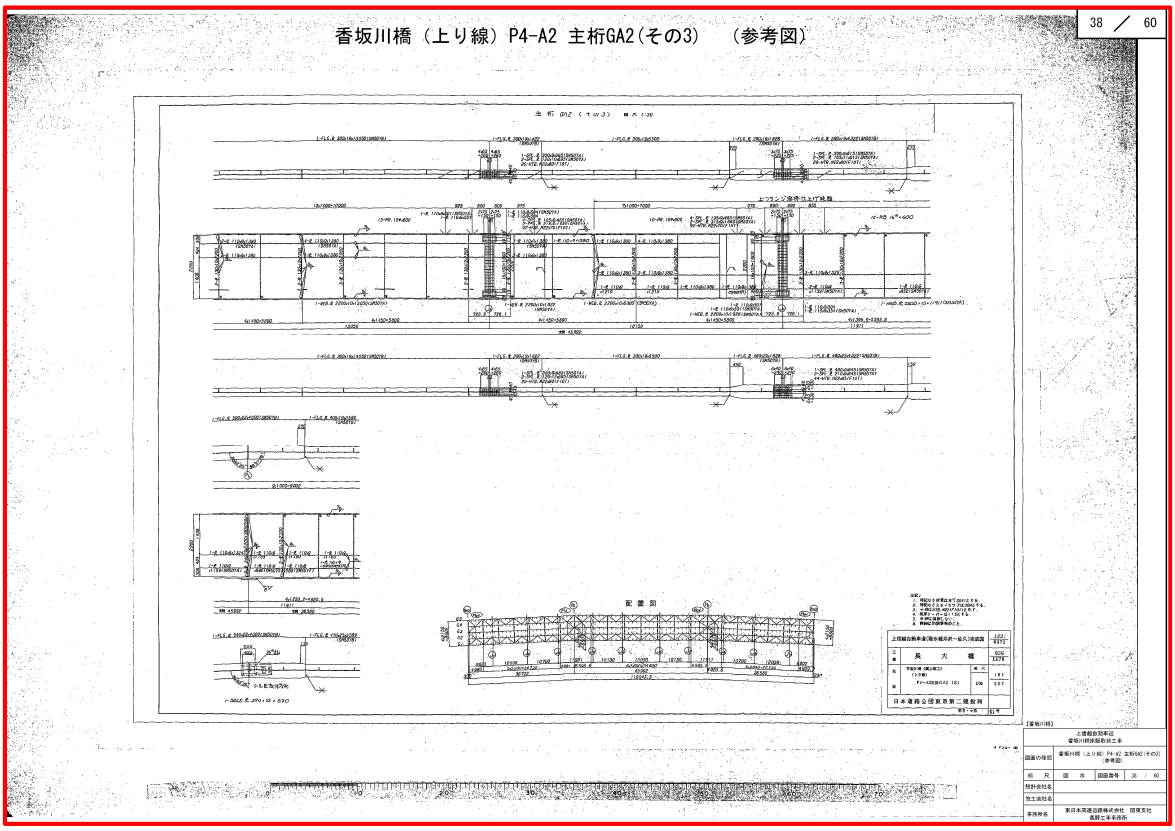
対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

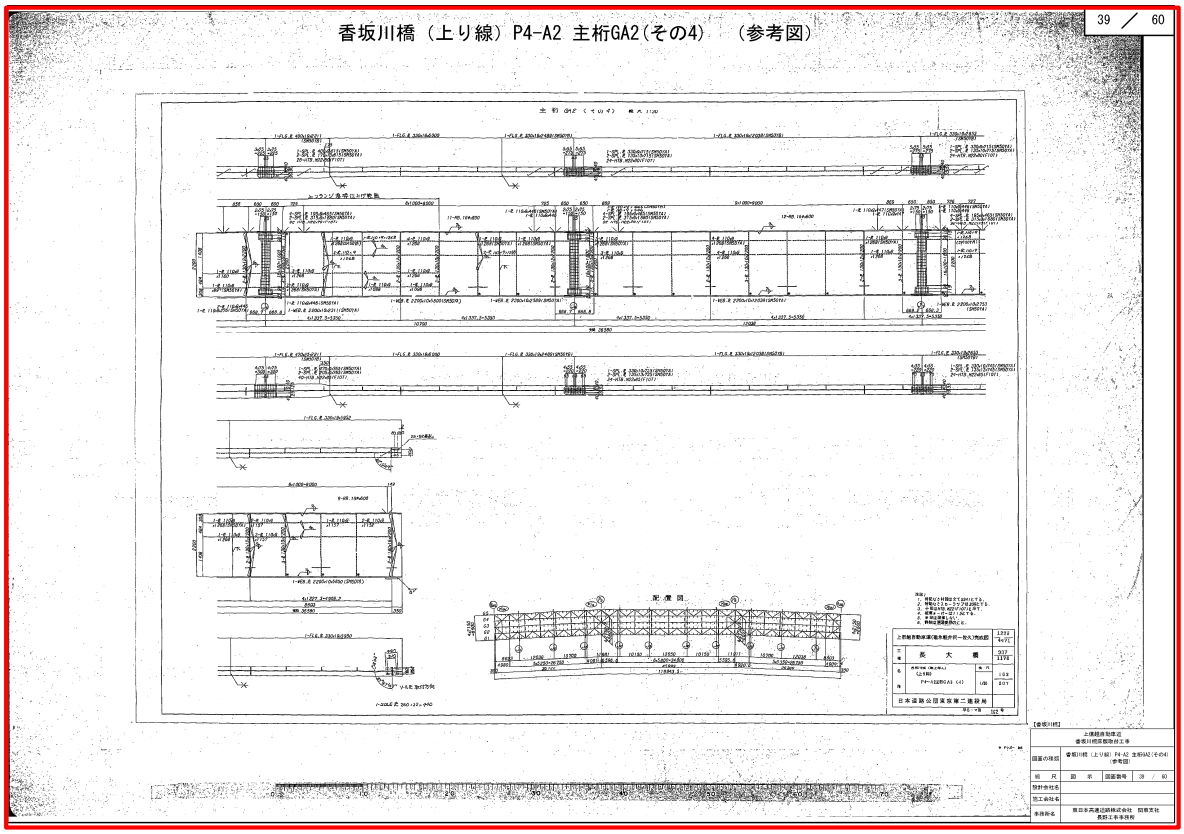
対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

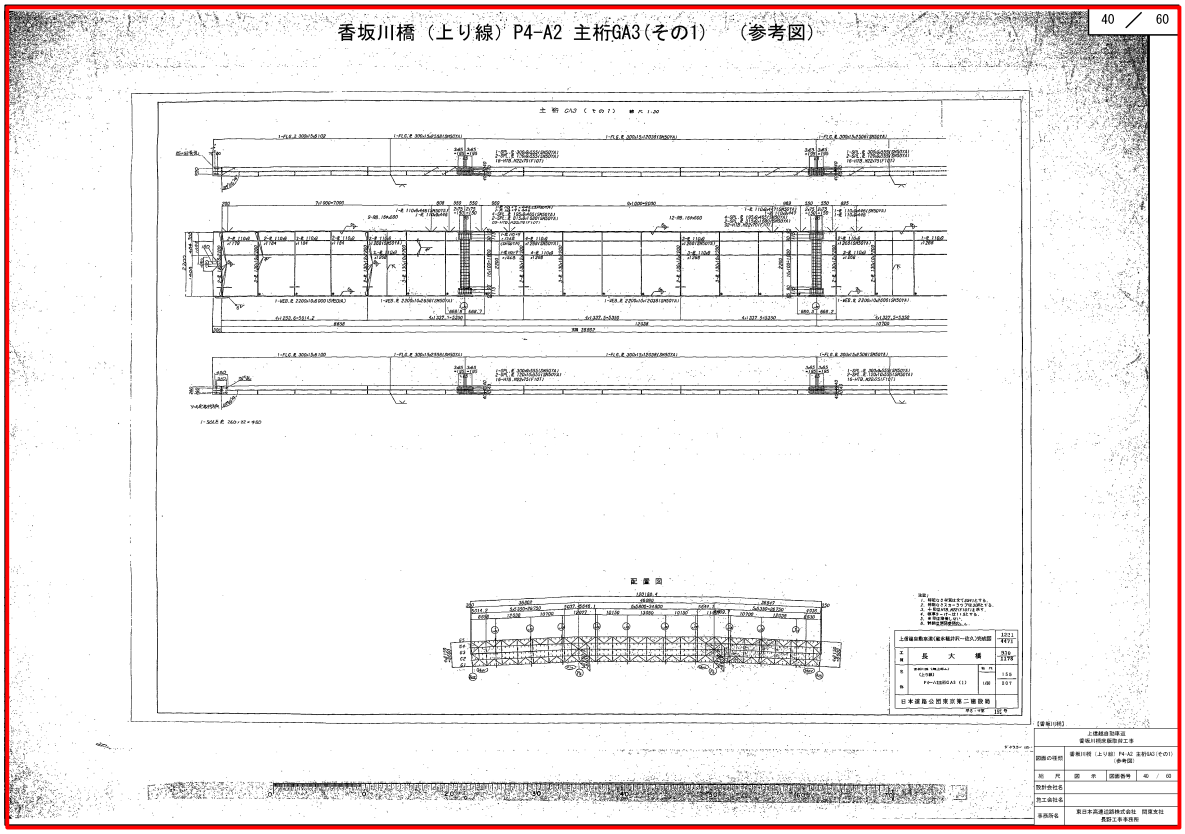
対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

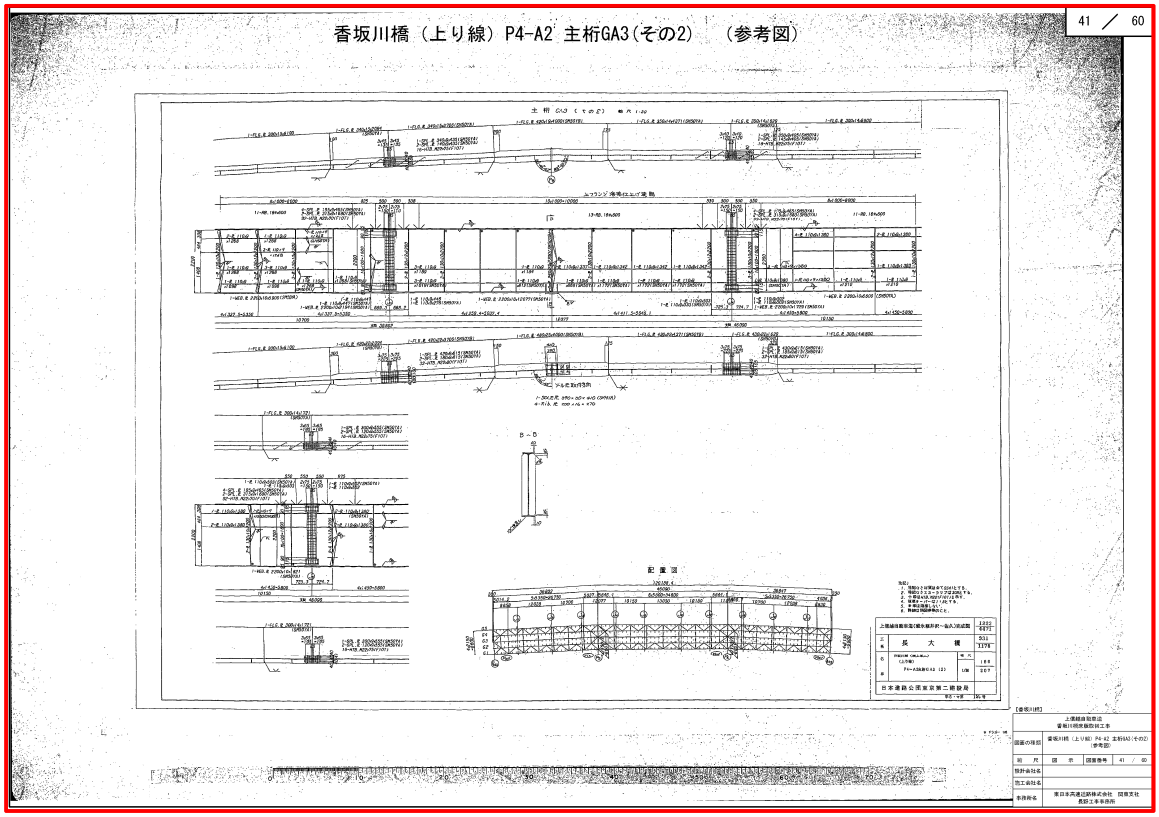
対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

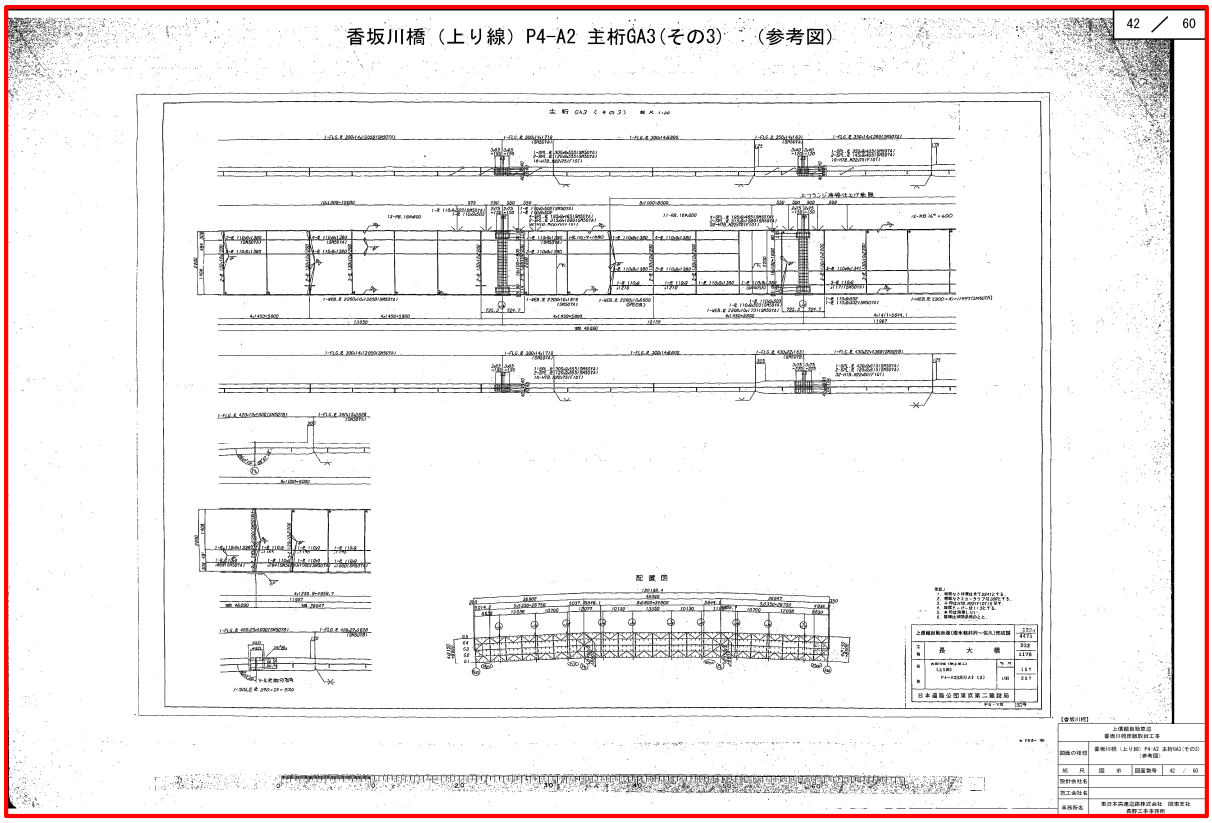
対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

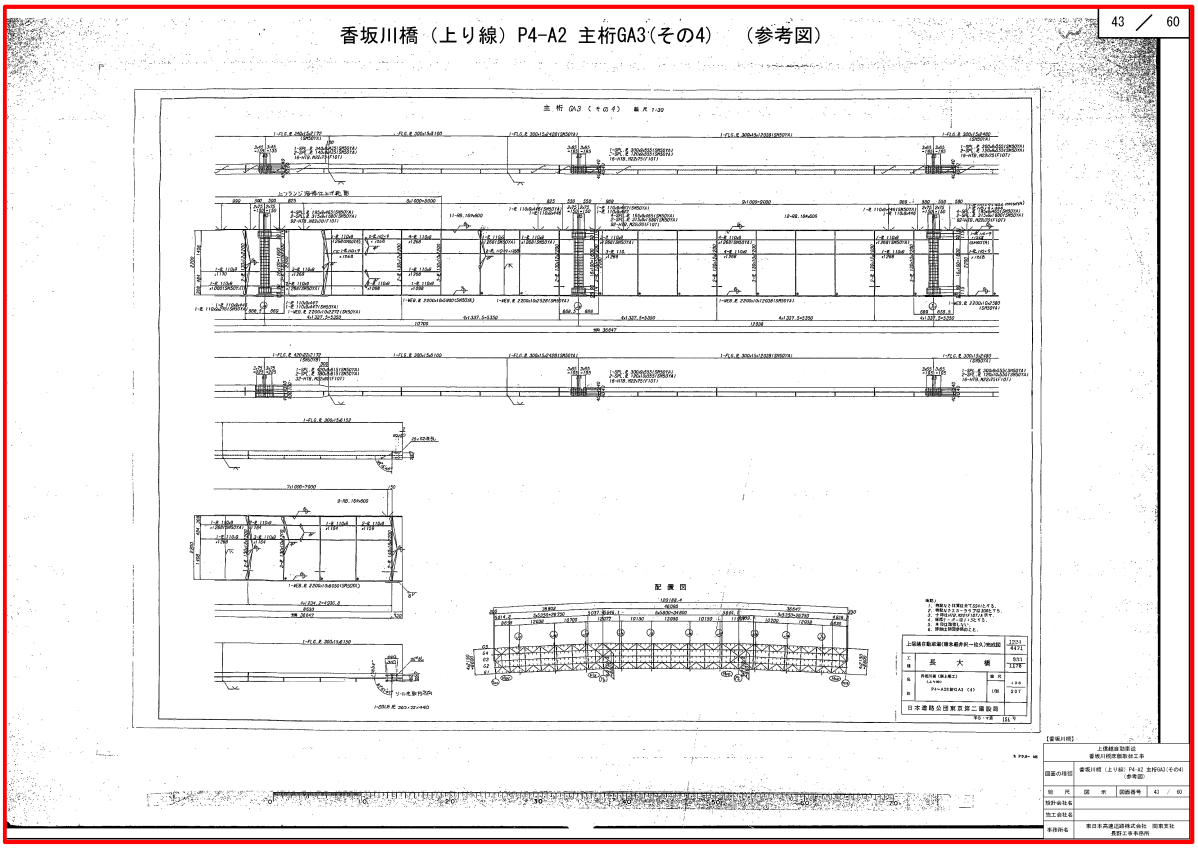
対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

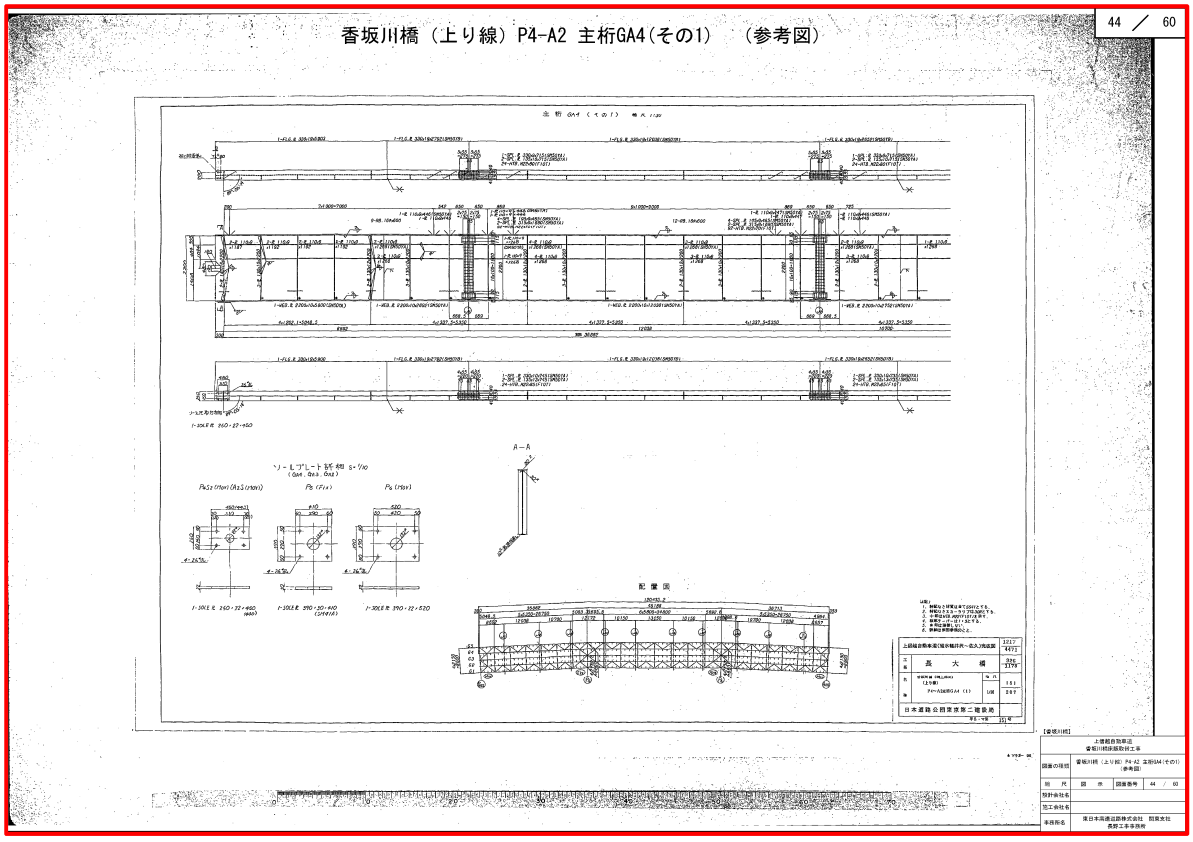
対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

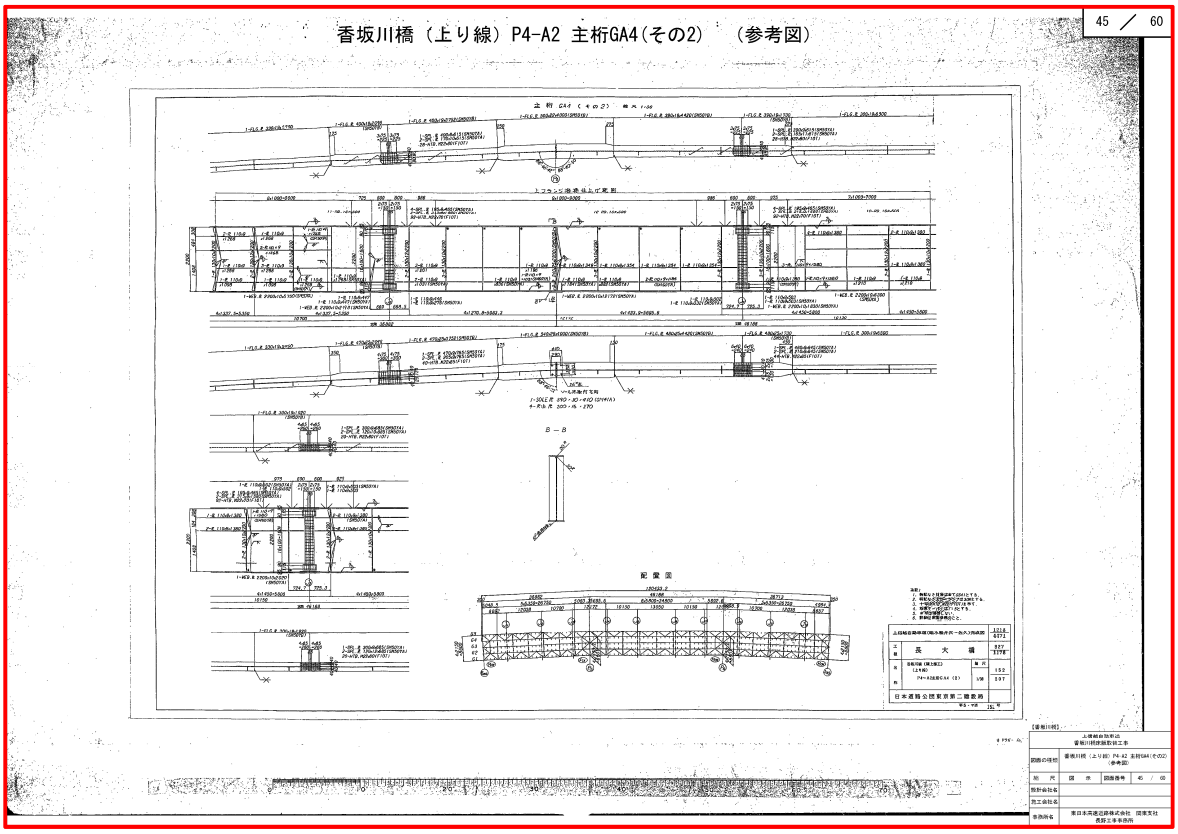
対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

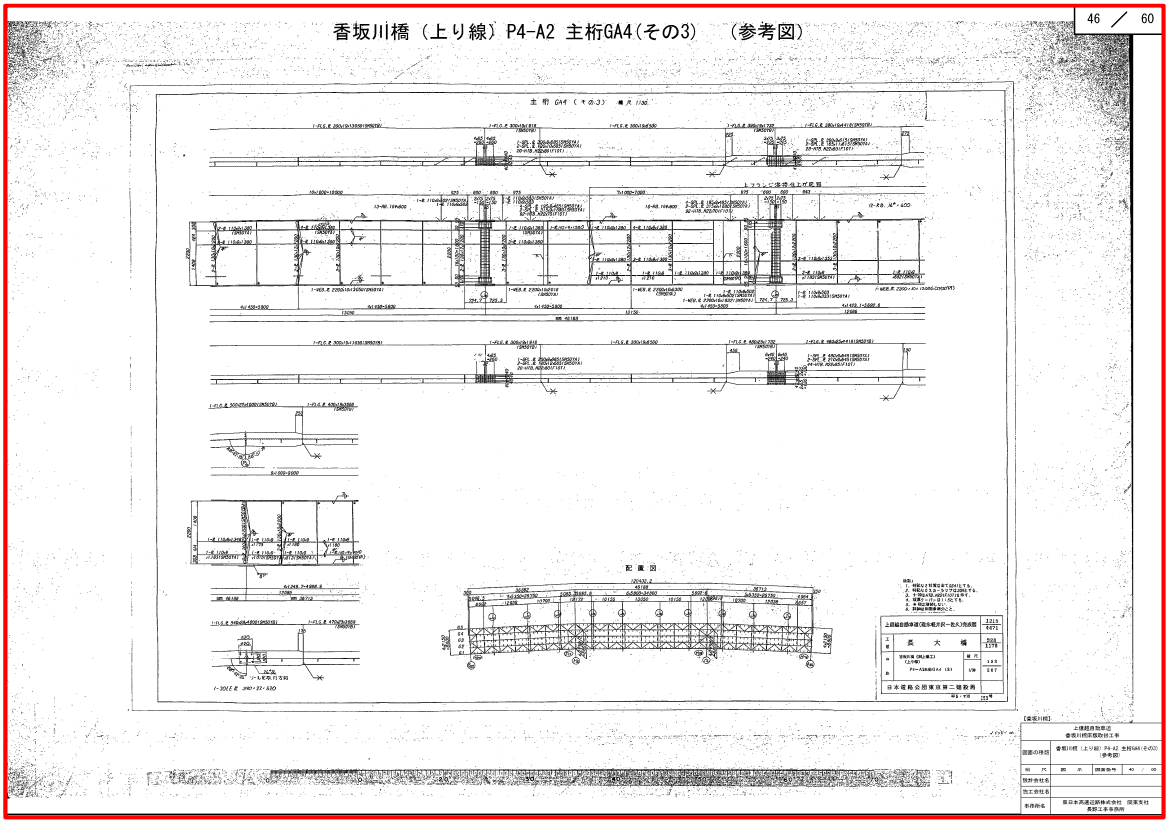
対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

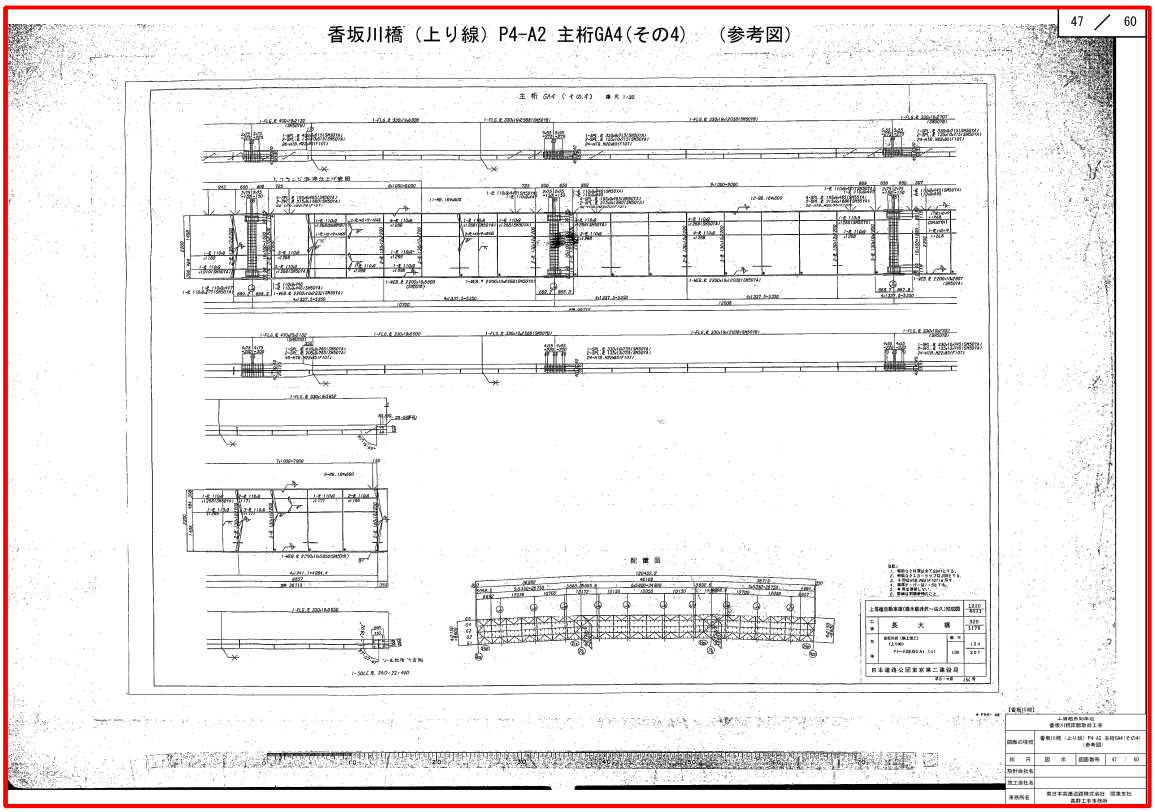
対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

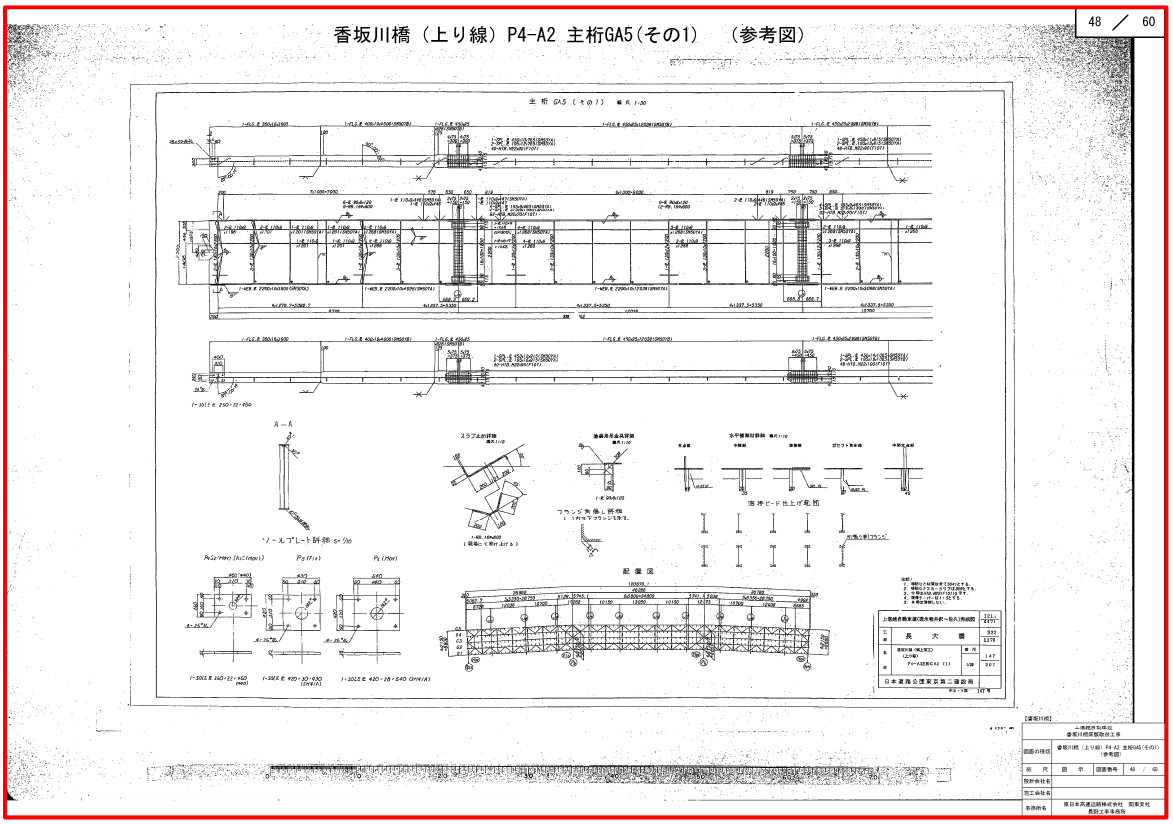
対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

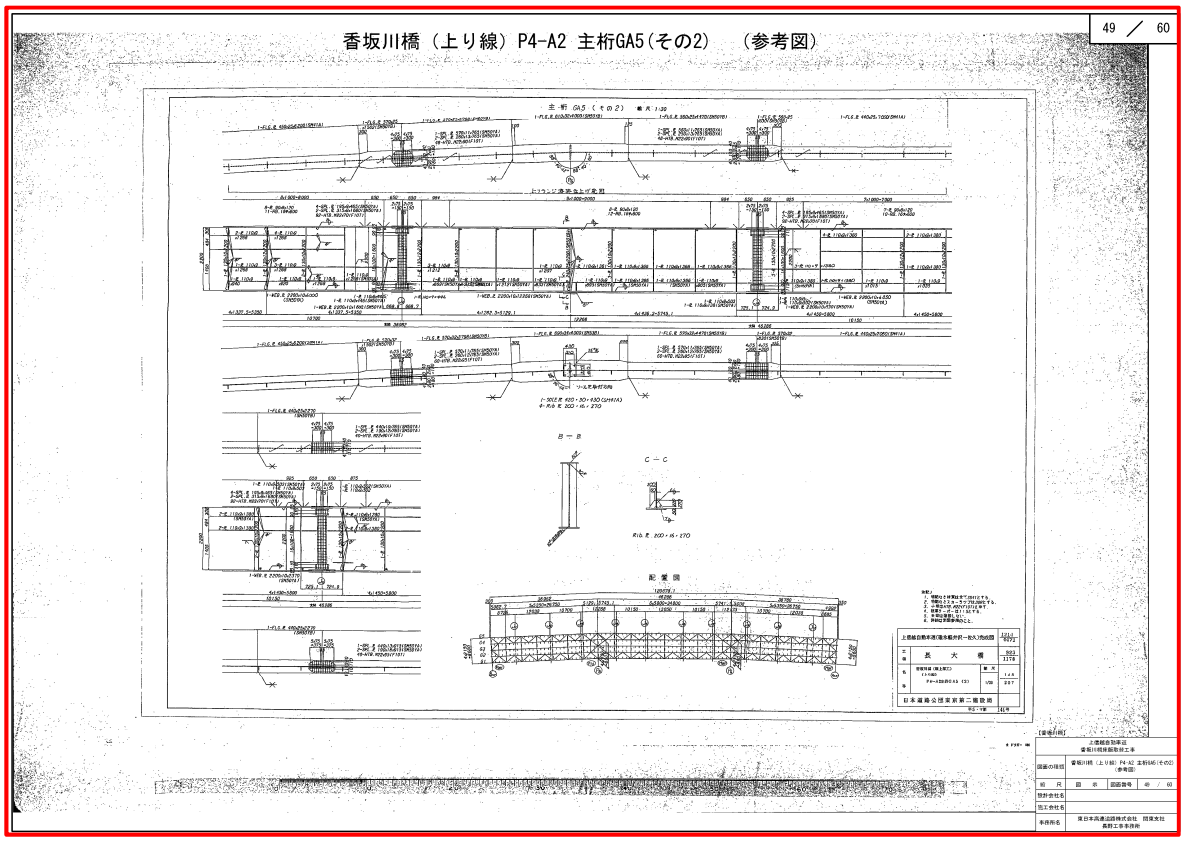
対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

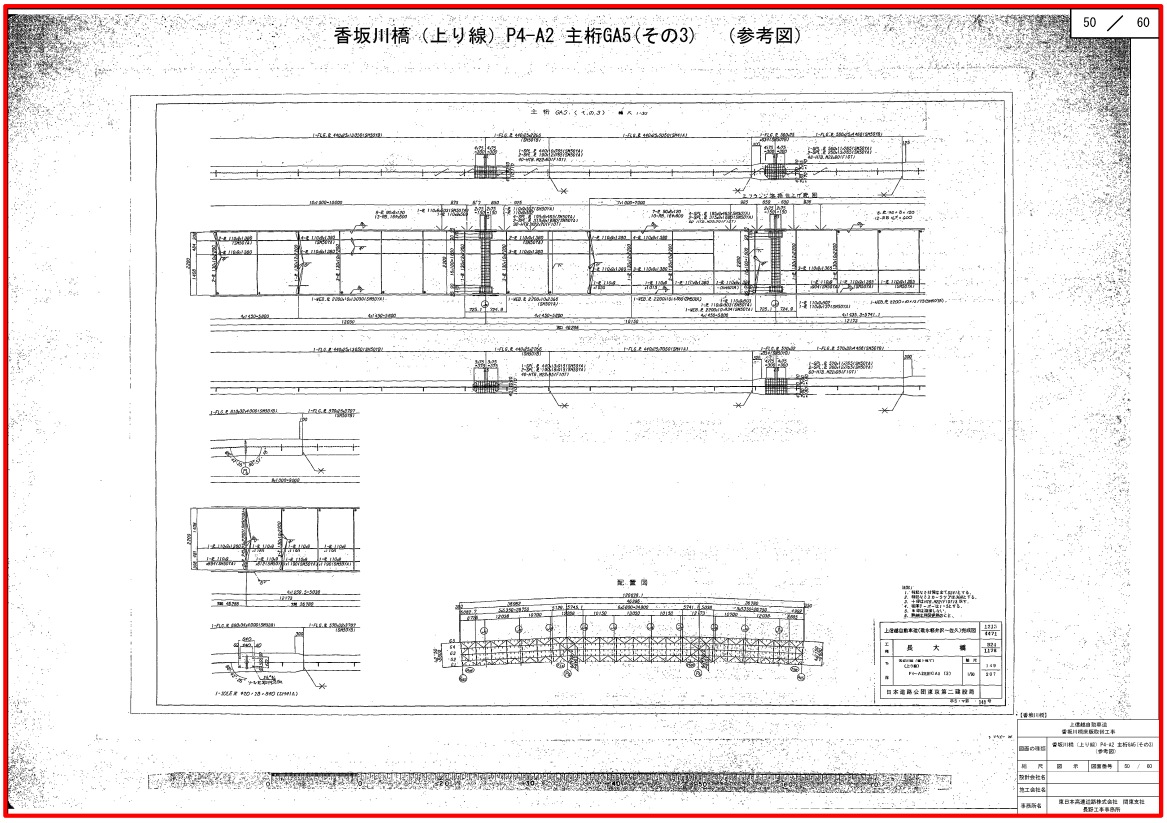
対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

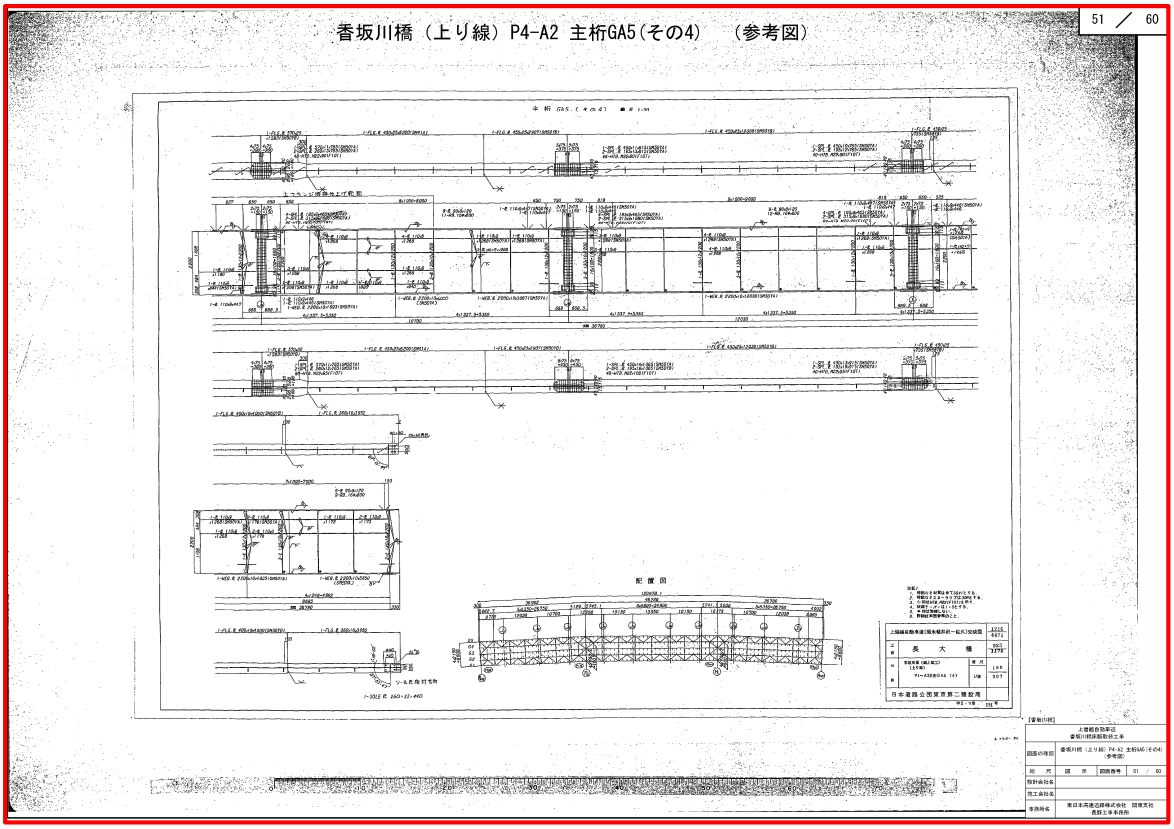
対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

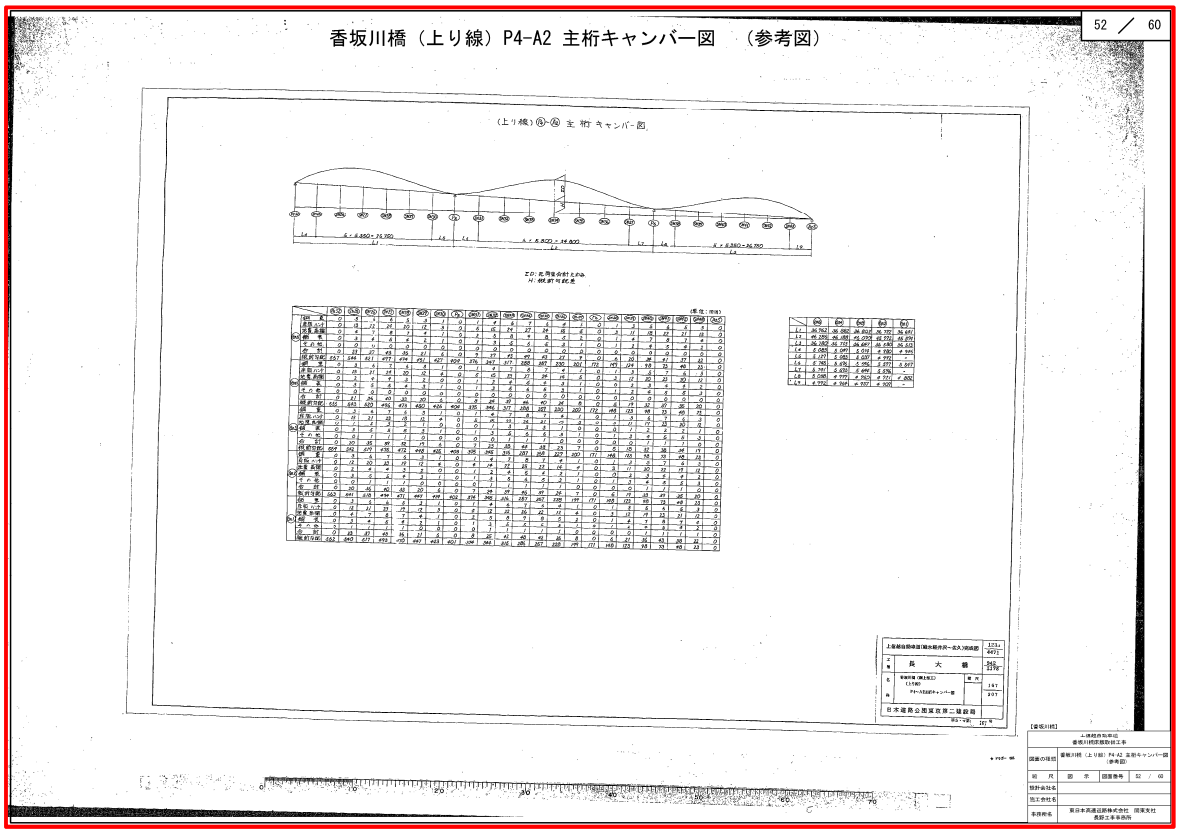
対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

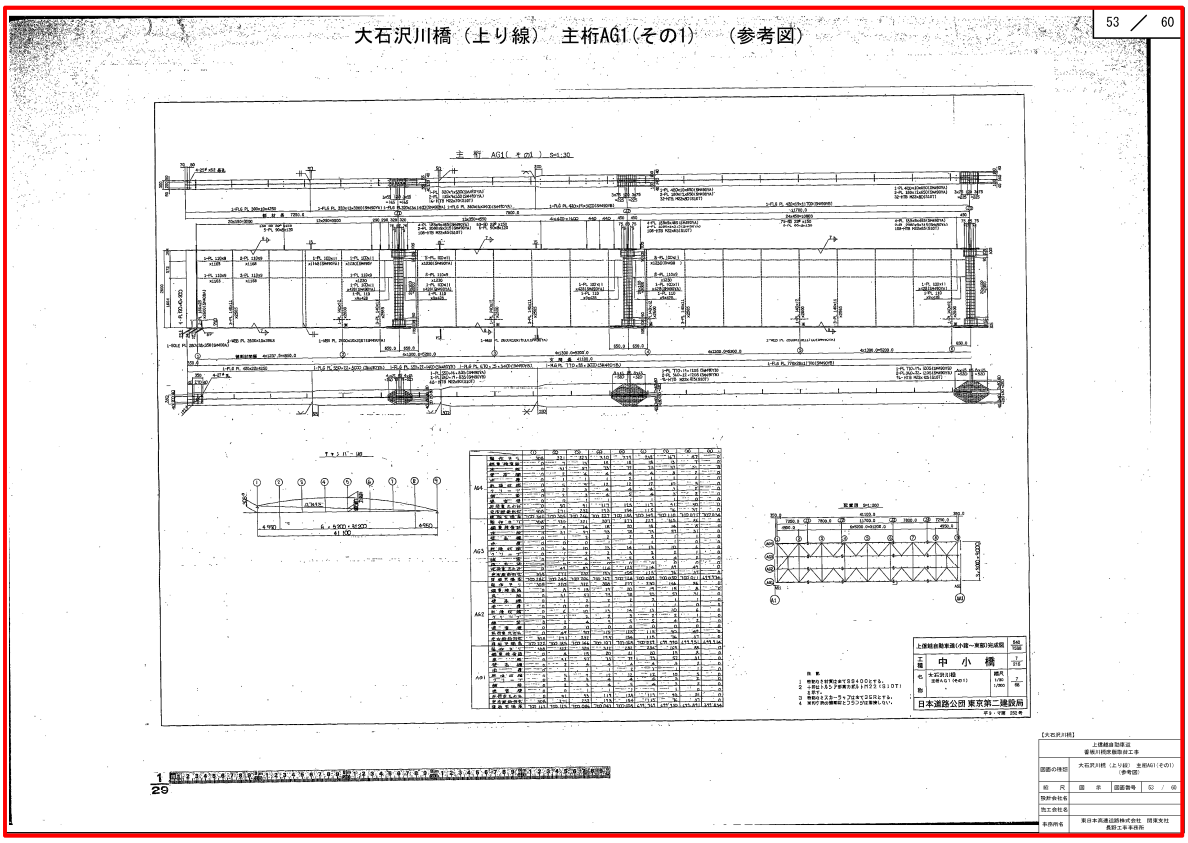
対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

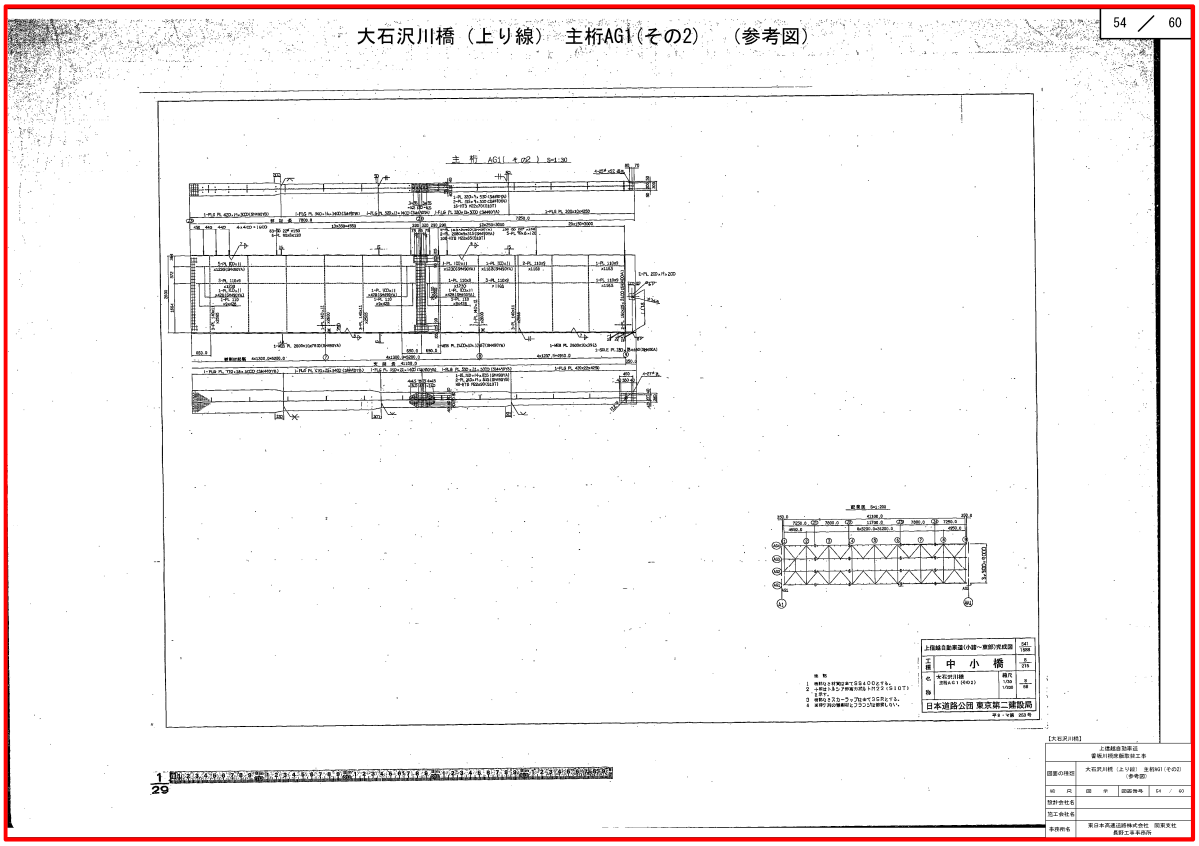
対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

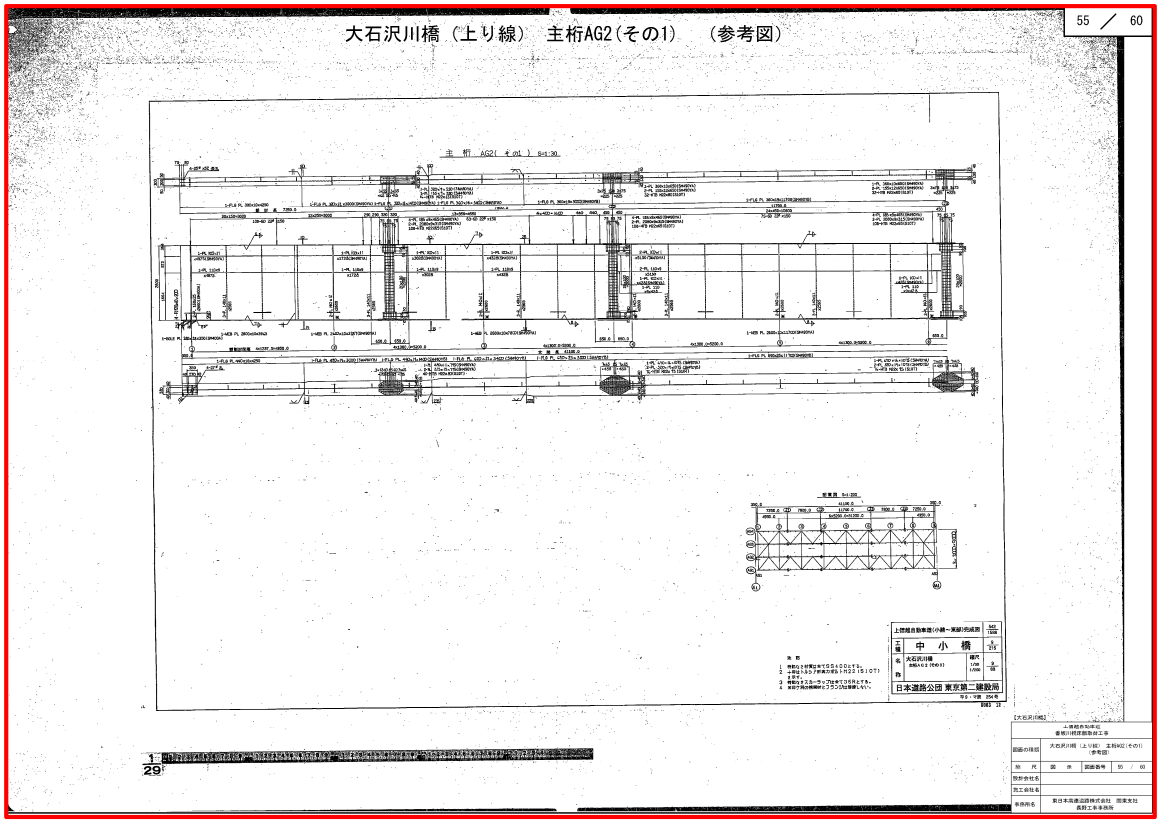
対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

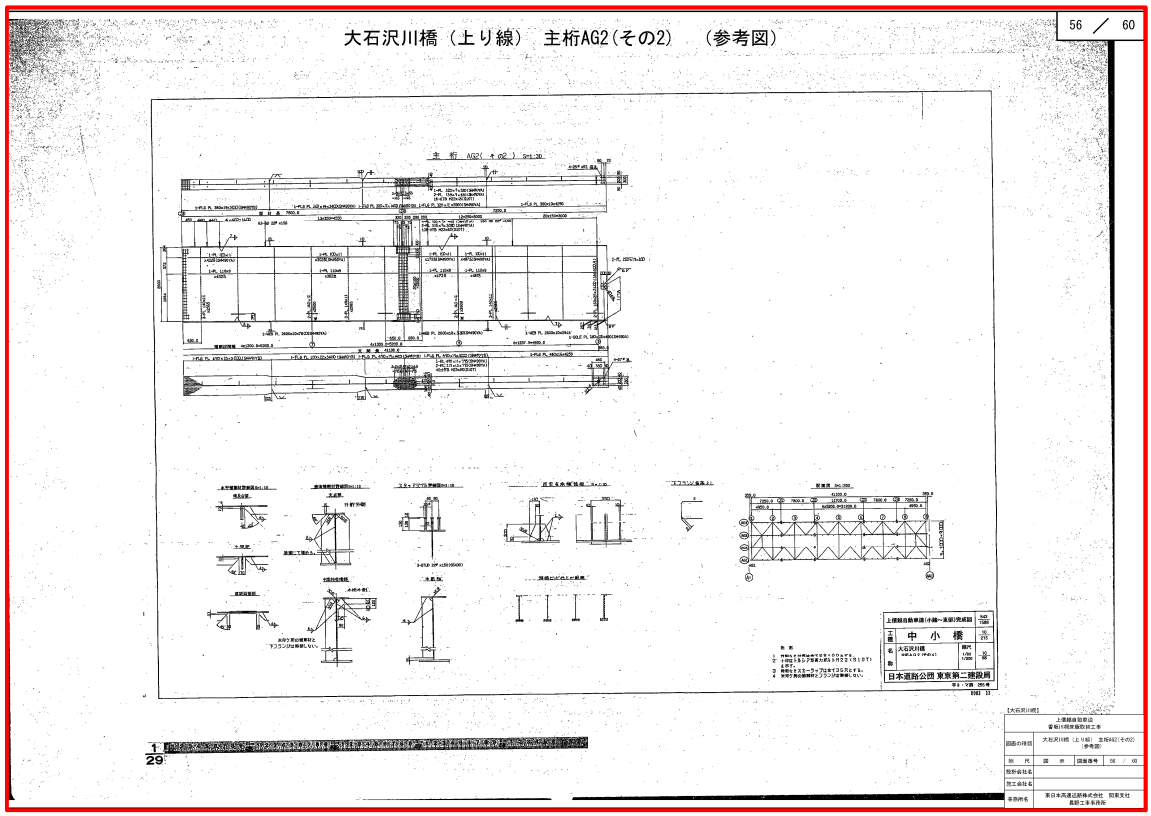
対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

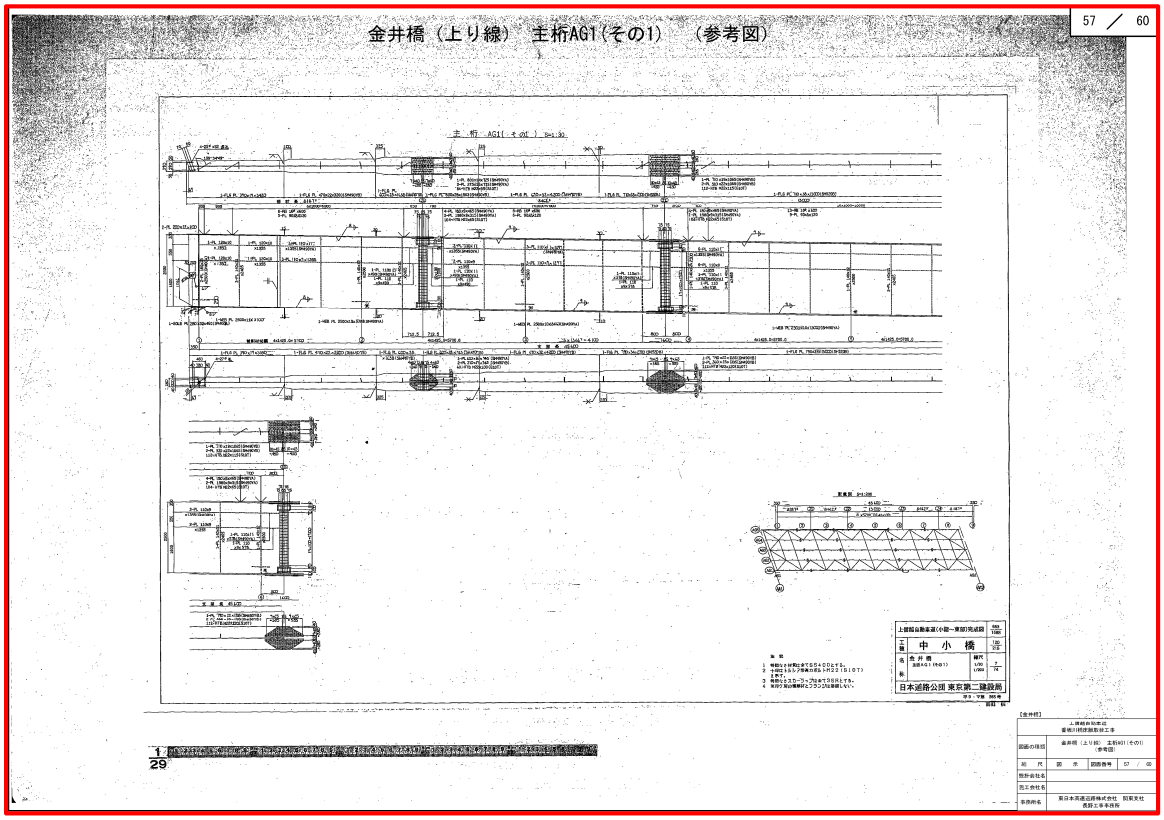
対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

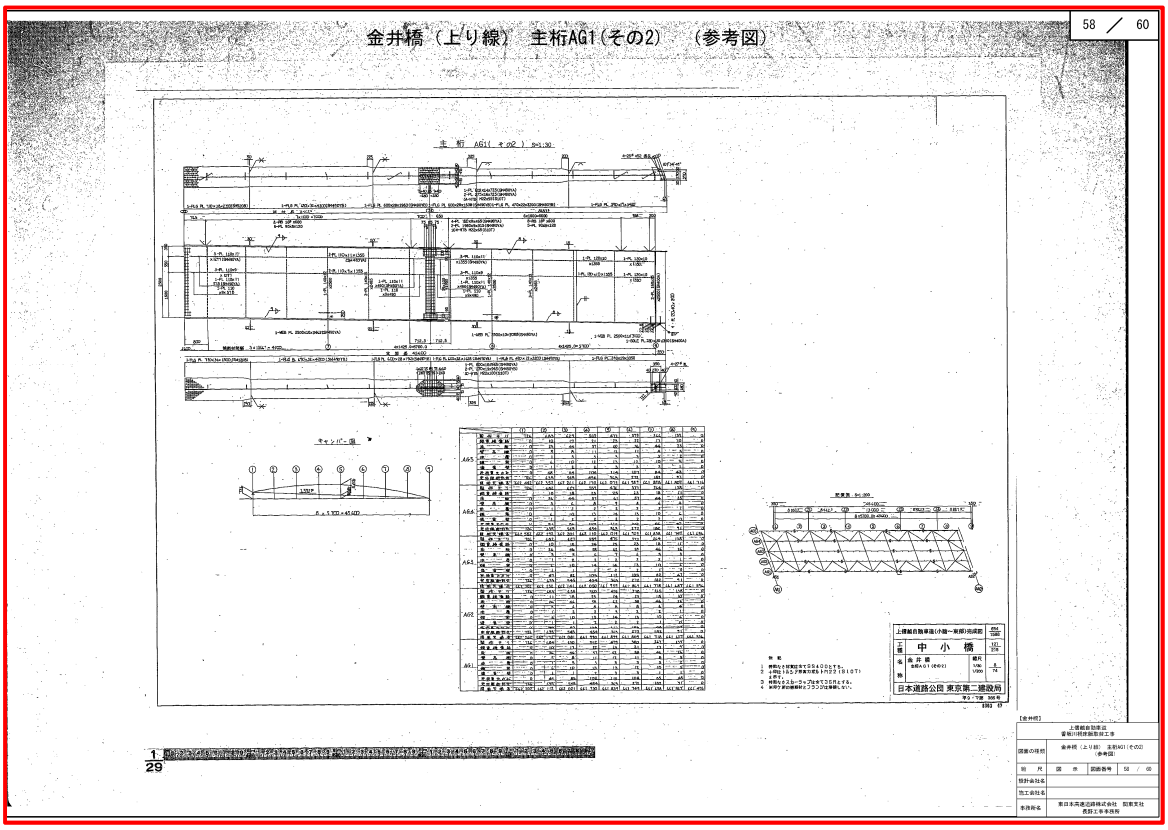
対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

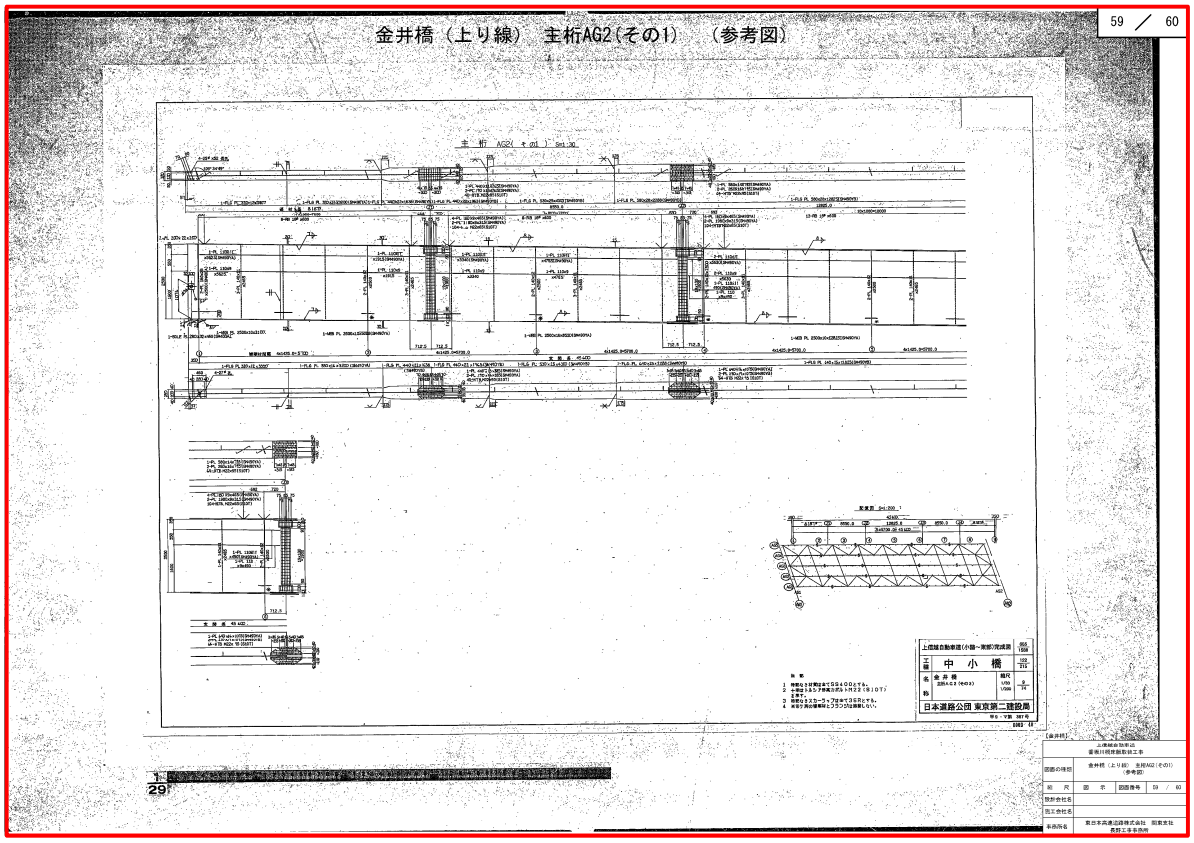
対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

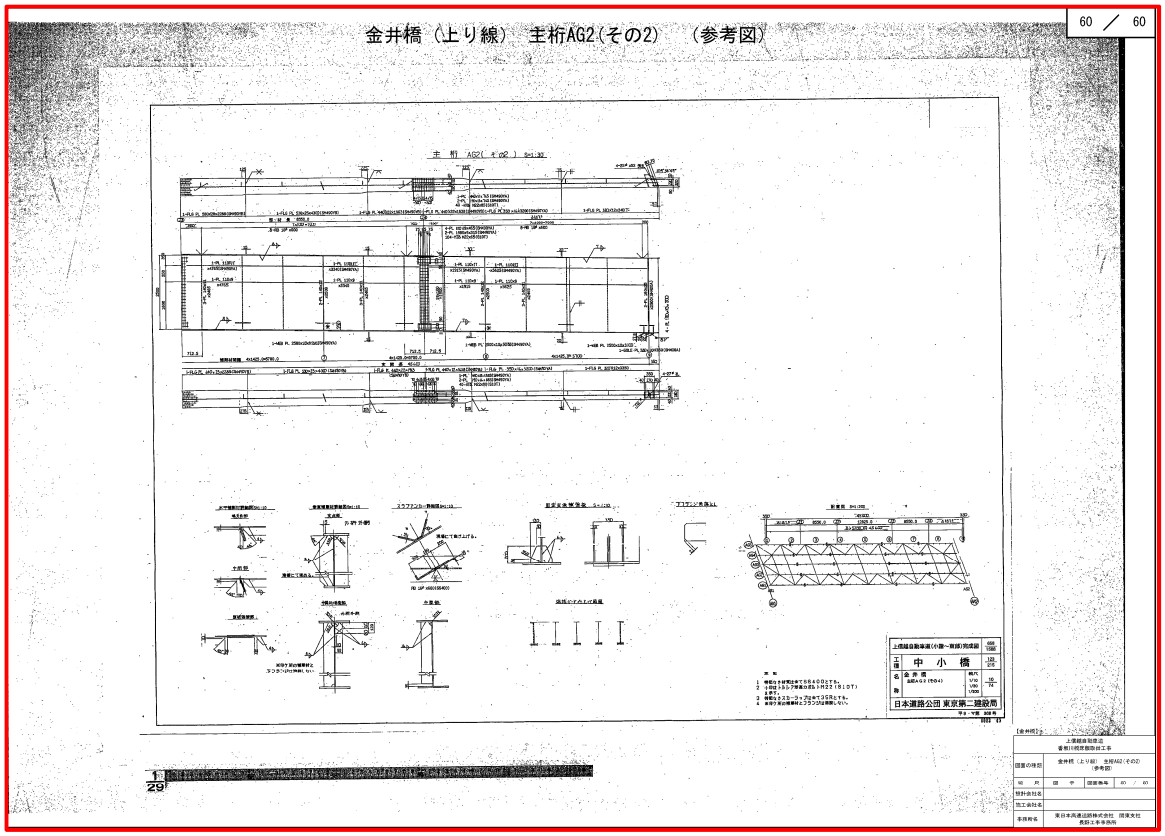
対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

対象	設計図面
誤	該当なし
正	
備考	設計図面に主桁図面参考図を追加

対象	割掛参考内訳書　試掘工費

誤

【共通仮設費】

割掛け対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳(参考)	図面
工事用機械分解組立費	重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料又は賃料に要する費用をいう。	機種:オールテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型)220t、120t使用 大石沢川橋:2台-1往復(220t) 県庁～大石沢川橋現場　運搬距離=53.9km(片道) 金井橋:1台-1往復(120t) 県庁-～金井橋現場　運搬距離=51.4km(片道) 香坂川橋:2台-1往復(220t) 県庁～香坂川橋現場　運搬距離=74.3km(片道)	
仮設材等運搬費	仮設材(敷鉄板、仮囲い)の運搬に要する費用をいう。	県庁～香坂CB(上り線)運搬距離＝74.4km(片道)香坂CB上 ①敷鉄板(t＝ 22*w＝1.524*L＝6.096)　N＝64枚 ②仮囲い L=90m(万能板H＝3m、単管パイプ支持方式) ※ゲート10m含む	○
非破壊検査試験費(1)	コンクリート構造物の非破壊試験による鉄筋かぶり確認に要する費用をいう。	①香坂川橋A1～P4 場所打ち床版:上向き　2箇所、下向き　2箇所 接合部:上向き　74箇所、下向き　74箇所 場所打ち壁高欄:側面　4箇所 ②香坂川橋P4-A2 場所打ち床版:上向き　2箇所、下向き　2箇所 接合部:上向き　57箇所、下向き　57箇所 場所打ち壁高欄:側面　4箇所 ③大石沢川橋 場所打ち床版:上向き　2箇所、下向き　2箇所 接合部:上向き　19箇所、下向き　19箇所 場所打ち壁高欄:側面　4箇所 ④金井橋 場所打ち床版:上向き　2箇所、下向き　2箇所 接合部:上向き　21箇所、下向き　21箇所 場所打ち壁高欄:側面　4箇所	○
非破壊検査試験費(2)	既設床版地覆部、橋台壁高欄へのコンクリートアンカー工を行う削孔に先立って、既設構造物の鉄筋位置等の確認を行うもの。	①香坂川橋A1～P4支柱、5箇所毎に1回 ②香坂川橋A1～P4支柱、31箇所毎に1回 ③大石沢川橋、支柱11箇所毎に1回 ④金井橋、支柱5箇所毎に1回	
有料道路料金費(1)	既設床版撤去、既設壁高欄撤去、アスファルト舗装撤去等の発生材を香坂CBにて小割後、再資源化施設へ運搬、または、発生場所から直接再資源化施設へ運搬する有料道路通行費に要する費用。	①香坂川橋A1～P4 ・香坂CB作業ヤード小割作業:2,016.2t(コンクリート構造物) ・発生箇所から直接処理施設へ:10.7t(アスファルト混合物) ②香坂川橋P4～A2 ・香坂CB作業ヤード小割作業:1,561.12t(コンクリート構造物) ・発生箇所から直接処理施設へ:5.5t(アスファルト混合物) ③大石沢川橋 ・香坂CB作業ヤード小割作業:425.5t(コンクリート構造物) ・発生箇所から直接処理施設へ:10.0t(アスファル混合物) ④金井橋 ・香坂CB作業ヤード小割作業:701.5t(コンクリート構造物) ・発生箇所から直接処理施設へ:5.9t(アスファルト混合物)	
有料道路料金費(2)	伸縮装置・橋梁排水ます等発生場所から平尾高架橋資材置き場への運搬に関わる有料道路通行費に要する費用。	①香坂川橋 ・橋梁排水ます＝0.05t、伸縮装置＝12.5t ②大石沢川橋 ・橋梁排水ます＝0.02t、伸縮装置＝6.7t ③金井橋 ・橋梁排水ます＝0.02t、伸縮装置＝7.1t	
試掘工費	中央分離帯箇所等の管路確認のための試掘に要する費用。	①香坂川橋 対面通行用中央分離帯改良工4箇所+対面通行用仮設非常駐車帯工2箇所 計6箇所 ②大石沢川橋 対面通行用中央分離帯改良工4箇所+対面通行用仮設非常駐車帯工2箇所 計6箇所 ③金井橋 対面通行用中央分離帯改良工4箇所+対面通行用仮設非常駐車帯工2箇所 計6箇所 合計18箇所	

正

【共通仮設費】

割掛け対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳(参考)	図面
工事用機械分解組立費	重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料又は賃料に要する費用をいう。	機種:オールテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型)220t、120t使用 大石沢川橋:2台-1往復(220t) 県庁～大石沢川橋現場　運搬距離=53.9km(片道) 金井橋:1台-1往復(120t) 県庁～金井橋現場　運搬距離=51.4km(片道) 香坂川橋:2台-1往復(220t) 県庁～香坂川橋現場　運搬距離=74.3km(片道)	
仮設材等運搬費	仮設材(敷鉄板、仮囲い)の運搬に要する費用をいう。	県庁～香坂CB(上り線)運搬距離＝74.4km(片道)香坂CB上 ①敷鉄板(t＝ 22*w＝1.524*L＝6.096)　N＝64枚 ②仮囲い L=90m(万能板H＝3m、単管パイプ支持方式) ※ゲート10m含む	○
非破壊検査試験費(1)	コンクリート構造物の非破壊試験による鉄筋かぶり確認に要する費用をいう。	①香坂川橋A1～P4 場所打ち床版:上向き　2箇所、下向き　2箇所 接合部:上向き　74箇所、下向き　74箇所 場所打ち壁高欄:側面　4箇所 ②香坂川橋P4-A2 場所打ち床版:上向き　2箇所、下向き　2箇所 接合部:上向き　57箇所、下向き　57箇所 場所打ち壁高欄:側面　4箇所 ③大石沢川橋 場所打ち床版:上向き　2箇所、下向き　2箇所 接合部:上向き　19箇所、下向き　19箇所 場所打ち壁高欄:側面　4箇所 ④金井橋 場所打ち床版:上向き　2箇所、下向き　2箇所 接合部:上向き　21箇所、下向き　21箇所 場所打ち壁高欄:側面　4箇所	○
非破壊検査試験費(2)	既設床版地覆部、橋台壁高欄へのコンクリートアンカー工を行う削孔に先立って、既設構造物の鉄筋位置等の確認を行うもの。	①香坂川橋A1～P4支柱、5箇所毎に1回 ②香坂川橋A1～P4支柱、31箇所毎に1回 ③大石沢川橋、支柱11箇所毎に1回 ④金井橋、支柱5箇所毎に1回	
有料道路料金費(1)	既設床版撤去、既設壁高欄撤去、アスファルト舗装撤去等の発生材を香坂CBにて小割後、再資源化施設へ運搬、または、発生場所から直接再資源化施設へ運搬する有料道路通行費に要する費用。	①香坂川橋A1～P4 ・香坂CB作業ヤード小割作業:2,016.2t(コンクリート構造物) ・発生箇所から直接処理施設へ:10.7t(アスファルト混合物) ②香坂川橋P4～A2 ・香坂CB作業ヤード小割作業:1,561.12t(コンクリート構造物) ・発生箇所から直接処理施設へ:5.5t(アスファルト混合物) ③大石沢川橋 ・香坂CB作業ヤード小割作業:425.5t(コンクリート構造物) ・発生箇所から直接処理施設へ:10.0t(アスファル混合物) ④金井橋 ・香坂CB作業ヤード小割作業:701.5t(コンクリート構造物) ・発生箇所から直接処理施設へ:5.9t(アスファルト混合物)	
有料道路料金費(2)	伸縮装置・橋梁排水ます等発生場所から平尾高架橋資材置き場への運搬に関わる有料道路通行費に要する費用。	①香坂川橋 ・橋梁排水ます＝0.05t、伸縮装置＝12.5t ②大石沢川橋 ・橋梁排水ます＝0.02t、伸縮装置＝6.7t ③金井橋 ・橋梁排水ます＝0.02t、伸縮装置＝7.1t	
試掘工費	中央分離帯箇所等の管路確認のための試掘に要する費用。	①香坂川橋 対面通行用中央分離帯改良工4箇所+対面通行用仮設非常駐車帯工2箇所 計6箇所　(0.5×0.5×0.5=0.125m3/箇所) ②大石沢川橋 対面通行用中央分離帯改良工4箇所+対面通行用仮設非常駐車帯工2箇所 計6箇所　(0.5×0.5×0.5=0.125m3/箇所) ③金井橋 対面通行用中央分離帯改良工4箇所+対面通行用仮設非常駐車帯工2箇所 計6箇所　(0.5×0.5×0.5=0.125m3/箇所) 合計18箇所	○

備考	割掛参考内訳書【共通仮設費】 試掘工費1箇所当りの試掘数量の追加

対象	割掛参考内訳書【仮設備工事費】

誤

【準備工事費】

作業ヤード整備費	香坂CB（上り線）に設置する、コンクリート構造物の小割作業に伴う敷鉄板及び仮囲い等に要する費用。	仮作業ヤード面積＝600m2 ・敷鉄板　t＝22mm*1,524m*6,096m*64枚 ・仮囲い工（単管パイプ+H=3m万能版）＝100m（20m+30m+20m+30m、ゲート10m含む）	○

【仮設備工事費】

吊足場工費 （標準型側面） （防護型側面）	主体足場及び標準型側面（防護型側面）の吊足場工に要する費用。	①香坂川橋A1～P4 ・システム吊り足場＝1,734.6m2　（5.5ケ月） ②香坂川橋P4～A2 ・システム足場＝1,356.9m2　（4.8ケ月） ③大石沢川橋A1～A2 ・システム足場＝489.7m2　（3.4ケ月） ④金井橋A1～A2 ・システム足場＝544.2m2　（3.1ケ月）	○
昇降足場費	吊足場工への移動に必要な昇降足場に要する費用。	①香坂川橋A1～P4 ・昇降足場＝25.9空m3　6.2ケ月 ②香坂川橋P4～A2 ・昇降足場＝20.2空m3　5.4ケ月 ③大石沢川橋A1～A2 ・昇降足場＝17.4空m3　3.8ケ月 ④金井橋A1～A2 ・昇降足場＝13.8空m3　4.2ケ月	○
足場工費	橋梁下部工補修に必要な足場工に要する費用。	①香坂川橋　P4橋脚 ・枠組み足場＝683.4空m3 ・足場設置期間　2.6ケ月	○

【雑工事費】

橋面養生費	場所打ちコンクリート床版、間詰コンクリート打設後のコンクリート養生に要する費用。	①香坂川橋A1～P4 ・間詰め+場所打ち+ジベル孔＝389m2 ②香坂川橋P4～A2 ・間詰め+場所打ち+ジベル孔＝315m2 ③大石沢川橋A1～A2 ・間詰め+場所打ち+ジベル孔＝117m2 ④金井橋A1～A2 ・間詰め+場所打ち+ジベル孔＝157m2	
遮音壁撤去費 （橋梁部）	供用中の高速道路に設置されている遮音壁を撤去する費用をいう。	①金井橋　L=59m	

正

【準備工事費】

作業ヤード整備費	香坂CB（上り線）に設置する、コンクリート構造物の小割作業に伴う敷鉄板及び仮囲い等に要する費用。	仮作業ヤード面積＝600m2 ・敷鉄板　t＝22mm*1,524m*6,096m*64枚 ・仮囲い工（単管パイプ+H=3m万能版）＝100m（20m+30m+20m+30m、ゲート10m含む）	○

【仮設備工事費】

吊足場工費 （標準型側面）	主体足場及び標準型側面の吊足場工に要する費用。	①香坂川橋A1～P4 ・システム吊足場 1,734.6m2(5.5ヶ月) ②香坂川橋P4～P6、P6～A2 ・システム吊足場 1,171.4m2(4.8ヶ月) ③大石沢川橋A1～A2 ・システム吊足場 359.4m2(3.4ヶ月)	○
吊足場工費 （防護型側面）	主体足場及び防護型側面の吊足場工に要する費用。	①香坂川橋P6～A2 ・システム吊足場 185.5m2(4.8ヶ月) ②大石沢川橋A1～A2 ・システム吊足場 130.3m2(3.4ヶ月) ③金井橋A1～A2 ・システム吊足場 544.2m2(3.1ヶ月)	○
昇降足場費	吊足場工への移動に必要な昇降足場に要する費用。	①香坂川橋A1～P4 ・昇降足場＝25.9空m3　6.2ケ月 ②香坂川橋P4～A2 ・昇降足場＝20.2空m3　5.4ケ月 ③大石沢川橋A1～A2 ・昇降足場＝17.4空m3　3.8ケ月 ④金井橋A1～A2 ・昇降足場＝13.8空m3　4.2ケ月	○
足場工費	橋梁下部工補修に必要な足場工に要する費用。	①香坂川橋　P4橋脚 ・枠組み足場＝683.4空m3 ・足場設置期間　2.6ケ月	○

【雑工事費】

橋面養生費	場所打ちコンクリート床版、間詰コンクリート打設後のコンクリート養生に要する費用。	①香坂川橋A1～P4 ・間詰め+場所打ち+ジベル孔＝389m2 ②香坂川橋P4～A2 ・間詰め+場所打ち+ジベル孔＝315m2 ③大石沢川橋A1～A2 ・間詰め+場所打ち+ジベル孔＝117m2 ④金井橋A1～A2 ・間詰め+場所打ち+ジベル孔＝157m2	
遮音壁撤去費 （橋梁部）	供用中の高速道路に設置されている遮音壁を撤去する費用をいう。	①金井橋　L=59m	

「標準型側面・防護型側面」に分割

備考	割掛参考内訳書 【仮設備工事費】 吊足場工費（標準型側面）（防護型側面） 区分の修正